LP-S7500シリーズ

取扱説明書２
詳細編

機能・操作方法など、本製品を使用していく上で必要となる情報を詳しく説明しています。

目的に応じて必要な章をお読みください。

NPD3665-00

マークの意味

⚠警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

!重要　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷したり、プリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

補足説明や参考情報を記載しています。

用語 *1　用語の説明を記載していることを示しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows XP の画面を使用しています。
- 本書に掲載する Mac OS X の画面は、特に指定がない限り Mac OS X v10.4 の画面を使用しています。

ハガキの表記

本書では、郵便事業株式会社製のハガキを郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、4 面連刷ハガキと記載しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2003 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版
本書では、各オペレーティングシステムをそれぞれ Windows 2000、Windows XP、Windows Server2003、Windows Vista と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

Mac OS の表記

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.5
本書では、各オペレーティングシステムを「Mac OS X」と表記しています。

商標

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

もくじ

ソフトウェアの使い方（Windows）

同梱のソフトウェア CD-ROM には、プリンタドライバなど本製品を使用するのに必要なソフトウェアが収録されています。ここでは、主なソフトウェアの使い方を説明します。

プリンタドライバの使い方

コンピュータのアプリケーションソフトで作成または表示した文書や画像を印刷するには、プリンタドライバが必要です。プリンタドライバでは、出力する用紙のサイズや向き、印刷品質などに関するさまざまな設定ができます。

プリンタドライバは、『セットアップと使い方編』（冊子）の手順に従ってセットアップを行うとインストールされます。

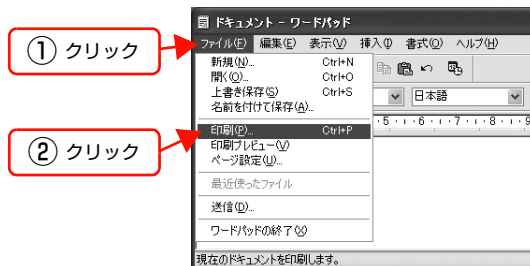
設定画面の開き方

印刷に関する各種の設定は、プリンタドライバのプロパティを開いて変更します。プロパティの開き方は、大きく分けて 2 通りあります。この開き方によって、設定できる項目が異なります。異なる点は、各設定項目の説明を参照してください。

アプリケーションソフトから開く

通常の印刷時は、アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いて設定します。アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開く方法は、ソフトウェアによって異なります。各ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

ここでは、Windows XP に添付の「ワードパッド」の例を説明します。

1 **［ファイル］メニューから［印刷］をクリックして［印刷］画面を表示させます。**

2 **［プリンタの選択］で本製品を選択して［詳細設定］（Windows 2000 の場合は［プロパティ］）をクリックします。**

以上で終了です。

［スタート］メニューから開く

Windows の［スタート］メニューからプリンタドライバのプロパティを開きます。ここでの設定は、アプリケーションソフトから開いた設定画面の初期値になりますので、よく使う値を設定をしておくと便利です。

ここでは、代表的な方法を説明します。

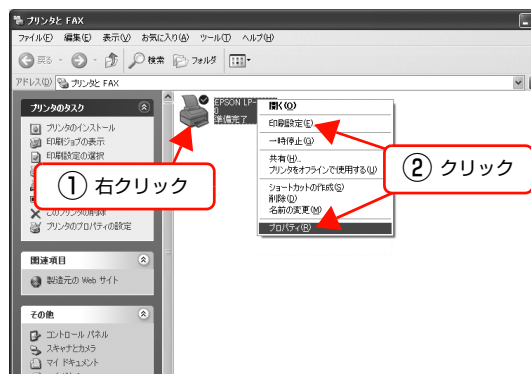
1 **Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。**

Windows Vista：
［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003：
［スタート］－［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows 2000：
［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

2 **本製品のアイコンを右クリックして、表示されたメニューで［印刷設定］または［プロパティ］をクリックします。**

［印刷設定］または［プロパティ］で設定できる機能が異なります。異なる点は、各設定項目の説明を参照してください。

> **参考**
> - ［プロパティ］の設定を行うには、標準ユーザー以上の権限が必要です。
> - Windows 2000/Windows XP で［印刷設定］を変更するには制限ユーザー（Users）以上の権限が必要です。Windows Vista で［印刷設定］を変更するには管理者権限が必要です。

以上で終了です。

設定項目の概要

設定画面の概要を説明します。

設定画面の開き方は以下を参照してください。

☞ 本書 4 ページ「設定画面の開き方」

各設定項目の詳細はプリンタドライバヘルプを参照してください。

☞ 本書 6 ページ「ヘルプの見方」

［基本設定］画面

印刷の基本的な設定をします。

［応用設定］画面

拡大／縮小印刷、印刷品質などを必要に応じて設定します。

［環境設定］画面（印刷設定）

取り付けたオプションの確認ができるほか、プリンタドライバの動作環境に関する設定をします。

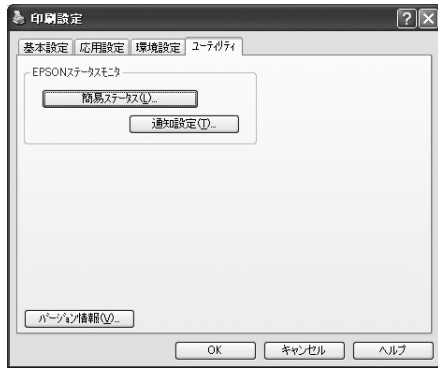
［環境設定］画面（プリンタのプロパティ）

取り付けたオプションの設定や確認、プリンタドライバの動作環境に関する設定をします。

設定画面は、［スタート］メニューからのみ開けます。

☞ 本書 4 ページ「［スタート］メニューから開く」

[ユーティリティ]画面(印刷設定)

EPSON ステータスモニタ（プリンタ監視ユーティリティ）の動作に関する設定をします。EPSON ステータスモニタをインストールすると、すべての項目が表示されます。

[ユーティリティ]画面(プリンタのプロパティ)

画面の内容は、「[ユーティリティ] 画面（印刷設定）」と同様です。

設定画面は、[スタート] メニューからのみ開けます。

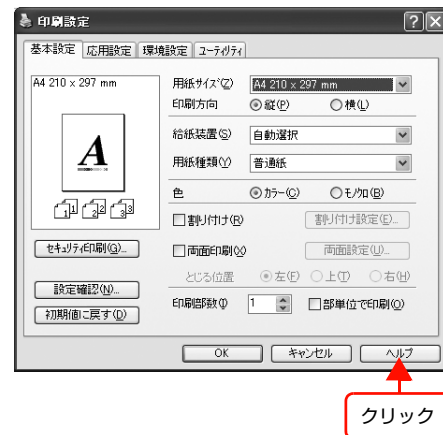
☞ 本書４ページ「[スタート] メニューから開く」

ヘルプの見方

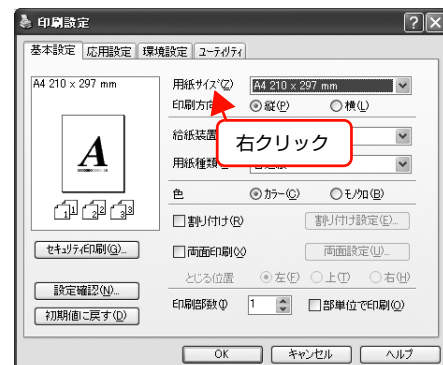
プリンタドライバの各設定項目の詳細は、プリンタドライバヘルプに掲載されています。ヘルプ画面は以下の３つの方法で開けます。

方法１

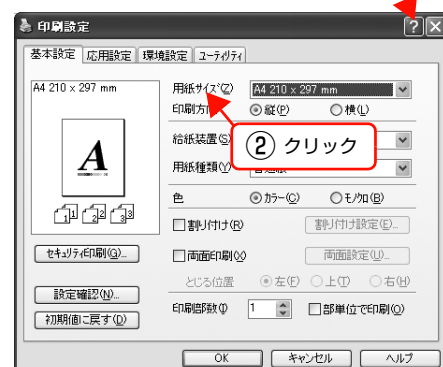
調べたい項目がある画面の［ヘルプ］をクリックします。

［基本設定］画面の例

方法２

調べたい項目の文字の上で右クリックします。

［基本設定］画面の例

方法３

? をクリックしてから、調べたい項目の文字の上でクリックします。

［基本設定］画面の例

プリンタの監視

プリンタのエラーや消耗品の残量、印刷の進行状況などがコンピュータ上で確認できます。これは、EPSON ステータスモニタ（プリンタ監視ユーティリティ）の機能です。

EPSON ステータスモニタは、『セットアップと使い方編』（冊子）の手順に従ってセットアップするとインストールされます。

使用条件

EPSON ステータスモニタでは、以下の環境で使用しているプリンタの監視ができます。

ローカル接続

コンピュータのインターフェイスが双方向通信に対応していること。

Windows XP/Windows Vista のリモートデスクトップ機能*を利用している状態で、移動先のコンピュータから、そのコンピュータに直接接続されたプリンタへ印刷すると、EPSON ステータスモニタがインストールされていると通信エラーが発生します。ただし、印刷は正常に行われます。

* 移動先のモバイルコンピュータなどからオフィスネットワーク内のコンピュータ上にあるアプリケーションソフトやファイルへアクセスし、操作することができる機能。

TCP/IP 直接接続

EpsonNet Print または Standard TCP/IP 接続であること。

Windows 共有プリンタ

- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）上に、対応するプリンタのドライバがインストールされ、かつ、そのプリンタの共有設定がされていて、タスクトレイの［通知設定］画面で［共有プリンタを監視させる］にチェックが付いていること。
- Windows Vista ではユーザーの簡易切り替え*によって複数のユーザーから同時に共有プリンタを監視することはできません。複数ユーザーで同時に共有プリンタを監視する場合は、EPSON ステータスモニタの［通知設定］画面で［共有プリンタを監視させる］にチェックを付けます。

* 1 つの OS に、同時に複数のユーザーがログインできる機能。

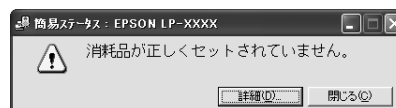
参考

- NetBEUIを使用した直接印刷とIPP印刷では、ネットワークプリンタの監視はできません。
- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ上）で、［共有プリンタを監視させる］をチェックした後でプリンタの接続先を変える場合は、一旦このチェックを外して［OK］をクリックしてから、再度チェックしてください。
- Windows Vista の［通知設定］画面で［共有プリンタを監視させる］にチェックすると、Windows Vista のユーザーアカウント制御により、プロフラムの実行を許可する確認画面が表示されます。
  確認画面では、［続行］をクリックしてください。

エラーの表示

コンピュータからの印刷中にエラーが発生すると、［簡易ステータス］画面が表示され、エラーの内容をお知らせします。［詳細］をクリックすると［詳細ステータス］画面が表示されます。

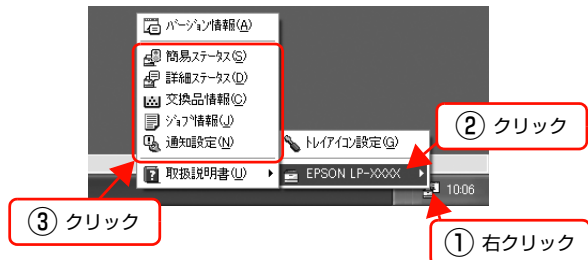
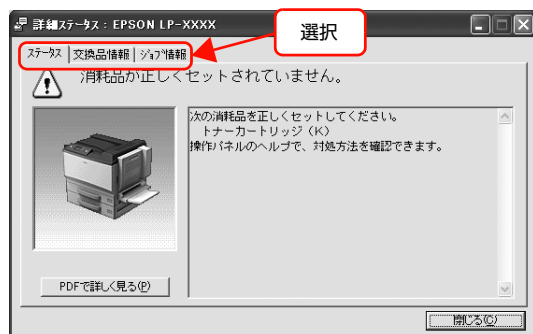
エラーが解消されると、画面は自動的に閉じます。

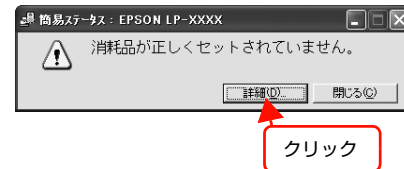
［簡易ステータス］画面

［詳細ステータス］画面

プリンタの状態の確認

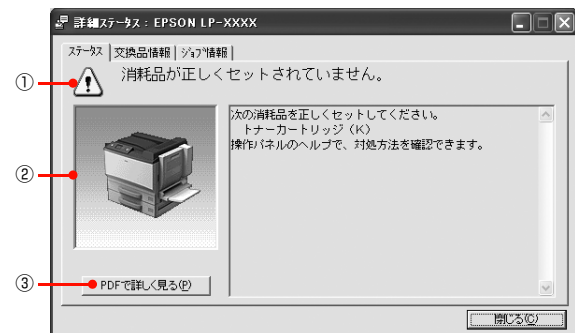
［簡易ステータス］、［詳細ステータス］、［交換品情報］、［ジョブ情報］の各画面を開くとプリンタの状態が確認できます。

画面の開き方は以下の通りです。

タスクトレイから本製品を選択し、［簡易ステータス］、［詳細ステータス］、［交換品情報］、［ジョブ情報］を選択します。

［詳細ステータス］、［交換品情報］、［ジョブ情報］は、タブをクリックして切り替えることもできます。

各画面の概要

［簡易ステータス］画面

プリンタの状態を示すメッセージが表示されます。［詳細］をクリックすると［詳細ステータス］画面が表示されます。

［詳細ステータス］画面

プリンタの状態を示すメッセージや、エラーの対処方法などが表示されます。

①アイコン / メッセージ

プリンタの状態を示すメッセージとアイコンが表示されます。

②イラスト / メッセージ

プリンタの状態を示すメッセージと、該当箇所を示すイラストが表示されます。エラーが発生すると、対処方法が表示されます。

③［PDF で詳しく見る］ボタン

取扱説明書（電子マニュアル）がインストールされている環境下で、紙詰まりや交換品の寿命など特定のエラーが発生したときに表示されます。ボタンをクリックすると、PDF 版の取扱説明書が起動し、対処方法が記載されたページが表示されます。

［通知設定］画面の［取扱説明書（PDF）を参照する］のチェックが外れているときは表示されません。

☞ 本書 10 ページ「監視・通知の設定」

！重 要

Adobe Reader のインストール直後は、このボタンから Adobe Reader を起動できません。あらかじめ Windows の［プログラム］または［すべてのプログラム］から Adobe Reader を起動して、使用許諾契約書に同意してからお使いください。

[交換品情報]画面

交換品の寿命（残量）などが表示されます。画面右上の表示切り替えボタン［◀］/［▶］をクリックすると、画面が切り替わります。

①用紙

給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（タイプ）、用紙残量の目安を表示します。

用紙カセットは紙残量 20%未満でアイコンが点滅します。

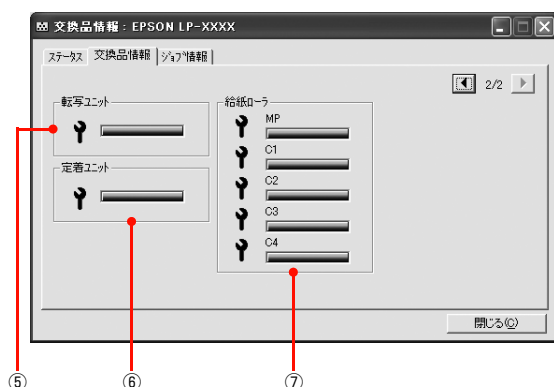
②トナー

トナーの残量の目安を表示します。トナーに関するエラーやワーニングが発生すると、該当する色のアイコンが点滅します。

③廃トナーボックス

廃トナーボックスの空き容量が少なくなるとアイコンが点滅します。

④感光体ユニット

感光体ユニットの寿命の目安を表示します。感光体ユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

⑤転写ユニット

転写ユニットの寿命の目安を表示します。転写ユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

⑥定着ユニット

定着ユニットの寿命の目安を表示します。定着ユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

⑦給紙ローラ

給紙ローラの寿命の目安を表示します。給紙ローラに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

[ジョブ情報]画面

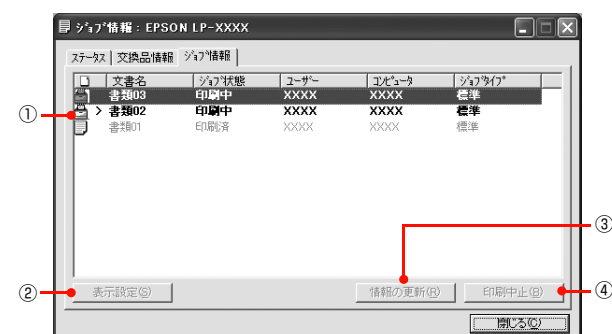
ネットワーク環境で印刷中またはプリンタで処理中のジョブの状態が表示されます。

TCP/IP 接続のネットワーク環境で、かつ以下の条件を満たすときに使用できます。

- プリントサーバを介した共有設定

プリントサーバの OS	Windows 2000/ Windows Server 2003/ Windows Vista
クライアントの OS	Windows XP/ Windows 2000/ Windows Vista
プリンタとプリントサーバの接続方法	EpsonNet Print Standard TCP/IP

- プリントサーバを介さないネットワーク接続

クライアントの OS	Windows XP/ Windows 2000/ Windows Vista
プリンタとクライアントの接続方法	EpsonNet Print Standard TCP/IP

①ジョブリスト

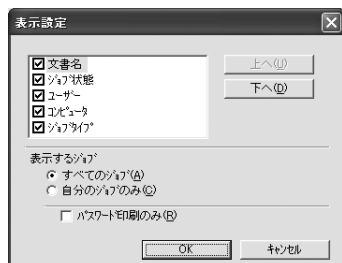
コンピュータでスプール中またはプリンタで処理中のジョブの文書名、状態、ユーザー名、コンピュータ名、ジョブタイプを表示します。リスト一番左のアイコンは、印刷の状態に応じて変化します。

ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブでは、以下の情報は表示されません。

- 送信中ジョブ
- 印刷済みジョブと削除済みジョブ
- 待機中または印刷中の文書名

② [表示設定] ボタン

ジョブリストの表示内容を設定します。

表示する項目名にチェックを付けると表示され、チェックを外すと表示されません。また、項目を選択してから［上へ］/［下へ］をクリックすると、ジョブリスト内での表示順序が変更できます。

③ [情報の更新] ボタン

最新のジョブ情報を表示します。

④ [印刷中止] ボタン

ジョブリストに表示されている印刷中、送信中、待機中、保持のジョブを選択し、［印刷中止］をクリックすると、そのジョブの印刷を中止することができます。

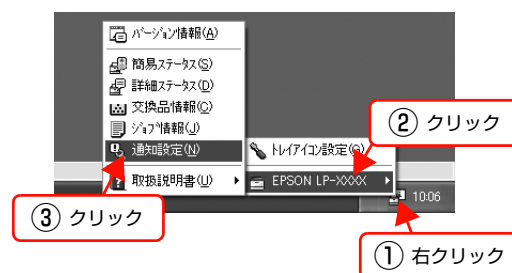
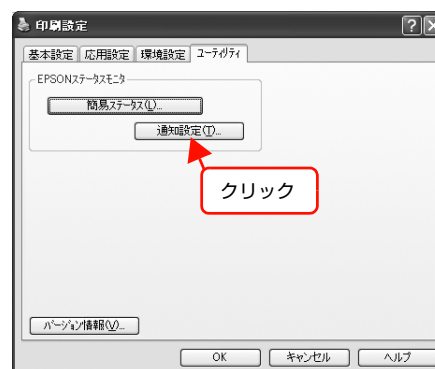
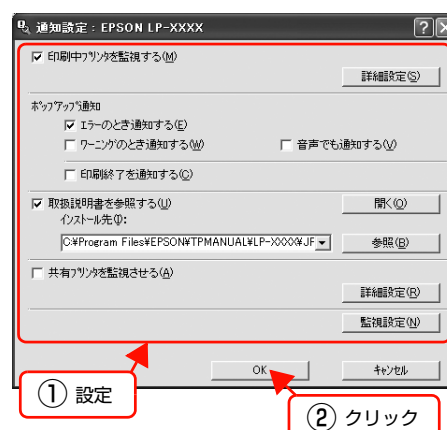
ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブは中止できません。

監視・通知の設定

EPSON ステータスモニタで、どのような状態を画面表示するか、音声通知するか、共有プリンタを監視するかなどを設定します。

設定方法は以下の通りです。

1 **タスクトレイまたはプリンタドライバの［ユーティリティ］画面から［通知設定］画面を開きます。**

タスクトレイから開く場合

プリンタドライバから開く場合

2 **必要な項目を設定します。**

設定項目の詳細は、画面のヘルプを参照してください。

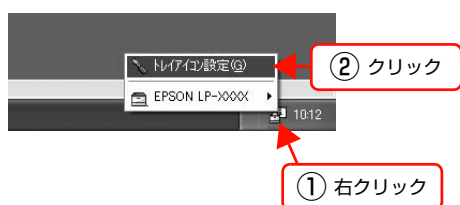
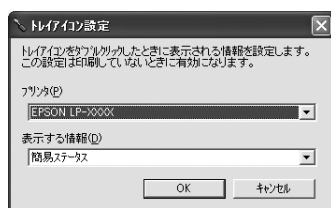
☞ 本書 6 ページ「ヘルプの見方」

以上で終了です。

トレイアイコンの設定

タスクトレイにある EPSON ステータスモニタのアイコンを、印刷していない状態でダブルクリックしたとき、どのプリンタの何を表示するか設定します。印刷しているときは、印刷中のプリンタの簡易ステータスが表示されます。

設定方法は以下の通りです。

1 **タスクトレイのEPSONステータスモニタのアイコンを右クリックし、[トレイアイコン設定]をクリックします。**

2 **[トレイアイコン設定]画面で、[プリンタ]と[表示する情報]を選択します。**

以上で終了です。

バーコードフォントの使い方

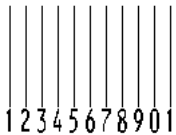
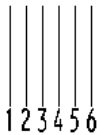
同梱のソフトウェア CD-ROM には、EPSON バーコードフォントが収録されています。EPSON バーコードフォントは、データキャラクタ（バーコードに登録する文字列）を入力するだけで、簡単にバーコードシンボルを作成できるフォントです。通常必要な、データキャラクタ以外のコードやマージン、OCR-B フォント（バーコード下部の文字）などの入力が不要です。

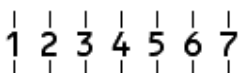
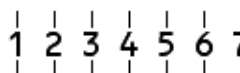
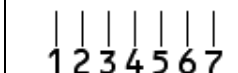
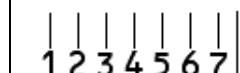
インストール方法は以下を参照してください。

本書 25 ページ「ソフトウェアを選択してインストール」

バーコードフォントの種類

EPSON バーコードフォントの種類は以下の通りです。

各バーコードの仕様や規格の詳細は、仕様書や市販の解説書などを参照してください。

JAN（標準バージョン）

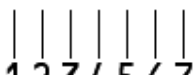
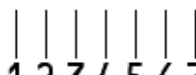
フォント名		EPSON JAN-13	EPSON JAN-13 Short
OCR-B		あり	
チェックデジット		あり	
キャラクタ種類		数字（0 ～ 9）	
桁数		12	
入力可能サイズ		60 ～ 96pt	36 ～ 90pt
読み取り保証サイズ		60pt、75pt（標準）	36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt
自動設定される情報（入力不要）		• レフト / ライトマージン • レフト / ライトガードバー • チェックデジット • OCR-B • センターバー	
例	入力	123456789012	
	画面表示	123456789012	123456789012
	印刷	1 234567 890128	1 234567 890128
備考		JIS X 0501	• JAN-13 のバーの高さを低くしたもの • 日本国内でのみ使用可能

JAN(短縮バージョン)

フォント名		EPSON JAN-8	EPSON JAN-8 Short
OCR-B		あり	
チェックデジット		あり	
キャラクタ種類		数字（0 ～ 9）	
桁数		7	
入力可能サイズ		52 ～ 130pt	36 ～ 90pt
読み取り保証サイズ		52pt、65pt（標準）、97.5pt、130pt	36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt
自動設定される情報（入力不要）		• レフト / ライトマージン • レフト / ライトガードバー • チェックデジット • OCR-B • センターバー	
例	入力	1234567	
	画面表示	1234567	1234567
	印刷	1234 5670	1234 5670
備考		－	• JAN-8 のバー高さを低くしたもの • 日本国内でのみ使用可能

UPC

フォント名		EPSON UPC-A	EPSON UPC-E
OCR-B		あり	
チェックデジット		あり	
キャラクタ種類		数字（0 ～ 9）	
桁数		11	6
入力可能サイズ		60 ～ 96pt	
読み取り保証サイズ		60pt、75pt（標準）	
自動設定される情報（入力不要）		• レフト / ライトマージン • レフト / ライトガードバー • チェックデジット • OCR-B • センターバー	• レフト / ライトマージン • レフト / ライトガードバー • チェックデジット • OCR-B • ナンバーシステムの「0」
例	入力	12345678901	123456
	画面表示	12345678901	123456
	印刷	1 23456 78901 2	0 123456 5
備考		Regular タイプ。補足コードはサポートしていません。	Zero Suppression タイプ（余分な 0 を削除）

Code39

フォント名		EPSON Code39	EPSON Code39 CD	EPSON Code39 Num	EPSON Code39 CD Num
OCR-B		なし		あり	
チェックデジット		なし	あり	なし	あり
キャラクタ種類		英数字（A～Z、0～9）、記号（－　．　スペース　＄　／　＋　％）			
桁数		制限なし			
入力可能サイズ		26～96pt		36～96pt	
読み取り保証サイズ		26pt、52pt、78pt		36pt、72pt	
自動設定される情報（入力不要）		• 左／　右クワイエットゾーン • スタート／　ストップキャラクタ • チェックデジット			
例	入力	1234567			
	画面表示	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7
	印刷			1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7 S
備考		• JIS X 0503 • スペースを表すバーコードを入力したいときは、「＿」（アンダーライン）を入力してください。			

Code128

フォント名		EPSON CODE128
OCR-B		なし
チェックデジット		あり
キャラクタ種類		全ての ASCII 文字（95 文字）
桁数		制限なし
入力可能サイズ		26 ～ 96pt
読み取り保証サイズ		26pt、52pt、78pt
自動設定される情報（入力不要）		• 左 / 右クワイエットゾーン • スタート / ストップキャラクタ • コードセットの変更キャラクタ • チェックデジット
例	入力	1234567
	画面表示	1234567
	印刷	
備考		• JIS X 0504 • コードセット A、B、C をサポートしています。入力するキャラクタのコードセットが途中で変わったときに、自動的にコードセットの変換コードを挿入します。

Interleaved 2 of 5

フォント名		EPSON ITF	EPSON ITF CD	EPSON ITF Num	EPSON ITF CD Num
OCR-B		なし		あり	
チェックデジット		なし	あり	なし	あり
キャラクタ種類		数字（0 ～ 9）			
桁数		制限なし			
入力可能サイズ		26 ～ 96pt		36 ～ 96pt	
読み取り保証サイズ		26pt、52pt、78pt		36pt、72pt	
自動設定される情報（入力不要）		• 左 / 右クワイエットゾーン • スタート / ストップキャラクタ • チェックデジット • 文字列先頭の「0」（合計文字数が偶数でない場合のみ）			
例	入力	1234567			
	画面表示	1234567	1234567	1234567	1234567
	印刷			01234567	12345670
備考		キャラクタを2個一組で扱います。キャラクタの合計数が奇数個の場合、EPSON バーコードフォントは自動的にキャラクタの先頭に 0 を追加して偶数個になるようにします。			

NW-7

フォント名		EPSON NW-7	EPSON NW-7 CD	EPSON NW-7 Num	EPSON NW-7 CD Num
OCR-B		なし		あり	
チェックデジット		なし	あり	なし	あり
キャラクタ種類		数字（0 ～ 9）、記号（−　$　:　/　.　+）			
桁数		制限なし			
入力可能サイズ		26 ～ 96pt		36 ～ 96pt	
読み取り保証サイズ		26pt、52pt、78pt		36pt、72pt	
自動設定される情報（入力不要）		• 左 / 右クワイエットゾーン • スタート / ストップキャラクタ（入力しない場合） • チェックデジット			
例	入力	1234567			
	画面表示	1234567	1234567	1234567	1234567
	印刷			A 1 2 3 4 5 6 7 A	A 1 2 3 4 5 6 7 4 A
備考		• JIS X 0503 • スタート / ストップキャラクタのどちらかを入力すると、もう一方も同じになるように自動的挿入されます。スタート / ストップキャラクタを入力しない場合は、両方に自動的に「A」が自動挿入されます。			

郵便番号(カスタマバーコード)

フォントの項目		内容
フォント名		EPSON J-Postal Code
OCR-B		なし
チェックデジット		あり
キャラクタ種類		数字（0 ～ 9)、英文字（A ～ Z)、記号（－）
桁数		制限なし
入力可能サイズ		8 ～ 11.5pt
読み取り保証サイズ		8pt、9pt、10pt、11.5pt
自動設定される情報（入力不要）		• バーコードの上下左右 2mm の空白 • 入力時の－（ハイフン）の削除 • スタート / ストップコード • 住所表示番号の 13 桁調整 • チェックデジット
例	入力	123-4567
	画面表示	1 2 3 – 4 5 6 7
	印刷	
備考		• 郵便番号（3桁）－郵便番号（4桁）－住所表示番号（バーコードに変換後 13 桁まで）を入力します。住所表示番号は入力時の桁数の制限はありませんが、バーコードに変換後 13 桁を超える部分は省略されます。また住所表示番号が 13 桁に満たないときは、13 桁になるように末尾にコードが挿入されます。 • 印刷領域やレイアウト枠は余裕をもって設定してください。

EAN128

フォント名		EPSON EAN128
OCR-B		あり
チェックデジット		あり
キャラクタ種類		数字（0 ～ 9)、英文字（A ～ Z） 括弧 (　) は、アプリケーション識別子 (AI) を識別するためのみ使用します。英文字は大文字のみサポートが、入力は小文字で行います。
桁数		アプリケーション識別子 (AI) により桁数が異なります。 01：GTIN（グローバルトレードアイテムナンバー） 　　4桁「(01)」＋ 13 桁（数字） 17：バッチ / ロットナンバー 　　4桁「(17)」＋6桁（数字） 10：保証期限日 　　4桁「(10)」＋最大 20 桁（英数字） 30：数量 　　4桁「(30)」＋最大8桁（数字）
入力可能サイズ		36pt 以上
読み取り保証サイズ		36pt、72pt
自動設定される情報（入力不要）		• 左／右クワイエットゾーン • スタート／ストップキャラクタ • FNC1 キャラクタ （Code128 との識別、および可変長アプリケーション識別子用データの区切りのため） • コードセットの変更キャラクタ • チェックデジット
例	入力	(01)1491234567890(17)990101(30)12(10)abc
	画面表示	(01)1491234567890(17)990101(30)12(10)ABC
	印刷	(01)14912345678901(17)990101(30)12(10)ABC
備考		コードセット A、B、C をサポートしています。入力するキャラクタのコードセットが途中で変わったときは、自動的にコードセットの変換コードが挿入されます。

標準料金代理収納

項目		内容
フォント名		EPSON EAN128_A191
OCR-B		あり
チェックデジット		あり
キャラクタ種類		数字（0 〜 9）、記号（−） 括弧 (　) は、アプリケーション識別子 (AI) を識別するためのみ使用します。 ハイフンは、入力する数字間のセパレータとして使用します。
桁数		４桁「(91)」＋ 46 桁（数字間の「-」を含む）
入力可能サイズ		48pt 以上
読み取り保証サイズ		48pt
自動設定される情報（入力不要）		• 左 / 右クワイエットゾーン • スタート / ストップキャラクタ • FNC1 キャラクタ（Code128 との識別のために挿入します。） • チェックデジット
例	入力	(91)912345-012345678901234567890-1-010331-0-123000
	画面表示	(91)912345-012345678901234567890-1-010331-0-123000
	印刷	(91)912345-0123456789012345678901 010331-0-123000-3
備考		コンビニエンスストアなどで扱う請求書用シンボル

データ作成時のご注意

- 文字の装飾（ボールド / イタリック / アンダーライン等）、網掛けはしないでください。
- 背景色は、バーコード部分とのコントラストが低下する色を避けてください。
- 文字の回転は、90 度、180 度、270 度以外は指定しないでください。
- 文字間隔は変更しないでください。
- 文字の縦あるいは横方向のみを拡大 / 縮小しないでください。
- アプリケーションソフトのオートコレクト機能は使用しないでください。

  例）文字間隔の自動調整
  　　行末に存在するスペース削除
  　　連続する複数個のスペースをタブなどに変換
  　　記号の変換
- 入力した文字をバーコードに変換する際に、バーコードとして必要なキャラクタを自動的に追加するため、バーコードの長さが入力時よりも長くなることがあります。バーコードと周囲の文字が重ならないように注意してください。
- 一行に２つ以上のバーコードを入力するときは、バーコード間をタブで区切ってください。スペースで区切るときは、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。バーコードフォントでスペースを入力すると、スペースがバーコードの一部となってしまいます。
- 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、バーコードの高さを、全長の 15%以上になるように自動的に調整します。バーコードの周囲に文字が入っているときは、バーコードと重ならないように間隔を空けてください。（Code39/Code128/Interleaved 2 of 5/NW-7/EAN128）
- アプリケーションソフトで、改行を示すマークの表示 / 非表示を選択できる場合、バーコードの部分とそうでない部分が区別しやすいよう、改行マークが表示される設定にしておくことをお勧めします。

印刷時のご注意

- トナーの濃度や紙質あるいは、お使いのアプリケーションソフトによっては、印刷されたバーコードが読み取り機で読み取れないことがあります。お使いの読み取り機で認識テストをしてからご利用いただくことをお勧めします。
- EPSON バーコードフォントは、本製品に同梱されているプリンタドライバでのみ印刷可能です。
- プリンタドライバで、以下の通り設定してください。

画面	項目	設定値
基本設定	割り付け	チェックなし（OFF）
応用設定	拡大 / 縮小	チェックなし（OFF）
応用設定（応用設定－詳細設定）	印刷品質	きれい（600dpi）
応用設定－詳細設定	トナーセーブ	チェックなし（OFF）

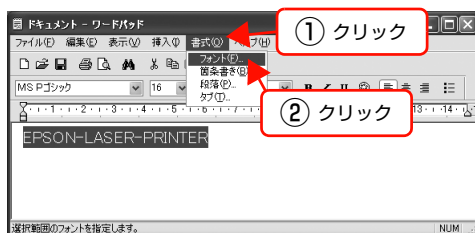
バーコード作成 / 印刷の手順

ここでは Windows XP のワードパッドを例に、EPSON バーコードフォントの作成と印刷の手順を説明します。

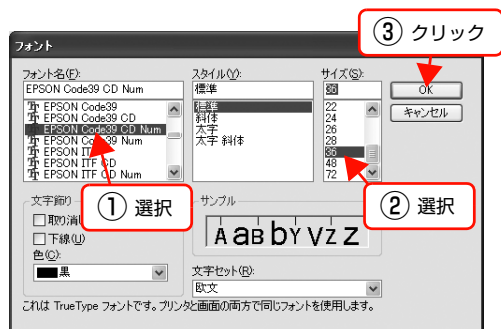
1 **ワードパッドを起動し、バーコード変換する文字をすべて半角（1Byte）で入力します。**

2 **入力した文字を選択します。**

選択した範囲が反転表示になります。

3 **［書式］―［フォント］の順にクリックします。**

4 **［フォント］の一覧から印刷したい EPSON バーコードフォントを選択し、［サイズ］を選択して［OK］をクリックします。**

推奨または使用可能なフォント（キャラクタ）サイズは、バーコードフォントの種類と OS のバージョンによって異なります。

☞ 本書 12 ページ「バーコードフォントの種類」

参考

アプリケーションソフトによっては、フォント名をそのフォント自体で表示することがあります。

5 **入力した文字が、図のように表示されます。**

6 **印刷を実行します。**

入力したデータがバーコードとして印刷されます。

入力したデータが不適当な場合などプリンタドライバがエラーと判断すると、画面表示と同様のフォントが出力されます。この場合バーコードとして読み取りはできません。

以上で終了です。

TrueType フォントの使い方

同梱のソフトウェア CD-ROM には、EPSON TrueType フォントと OCR-B* TrueType フォントが収録されています。インストールすると、アプリケーションソフトで使用できる書体が追加され、より表現豊かな文書を作成することができます。

＊　光学的文字認識に用いる目的で開発され、JISX9001 に規定された書体の名称。

インストール方法は以下を参照してください。
本書 25 ページ「ソフトウェアを選択してインストール」

ソフトウェア CD-ROM に収録されているフォントは以下の通りです。

EPSON TrueType フォント

フォント名	印刷例
EPSON 行書体 M	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 教科書体 M	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 正楷書体 M	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 丸ゴシック体 M	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 太角ゴシック体 B	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 太明朝体 B	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 太行書体 B	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント
EPSON 太丸ゴシック体 B	美しく華麗な日本語フォント 美しく華麗な日本語フォント

OCR-B TrueType フォント

フォント名	印刷例
OCR-B	1234567890

ソフトウェア CD-ROM に収録されている OCR-B フォントセットには、OCR-B の規格外の文字も含まれています。

読み取り用に使用するときは、事前に読み取り機で読み取れることを確認してください。トナー状況や用紙の種類によって読み取れないことがあります。OCR-B フォントの保証サイズは 12 ポイントです。

ソフトウェアを選択してインストール

セットアップ時にインストールされないソフトウェアをインストールしたいときや、再インストールが必要なときは、必要なソフトウェアだけを選択してインストールすることができます。

ソフトウェアの不具合などにより、すでにインストールされているソフトウェアをインストールし直したいときは、対象のソフトウェアを一旦削除し、コンピュータを再起動してからインストールしてください。

☞ 本書 26 ページ「ソフトウェアの削除」

1 **Windowsを起動してソフトウェアCD-ROMをセットします。**

Windows Vista:

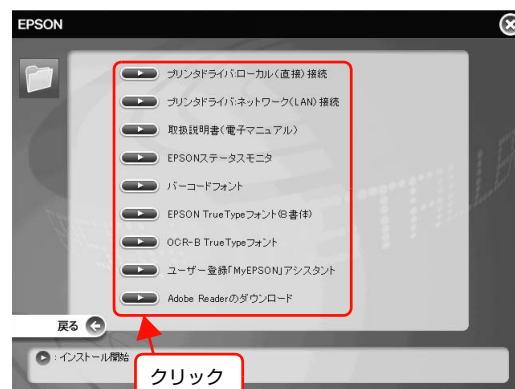
① ［自動再生］画面の［プログラムのインストール / 実行］を、発行元が SEIKO EPSON であることを確認してからクリックします。

② ［ユーザーアカウント制御］画面で［続行］をクリックします。

Windows Vista 以外:

2 に進みます。

2 **［カスタムインストール］をクリックします。**

3 **インストールするソフトウェアの［ ］をクリックします。**

4 **画面の指示に従ってインストール作業を進めます。**

最後に［完了］をクリックしてインストールを終了します。

以上で終了です。

ソフトウェアの削除

インストールしたソフトウェアを削除する方法を説明します。再インストールやバージョンアップをするときは、対象のソフトウェアを削除してから行います。

！重要

- 管理者権限のあるユーザーでログオンし、ソフトウェアを削除してください。
- 削除したソフトウェアを再インストールする場合は、コンピュータを再起動してください。

1 **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

2 **Windows の［スタート］メニューから［コントロールパネル］を開きます。**

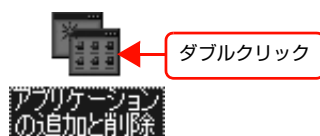
Windows XP/Windows Server 2003/ Windows Vista：
［スタート］－［コントロールパネル］の順にクリックします。

Windows 2000：
［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］の順にクリックします。

3 **［プログラムのアンインストール］/［プログラムの追加と削除］/［アプリケーションの追加と削除］を開きます。**

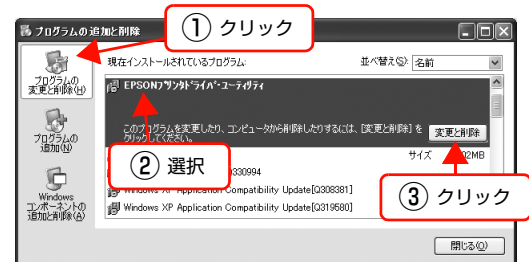
Windows Vista：
［プログラムのアンインストール］をクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003：
［プログラムの追加と削除］をダブルクリックします。

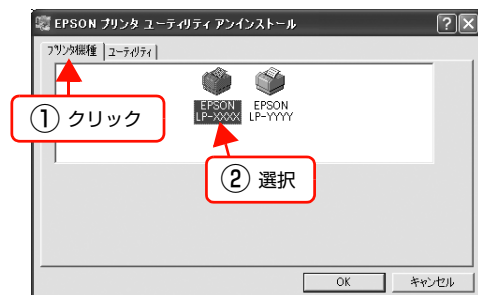
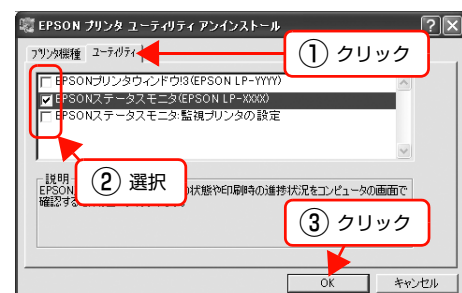
Windows 2000：
［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。

4 **削除するソフトウェアを選択してから［アンインストールと変更］/［変更と削除］をクリックします。**

Windows Vista：
削除するソフトウェアを選択してから［アンインストールと変更］をクリックします。

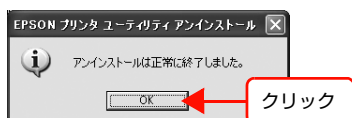
Windows 2000/Windows XP/ Windows Server 2003：
［プログラムの変更と削除］をクリックしてから削除するソフトウェアを選択し［変更と削除］をクリックします。

<例> Windows XP の場合

- ［EPSON プリンタドライバ・ユーティリティ］を選択すると、プリンタドライバと EPSON ステータスモニタを削除します。5 に進んでください。
- その他のソフトウェアを削除する場合は 7 に進んでください。

5 **［プリンタ機種］タブをクリックし、本製品のアイコンを選択します。**

ここで選択した機種のプリンタドライバが削除されます。プリンタドライバを削除したくないときは、何も選択していない状態にしてください。

6 **［ユーティリティ］タブをクリックし、削除するソフトウェアを選択して［OK］をクリックします。**

7 **画面の指示に従って作業を進めます。**

8 **終了のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。**

削除したソフトウェアを再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。

以上で終了です。

ソフトウェアのバージョンアップ

ソフトウェアCD-ROMに収録されているプリンタドライバなどのソフトウェアは、バージョンアップを行うことがあります。必要に応じて新しいソフトウェアをお使いください。

入手方法

最新のソフトウェアは、弊社のホームページからダウンロードできます。最新バージョンの情報は、ホームページでご確認ください。バージョンは、数字が大きいほど新しいものです。

アドレス　http://www.epson.jp/

CD-ROM での郵送をご希望の場合は、エプソンディスクサービスが実費にて承ります。

☞『セットアップと使い方編』（冊子）裏表紙

バージョンアップの手順

ソフトウェアのバージョンアップの手順は以下の通りです。

旧バージョンのソフトウェアを削除
☞ 本書 26 ページ「ソフトウェアの削除」

↓

新バージョンのソフトウェアを入手
（ダウンロードまたは郵送）

↓

ファイルを解凍してインストール

ソフトウェアの使い方（Mac OS X）

同梱のソフトウェア CD-ROM には、プリンタドライバなど本製品を使用するのに必要なソフトウェアが収録されています。ここでは、主なソフトウェアの使い方を説明します。

プリンタドライバの使い方

コンピュータのアプリケーションソフトで作成または表示した文書や画像を印刷するには、プリンタドライバが必要です。プリンタドライバでは、出力する用紙のサイズや向き、印刷品質などに関するさまざまな設定ができます。

プリンタドライバは、『セットアップと使い方編』（冊子）の手順に従ってセットアップを行うとインストールされます。用紙や印刷の設定をする前に、［プリンタ設定ユーティリティ］または［システム環境設定］－［プリントとファクス］で本製品を選択してください。セットアップ時に選択してから変更していなければ、再選択する必要はありません。

☞『セットアップと使い方編』（冊子）－「コンピュータの接続と設定」

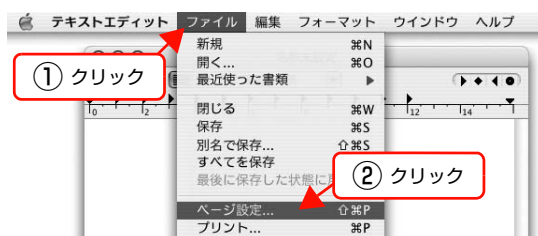
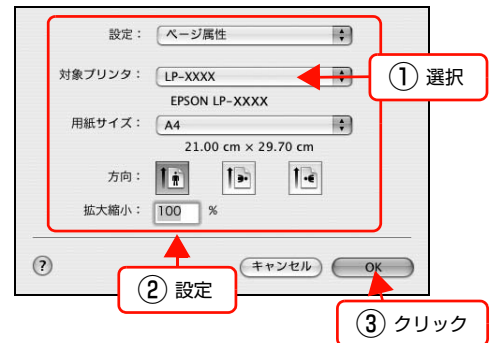
ページ設定

アプリケーションソフトで印刷データを作成するときに、プリンタドライバの［ページ設定］画面で、用紙サイズなどを設定します。

Mac OS X v10.5.x は、アプリケーションによっては［ページ設定］画面が表示されません。その場合は、［プリント］画面で設定してください。

1 **［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択します。**

アプリケーションソフトによってメニュー名が異なります。

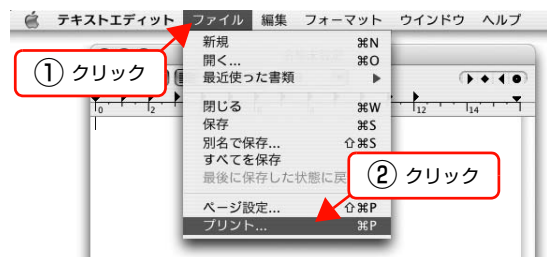
「テキストエディット」の例

2 **［対象プリンタ］から本製品を選択して必要な項目を設定し、［OK］をクリックします。**

設定項目の詳細はプリンタドライバヘルプを参照してください。

☞ 本書 29 ページ「ヘルプの見方」

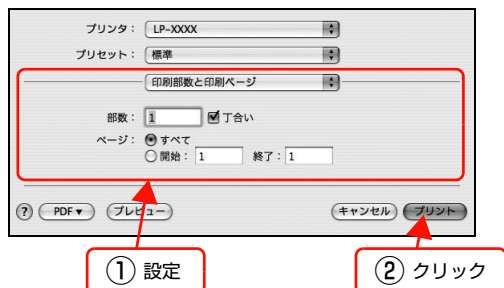
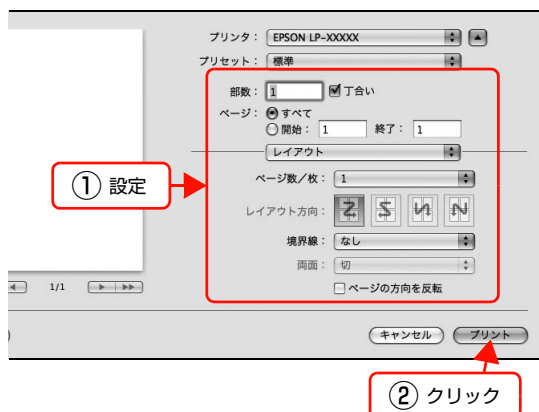
以上で終了です。

プリント設定

作成したデータを印刷するときは、［プリント］画面で印刷関連の設定をします。

1 **［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

2 必要な項目を設定し、［プリント］をクリックします。

印刷が実行されます。
アプリケーションによっては、独自の設定画面を表示するものもあります。

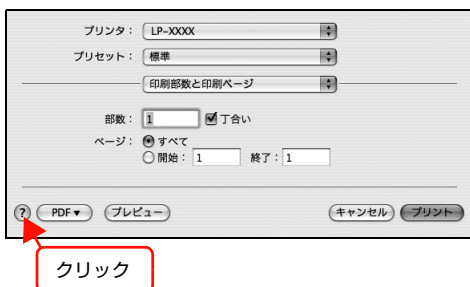
Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x：

Mac OS X v10.5.x：

設定項目の詳細はプリンタドライバヘルプを参照してください。
☞ 本書 29 ページ「ヘルプの見方」

以上で終了です。

ヘルプの見方

プリンタドライバの各設定項目の詳細は、プリンタドライバヘルプに掲載されています。

調べたい項目がある画面の ? をクリックすると、ヘルプが表示されます。

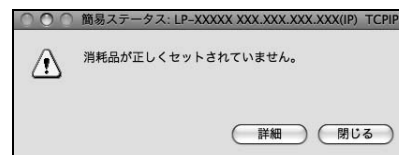
［プリント］画面の例

プリンタの監視

プリンタの状態（エラーや消耗品の残量、印刷の進行状況など）がコンピュータ上で確認できます。これは、プリンタドライバとともにインストールされる EPSON ステータスモニタの機能です。

エラーの表示

コンピュータからの印刷中にエラーが発生すると、EPSON ステータスモニタの［簡易ステータス］画面が表示され、エラーの内容をお知らせします。［詳細］をクリックすると［詳細ステータス］画面が表示されます。

エラーが解消されると、［簡易ステータス］画面は自動的に閉じます。

［簡易ステータス］画面

［詳細ステータス］画面

プリンタの状態の確認

［簡易ステータス］、［詳細ステータス］、［交換品情報］、［ジョブ情報］の各画面を開くとプリンタの状態が確認できます。

各画面の開き方は以下の 2 通りあります。

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x は、［プリンタ設定ユーティリティ］で本製品を追加した後は、一度印刷設定画面を開いてください。印刷設定画面を開くと、プリンタ情報の取得を開始します。

方法 1

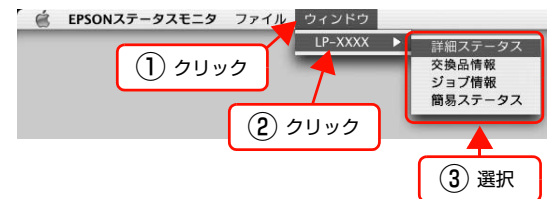
1 Dock にある EPSON ステータスモニタのアイコンをクリックします。

［プリンタ設定ユーティリティ］で設定したデフォルトプリンタの EPSON ステータスモニタが起動します。

Mac OSX v10.4.x ～ v10.5.x では、プリンタドライバをインストール後、再ログインまたは OS を再起動するとアイコンが表示されます。

2 ［ステータス］、［交換品情報］、［ジョブ情報］画面を切り替えます。

- クリックして画面を切り替えます。

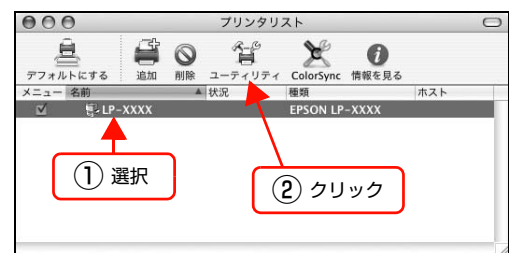
- ［ウィンドウ］メニューで本製品を選択してから、表示したいメニューを選択します。

［簡易ステータス］が画面上に表示されていないとき、メニューから［簡易ステータス］はグレーアウトし、選択できません。

以上で終了です。

方法 2

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x：

1 ［プリンタ設定ユーティリティ］の［プリンタリスト］から本製品を選択し、［ユーティリティ］をクリックします。

プリンタ登録直後は起動しない場合があります。そのときは一度［印刷］画面を開く必要があります。

参考

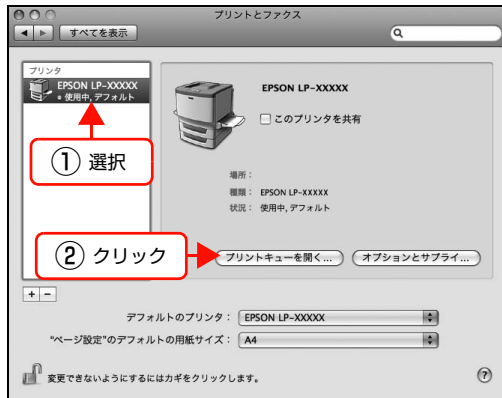
本製品を Bonjour 接続している場合は、［プリンタリスト］画面の［ユーティリティ］をクリックしても、EPSON ステータスモニタは起動しません(Mac OS X の仕様により、WEB ブラウザが起動します)。Dock から EPSON ステータスモニタを起動してください。

2 ［ステータス］、［交換品情報］、［ジョブ情報］のいずれかを選択して画面を切り替えます。

クリックして画面を切り替えます。

以上で終了です。

Mac OS X v10.5.x：

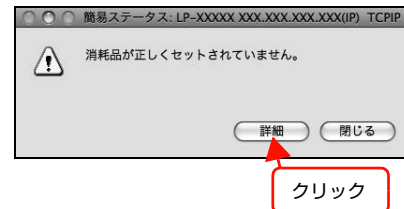
1 [システム環境設定] － [プリントとファクス] から本製品を選択し、[プリントキューを開く] をクリックします。

2 プリントキュー画面上の[ユーティリティ]をクリックします。

3 [ステータス]、[交換情報]、[ジョブ情報] のいずれかを選択して切り替えます。

クリックして画面を切り替えます。

以上で終了です。

各画面の概要

[簡易ステータス]画面

プリンタの状態を示すメッセージが表示されます。[詳細]をクリックすると[詳細ステータス]画面が表示されます。

[詳細ステータス]画面

プリンタの状態を示すメッセージや、エラーの対処方法などが表示されます。

①アイコン / メッセージ

プリンタの状態を示すメッセージとアイコンが表示されます。

②イラスト / メッセージ

プリンタの状態を示すメッセージと、該当箇所を示すイラストを表示します。エラーが発生したときは、対処方法を表示します。

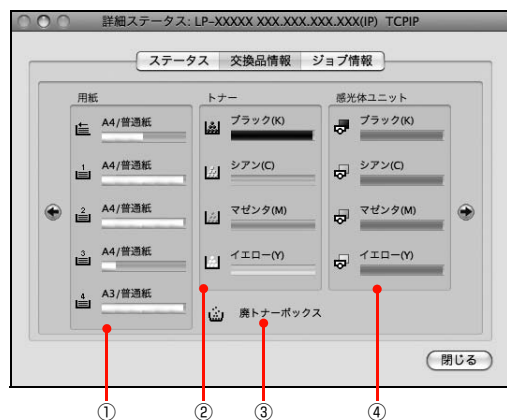
③[PDF で詳しく見る]ボタン

取扱説明書（電子マニュアル）がインストールされている環境下で、紙詰まりや交換品の寿命など特定のエラーが発生したときに表示されます。ボタンをクリックすると、PDF 版の取扱説明書が起動し、対処方法が記載されたページが表示されます。

[通知設定] 画面の [取扱説明書を参照する] のチェックが外れているときは表示されません。

☞ 本書 33 ページ「監視・通知の設定」

[交換品情報]画面

交換品の寿命（残量）などが表示されます。画面右上の表示切り替えボタン［ ］/［ ］をクリックすると、画面が切り替わります。

①用紙

給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（タイプ）、用紙残量の目安を表示します。

用紙カセットは紙残量20%未満でアイコンが点滅します。

②トナー

トナーの残量の目安を表示します。トナーに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

③廃トナーボックス

廃トナーボックスの空き容量が少なくなるとアイコンが点滅します。

④感光体ユニット

感光体ユニットの寿命の目安を表示します。感光体ユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

⑤転写ユニット

転写ユニットの寿命の目安を表示します。転写ユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

⑥定着ユニット

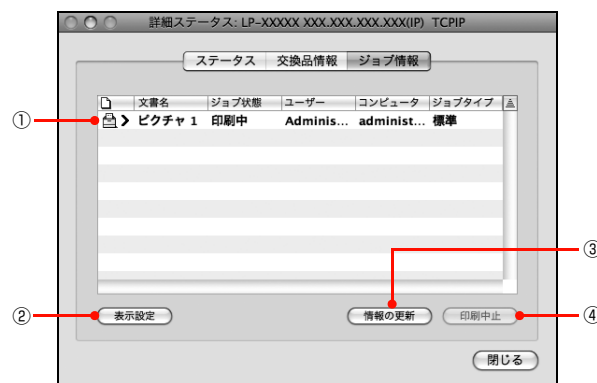
定着ユニットの寿命の目安を表示します。定着ユニットに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

⑦給紙ローラ

給紙ローラの寿命の目安を表示します。給紙ローラに関するエラーやワーニングが発生すると、アイコンが点滅します。

[ジョブ情報]画面

ネットワーク環境で印刷中またはプリンタで処理中のジョブの状態が表示されます。

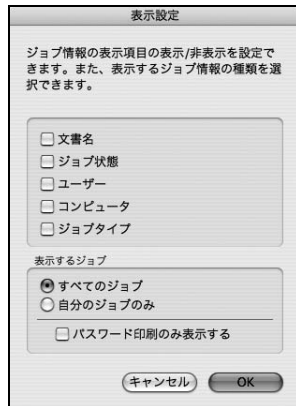
プリントサーバを介さないネットワーク接続（Rendezvous/Bonjour、EPSON TCP/IP、EPSON AppleTalk による接続）の場合に使用できます。

①ジョブリスト

コンピュータでスプール中またはプリンタで処理中のジョブの文書名、状態、ユーザー名、コンピュータ名、ジョブタイプを表示します。リスト一番左のアイコンは、印刷の状態に応じて変化します。

ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブの情報は表示されません。

- 送信中ジョブ
- 印刷済みジョブと削除済みジョブ
- 待機中または印刷中の文書名

② [表示設定] ボタン
ジョブリストの表示内容を設定します。

表示する項目名にチェックを付けると表示され、チェックを外すと表示されません。

③ [情報の更新] ボタン
最新のジョブ情報を表示します。

④ [印刷中止] ボタン
ジョブリストに表示されている印刷中、送信中、待機中、保持のジョブを選択し、[印刷中止] をクリックすると、そのジョブの印刷を中止することができます。

ネットワーク上のほかのユーザーが実行したジョブは中止できません。

監視・通知の設定

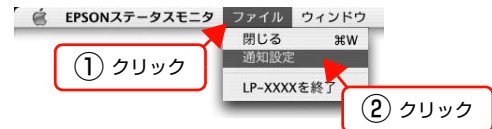
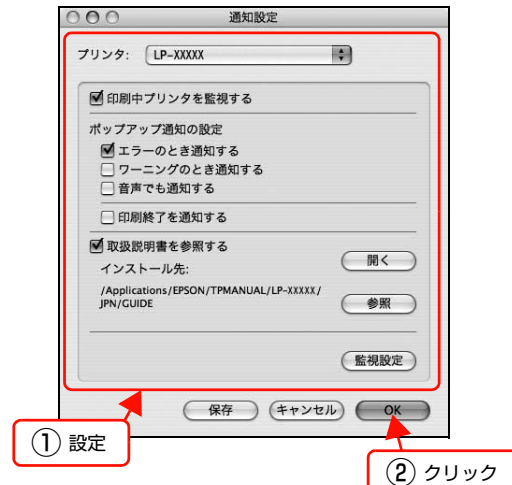
EPSON ステータスモニタで、どのような状態を画面表示するか、音声通知するかなどを設定します。

設定方法は以下の通りです。

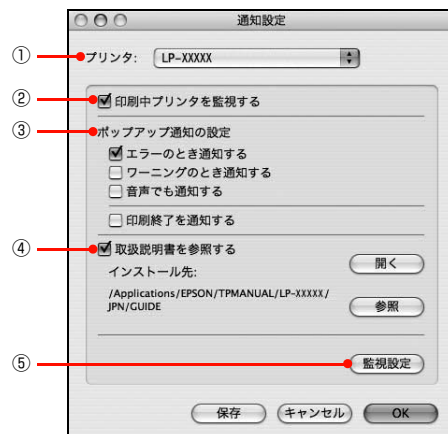
1 **Dock にある EPSON ステータスモニタのアイコンをクリックします。**

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x：
[プリンタ設定ユーティリティ] で設定したデフォルトプリンタの EPSON ステータスモニタが起動します。

Mac OS X v10.5.x：
[プリントとファクス] の [デフォルトのプリンタ] で設定したデフォルトプリンタの EPSON ステータスモニタが起動します。

2 **EPSON ステータスモニタの [ファイル] メニューから [通知設定] をクリックします。**

3 **必要な項目を設定します。**

設定項目の詳細は以下を参照してください。
☞ 本書 33 ページ「[通知設定] 画面」

以上で終了です。

[通知設定] 画面

① プリンタ
複数プリンタを監視しているときに、設定を行うプリンタを切り替えます。

② 印刷中プリンタを監視する
印刷中にプリンタを監視します。

③ポップアップ通知の設定

エラーやワーニング発生時に［簡易ステータス］画面で知らせるかどうかを設定します。

項目	内容
エラーのとき通知する	エラー発生時に通知します。
ワーニングのとき通知する	ワーニング発生時に通知します。
音声でも通知する	お使いのコンピュータのサウンド機能が有効な（消音でない）ときに、エラーやワーニングを音声でも通知します。
印刷終了を通知する	印刷が終了すると以下の画面を表示して通知します。 ジョブ管理機能をサポートしていない環境（ネットワーク接続以外）ではグレーアウトして設定できません。

④取扱説明書を参照する

トラブル発生時に表示する取扱説明書（電子マニュアル）に関する設定をします。チェックすると、紙詰まりなどのエラーが発生したときに［詳細ステータス］画面の［ステータス］タブに［PDF で詳しく見る］ボタンが表示されます。ボタンをクリックすると、PDF 版の取扱説明書が起動し、対処方法が記載されたページが表示されます。チェックを外すと、［PDF で詳しく見る］ボタンは表示されません。

項目	説明
［開く］	クリックすると、取扱説明書（電子マニュアル）の先頭ページを表示します。
［インストール先：］	取扱説明書（電子マニュアル）がインストールされている場所を表示します。
［参照］	取扱説明書（電子マニュアル）をインストールしたフォルダを選択できます。インストール先を変更したり、ネットワーク環境でサーバにインストールした取扱説明書（電子マニュアル）を参照するときなどは、該当のフォルダを選択してください。

⑤［監視設定］ボタン

［監視設定］をクリックすると、監視する間隔（ローカル接続時 6 ～ 60 秒 / ネットワーク接続時 15 ～ 60 秒）を設定できます。なお、［初期値に戻す］をクリックすると、監視間隔を初期値に戻します。

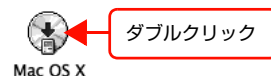
ソフトウェアを選択してインストール

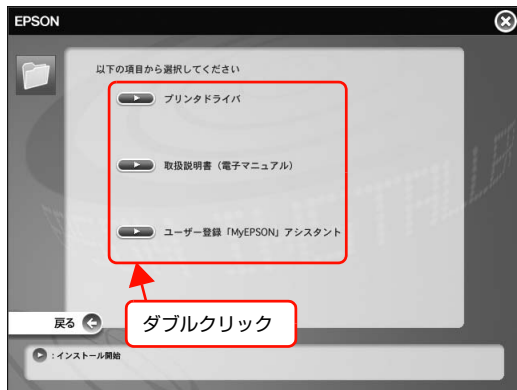
セットアップ時にインストールされないソフトウェアをインストールしたいときや、再インストールが必要なときは、必要なソフトウェアだけを選択してインストールすることができます。

ソフトウェアの不具合などにより、すでにインストールされているソフトウェアをインストールし直したいときは、対象のソフトウェアを一旦削除してからインストールをし、［プリンタ設定ユーティリティ］で本製品を選択し直してください。

本書 35 ページ「ソフトウェアの削除」

1 **Mac OS X を起動してソフトウェア CD-ROM をセットし、デスクトップの［EPSON］のアイコンをダブルクリックします。**

2 **［Mac OS X］のアイコンをダブルクリックします。**

3 **［カスタムインストール］をクリックします。**

4 **インストールするソフトウェアの［ ］をダブルクリックします。**

5 **画面の指示に従ってインストール作業を進めます。**

最後に［終了］をクリックしてインストールを終了します。

以上で終了です。

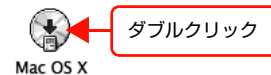
ソフトウェアの削除

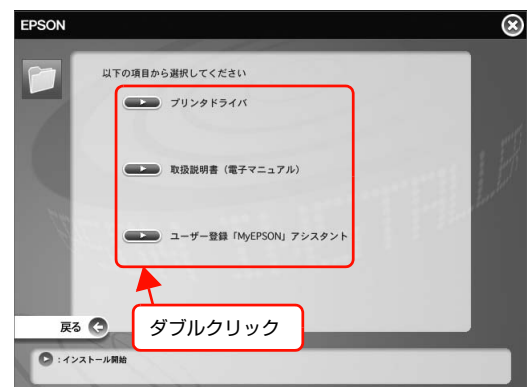
インストールしたソフトウェアを削除する方法を説明します。再インストールやバージョンアップをするときは、対象のソフトウェアを削除してから行います。

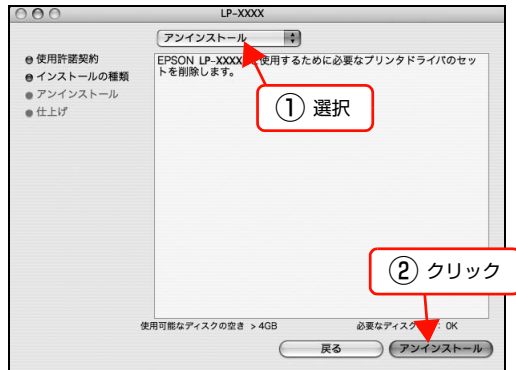
> **！重要**
>
> ソフトウェアの削除は管理者権限をお持ちの方が行ってください。

1 **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

2 **Mac OS X を起動してソフトウェア CD-ROM をセットし、デスクトップの［EPSON］のアイコンをダブルクリックします。**

3 **［Mac OS X］のアイコンをダブルクリックします。**

4 **［カスタムインストール］をクリックします。**

5 **アンインストールするソフトウェアの［ ］をダブルクリックします。**

6 **画面の指示に従って進みます。**

7 **以下の画面が表示されたら、メニューから［アンインストール］を選択し、［アンインストール］をクリックします。**

8 **画面の指示に従ってアンインストール作業を進めます。**

最後に［終了］をクリックしてアンインストールを終了します。

プリンタドライバ以外の場合はこれで終了です。
プリンタドライバの場合は 9 へ進んでください。

9 **ハードディスクアイコンをダブルクリックします。**

10 **［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントとファクス］を開きます。**

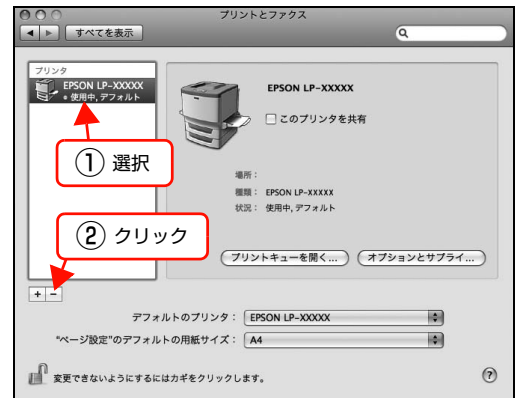
Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x：
［アプリケーション］ －［ユーティリティ］フォルダから［プリンタ設定ユーティリティ］を開きます。

Mac OS X v10.5.x：
［アプリケーション］－［システム環境設定］から［プリントとファクス］を開きます。

11 **プリンタを削除します。**

Mac OS X v10.3.9 ～ v10.4.x：
プリンタを選択して、［削除］をクリックします。

［削除］をクリックしたら、画面を閉じます。

Mac OS X v10.5.x：
プリンタを選択して、［－］をクリックします。

［OK］をクリックしたら、画面を閉じます。

以上で終了です。

ソフトウェアのバージョンアップ

ソフトウェアCD-ROMに収録されているプリンタドライバなどのソフトウェアは、バージョンアップを行うことがあります。必要に応じて新しいソフトウェアをお使いください。

入手方法

最新のソフトウェアは、弊社のホームページからダウンロードできます。最新バージョンの情報は、ホームページでご確認ください。バージョンは、数字が大きいほど新しいものです。

アドレス　http://www.epson.jp/

CD-ROM での郵送をご希望の場合は、エプソンディスクサービスが実費にて承ります。

『セットアップと使い方編』（冊子）裏表紙

バージョンアップの手順

ソフトウェアのバージョンアップの手順は以下の通りです。

旧バージョンのソフトウェアを削除
本書 35 ページ「ソフトウェアの削除」

↓

新バージョンのソフトウェアを入手
（ダウンロードまたは郵送）

↓

ファイルを解凍してインストール

特殊紙（ハガキや封筒など）への印刷

ハガキや厚紙などの特殊な用紙への印刷方法を説明します。特殊紙はすべて MP トレイから給紙してください。

本書 37 ページ「ハガキ」
本書 38 ページ「封筒」
本書 40 ページ「厚紙」
本書 41 ページ「ラベル紙」
本書 42 ページ「コート紙」
本書 43 ページ「OHP シート」
本書 44 ページ「定形紙以外の用紙 / 長尺用紙」

印刷できる用紙の詳細は以下を参照してください。

『セットアップと使い方編』（冊子）―「印刷できる用紙」

- 特殊紙への印刷速度は、普通紙への印刷に比べて遅くなります。これは、特殊紙への良好な印刷を行うために、プリンタ内部で印刷速度を調整しているためです。
- 大量に印刷するとき、大量に用紙を購入するときは、事前に試し印刷をして思い通りの印刷結果になることを確認してください。

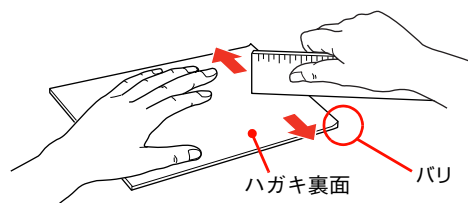
ハガキ

ハガキに印刷する際のご注意や、印刷手順を説明します。

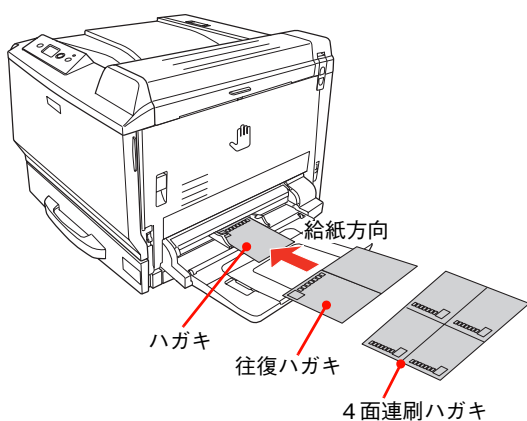
ハガキに関するご注意

- 以下のハガキには印刷しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。
  - ・インクジェットプリンタ用の専用ハガキ
  - ・表面に特殊コート、糊付けが施されたハガキ、圧着ハガキ
  - ・ほかのプリンタやコピー機で一度印刷したハガキ
  - ・私製ハガキ、絵ハガキなど
  - ・箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のあるハガキ
  - ・中央に折り跡のある往復ハガキ、および四面連刷ハガキ
- 大きく反っているハガキは、反りを修正してからお使いください。
- 絵入りハガキを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着して給紙できなくなることがあります。

給紙 / 印刷のポイント

- 両面に印刷するときは、良好な印刷結果を得るために、宛名面を先に印刷してから通信面を印刷してください。
- 設定した位置に印刷されなかったり、用紙が二重送りされてしまうときは、用紙を 1 枚ずつセットして印刷してください。
- ハガキの先端を MP トレイの奥までしっかりセットしても給紙されないときは、先端を数ミリ上に反らせてセットしてください。
- ハガキの断面に、裁断時にできた「バリ」があるときは、除去してください。ハガキを水平な場所に置き、定規などを「バリ」がある部分に垂直にあてて矢印方向に 1 ～ 2 回こすると除去できます。また、バリを除去した後は、紙粉をよく払ってから給紙してください。紙粉は給紙不良の原因となります。

印刷手順

1 **MP トレイにハガキをセットします。**

セット枚数	10 枚または総厚 12.5mm （MP トレイのみ）
印刷面	片面印刷： 印刷する面を下にしてセット
	自動両面印刷： 1ページ目の印刷する面を上にしてセット
セット方向	ハガキ：縦長
	往復ハガキ、4 面連刷ハガキ：横長

2 **操作パネルの［給紙装置設定］－［MP トレイサイズ］を［はがき］、［往復はがき］、［4 面連刷はがき］のいずれかに設定します。**

☞ 本書 67 ページ「操作パネルの使い方」

3 **下表を参照してプリンタドライバの設定をし、印刷を実行します。**

OS	設定画面	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	ハガキ 100 × 148mm 往復ハガキ 148 × 200mm 4面連刷ハガキ200×296mm
		給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	ハガキ（1 面目） ハガキ（2 面目）
Mac OS X	ページ設定	用紙サイズ	ハガキ 往復ハガキ 4 面連刷ハガキ
	印刷設定	給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	ハガキ（1 面目） ハガキ（2 面目）

☞ Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

以上で終了です。

封筒

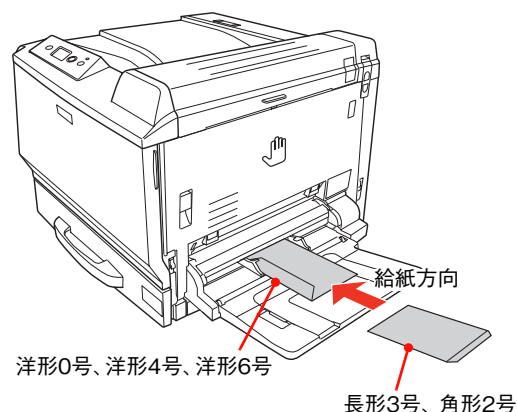
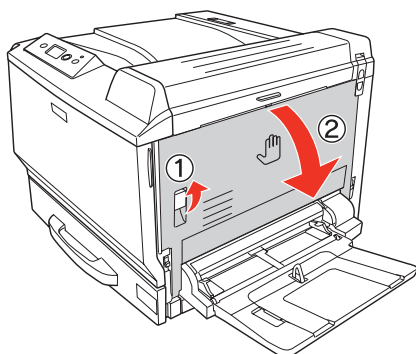
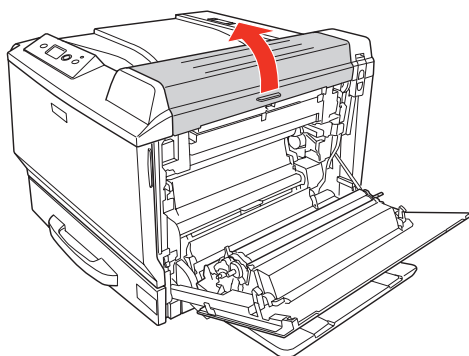
封筒に印刷する際のご注意や、印刷手順を説明します。

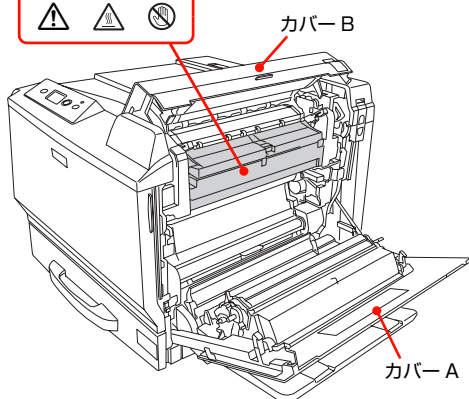
封筒に関するご注意

- 以下の封筒には印刷しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。
  - ・封の部分に糊付け加工が施されている封筒
  - ・箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のある封筒
  - ・リボン、フックなどが付いている封筒
  - ・ほかのプリンタやコピー機で一度印刷した封筒
  - ・二重封筒
  - ・窓付きの封筒
  - ・フラップの長さが 35mm 以上の封筒
- 封筒の紙種、保管および印刷環境、印刷方法によっては、しわが目立つことがありますので、紙送り圧切替レバーを操作するなどして事前に試し印刷することをお勧めします。

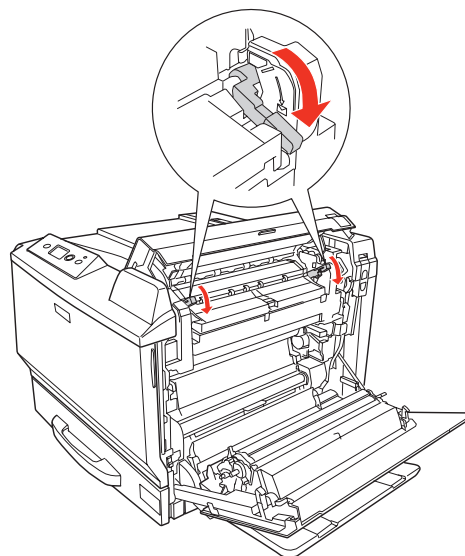
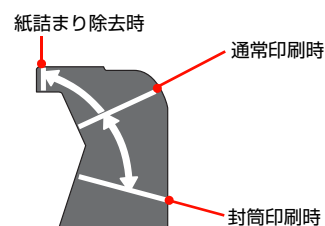
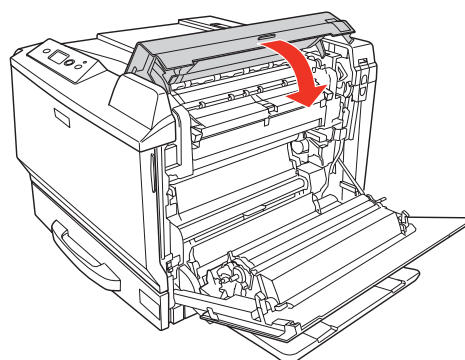
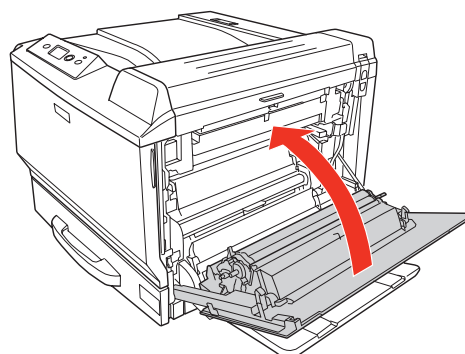
印刷手順

1 **MP トレイに封筒をセットします。**

セット枚数	10 枚または総厚 12.5mm （MP トレイのみ）
印刷面	印刷する面を下にしてセット
セット方向	洋形 0 号、洋形 4 号、洋形 6 号： フラップ部を閉じて、フラップ部が給紙方向に対して左下になるように縦長にセット
	長形 3 号、角形 2 号： フラップ部を開いたまま、フラップ部が給紙方向に対して後方になるように縦長にセット

2 ロックレバーを上げて、カバー A を開けます。

3 カバー B を開けます。

⚠注 意

- カバー A とカバー B を開けたとき、定着器部分に手を触れないようご注意ください。内部は高温（約 200 度）になっているため、火傷のおそれがあります。
- プリンタ内部に手を入れるときは十分に注意してください。けがをするおそれがあります。

!重 要

プリンタ内部のローラやギアには手を触れないでください。故障の原因になります。

4 リリースレバー（左右）を下げて、封筒位置に合わせます。

5 カバー B を閉じます。

6 カバー A を閉じます。

7 **操作パネルの［給紙装置設定］－［MP トレイサイズ］を印刷する封筒サイズ * に設定します。**

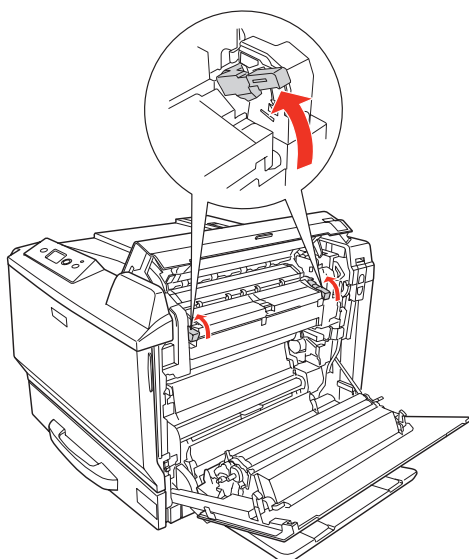
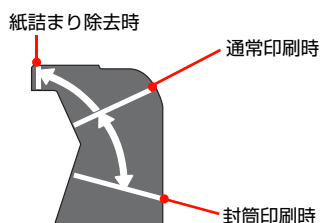
* 洋形０号、洋形４号、洋形６号、長形３号、角形２号

8 **下表を参照してプリンタドライバの設定をし、印刷を実行します。**

OS	設定画面	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	洋形０号 120 × 235mm 洋形４号 105 × 235mm 洋形６号 98 × 190mm 長形３号 120 × 235mm 角形２号 240 × 332mm
		給紙装置	MP トレイ
Mac OS X	ページ設定	用紙サイズ	洋形０号 洋形４号 洋形６号 長形３号 角形２号
	印刷設定	給紙装置	MP トレイ

Windows：本書４ページ「プリンタドライバの使い方」
Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

重要

封筒以外の用紙に印刷する場合は、リリーズレバー（左右）を押し上げて必ず元の位置（通常印刷時）に戻してください。リリースレバーが正しく設定されていないと、正しく給紙できなかったり、印刷品質が低下することがあいます。

参考

思い通りの方向に印刷できないときは、［180 度回転］（Windows）を設定してください。Mac OS X では設定できません。

以上で終了です。

厚紙

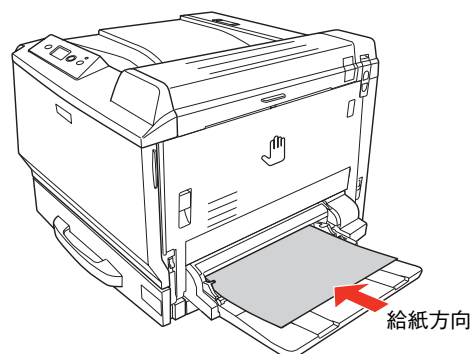
厚紙に印刷する際のご注意や、印刷手順を説明します。

厚紙に関するご注意

大きく反っている厚紙は、反りを修正してからお使いください。

印刷手順

1 **MP トレイに厚紙をセットします。**

セット枚数	10 枚または総厚 12.5mm （MP トレイのみ）
印刷面	片面印刷： 印刷する面を下にしてセット
	自動両面印刷： 1ページ目の印刷する面を上にしてセット
セット方向	横長または縦長 （用紙サイズにより異なる） 『セットアップと使い方編』（冊子） －「用紙一覧と設定早見表」

2 **操作パネルの［給紙装置設定］－［MP トレイサイズ］をセットする用紙のサイズに設定します。**

本書 67 ページ「操作パネルの使い方」

3 下表を参照してプリンタドライバの設定をし、印刷を実行します。

OS	設定画面	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズ
		給紙装置	MP トレイ
		用紙種類 *	厚紙、厚紙（裏面）、特厚紙、特厚紙（裏面）、超特厚紙、超特厚紙（裏面）
Mac OS X	ページ設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズ
	印刷設定	給紙装置	MP トレイ
		用紙種類 *	厚紙、厚紙（裏面）、特厚紙、特厚紙（裏面）、超特厚紙、超特厚紙（裏面）

☞ Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

* 紙の厚さに合わせて［用紙種類］を設定してください。
☞『セットアップと使い方編』（冊子）－「用紙一覧と設定早見表」

以上で終了です。

ラベル紙

ラベル紙に印刷する際のご注意や、印刷手順を説明します。

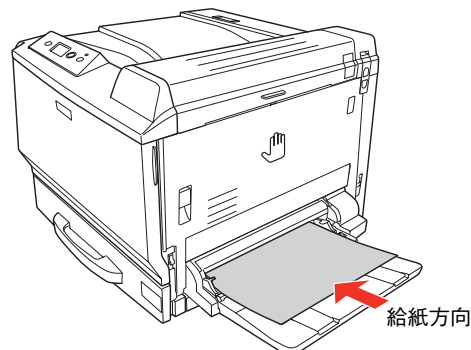
ラベル紙に関するご注意

以下のラベル紙は使用しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。

- ページプリンタ用またはコピー機用以外のラベル紙
- 簡単にはがれてしまうラベル紙
- 一部がはがれているラベル紙
- 糊がはみ出しているラベル紙
- 台紙全体がラベルで覆われていないラベル紙
- インクジェットプリンタ用のラベル紙

印刷手順

1 MP トレイにラベル紙をセットします。

セット枚数	10 枚または総厚 12.5mm（MP トレイのみ）
印刷面	印刷する面を下にしてセット
セット方向	横長

2 操作パネルの［給紙装置設定］－［MP トレイサイズ］と［MP トレイタイプ］を設定します。

- ［MP トレイサイズ］は［A4］または［LT］に設定します。
- ［MP トレイタイプ］は［ラベル］に設定します。

☞ 本書 67 ページ「操作パネルの使い方」

3 **下表を参照してプリンタドライバの設定をし、印刷を実行します。**

OS	設定画面	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	A4 210 × 297mm、 LT 8.5 × 11in
		給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	ラベル
Mac OS X	ページ設定	用紙サイズ	A4、Letter
	印刷設定	給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	ラベル

☞ Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

以上で終了です。

コート紙

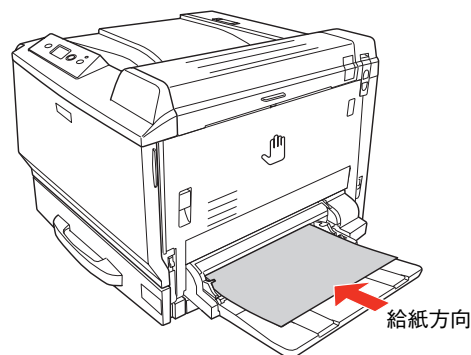
コート紙に印刷する際のご注意や印刷手順を説明します。

コート紙に関するご注意

- 本製品専用のコート紙以外は使用しないでください。
- 用紙は密閉可能な袋もしくは容器に入れ、湿気の多い場所、乾燥し過ぎた場所での保管は避けてください。
- 両面に印刷する場合は、梱包紙の開封面側（梱包紙の合わせ目のある側）を印刷面として先に印刷してください。
- 専用コート紙は表面に特殊な加工を施しているため、使用する温湿度条件によっては画像不良や二重送りなどの給紙不良を起こす場合があります。このようなときは、MP トレイから 1 枚ずつ給紙してください。

印刷手順

1 **MP トレイにコート紙をセットします。**

セット枚数	10 枚または総厚 12.5mm （MP トレイのみ）
印刷面	片面印刷： 印刷する面を下にしてセット
	自動両面印刷： 1ページ目の印刷する面を上にしてセット
セット方向	A4：横長
	A3：縦長
	A3F：縦長

2 **操作パネルの［給紙装置設定］－［MP トレイサイズ］を［A3F］、［A3］または［A4］に設定します。**

☞ 本書 67 ページ「操作パネルの使い方」

3 **下表を参照してプリンタドライバの設定をし、印刷を実行します。**

OS	設定画面	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	A4 210 × 297 mm A3 297 × 410mm A3F 311.2 × 457.2mm
		給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	コート紙、コート紙（裏面）
Mac OS X	ページ設定	用紙サイズ	A4、A3、A3F
	印刷設定	給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	コート紙、コート紙（裏面）

☞ Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

以上で終了です。

OHP シート

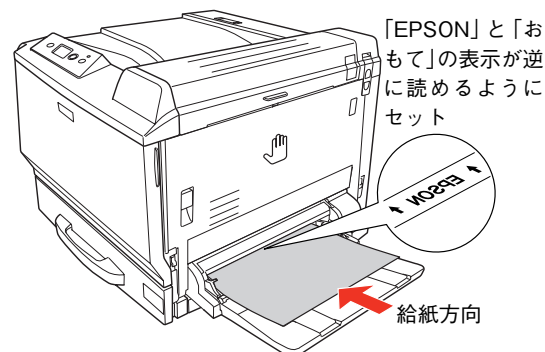
OHP シートに印刷する際のご注意や、印刷手順を説明します。

OHP シートに関するご注意

- 本製品専用の OHP シート以外は使用しないでください。
- 専用 OHP シートは、手の脂が付かないように、手袋をはめるなどしてお取り扱いください。OHP シートに手の脂が付着すると、印刷不良の原因になる場合があります。
- 印刷直後の OHP シートは熱くなっていますのでご注意ください。

印刷手順

1 **MP トレイに OHP シートをセットします。**

セット枚数	10 枚または総厚 12.5mm （MP トレイのみ）
印刷面	印刷する面を下にしてセット
セット方向	横長

2 **操作パネルの［給紙装置設定］－［MP トレイサイズ］と［MP トレイタイプ］を設定します。**

- ［MP トレイサイズ］は［A4］に設定します。
- ［MP トレイタイプ］は［OHP シート］に設定します。

☞ 本書 67 ページ「操作パネルの使い方」

3 **下表を参照してプリンタドライバの設定をし、印刷を実行します。**

OS	設定画面	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	A4 210 × 297mm
		給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	OHP シート
Mac OS X	ページ設定	用紙サイズ	A4
	印刷設定	給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	OHP シート

☞ Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

以上で終了です。

定形紙以外の用紙 / 長尺用紙

定形紙以外の用紙 / 長尺用紙に印刷する際のご注意や、印刷手順を説明します。

定形紙以外の用紙 / 長尺用紙に関するご注意

定形紙以外の用紙 / 長尺用紙に印刷するときは、必ずプリンタドライバの［ユーザー定義サイズ］（Windows）/［カスタム用紙（サイズ）］（Mac OS X）で用紙サイズを指定してください。サイズの異なる用紙を選択して印刷し続けると、プリンタ内部の定着ユニットが損傷することがあります。

用紙サイズの登録

定形紙以外の用紙 / 長尺用紙に印刷するときは、任意の用紙サイズをあらかじめ登録しておきます。

登録できる用紙サイズの詳細は以下を参照してください。

☞『セットアップと使い方編』（冊子）－「用紙一覧と設定早見表」

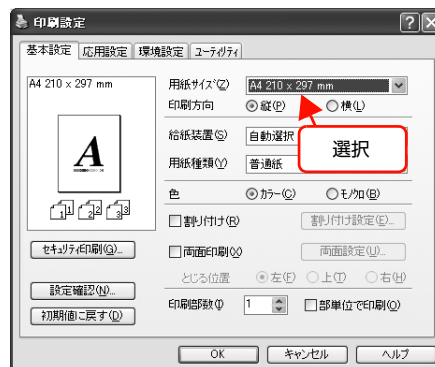
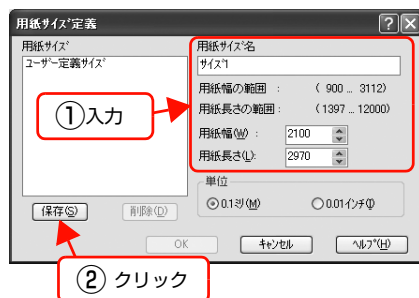
登録した用紙サイズは、本製品のプリンタドライバを再インストールしても保持されます。

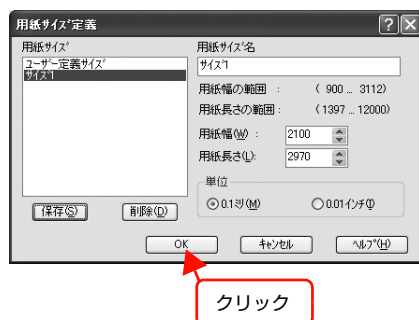
Windows の場合

［用紙サイズ］リストに用意されていない用紙サイズを［ユーザー定義サイズ］として 20 件まで登録できます。

1 **プリンタドライバの設定画面を表示します。**

☞ 本書 4 ページ「設定画面の開き方」

2 **プリンタドライバの［基本設定］画面の［用紙サイズ］リストから［ユーザー定義サイズ］を選択します。**

3 ［用紙サイズ名］、［用紙幅］、［用紙長さ］を入力してから、［保存］をクリックします。

- 登録されている用紙サイズを変更する場合は、［用紙サイズ］リストから変更したい用紙サイズをクリックして選択し、保存し直します。
- 登録されている用紙サイズを削除する場合は、［用紙サイズ］リストから削除したい用紙サイズをクリックして選択し、［削除］をクリックします。

4 ［OK］をクリックします。
ここで登録した用紙サイズが［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。

以上で終了です。

Mac OS X v10.3.9 の場合

［用紙サイズ］リストに用意されていない用紙サイズを［カスタム用紙サイズ］として登録できます。

カスタム用紙サイズの登録は Mac OS X の機能ですので、特定のプリンタドライバに依存することなく、すべてのプリンタドライバで利用できます。

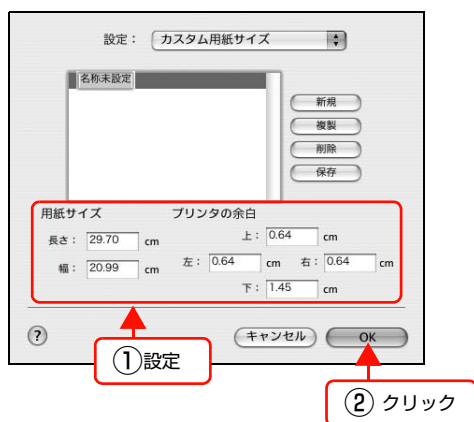
1 プリンタドライバの［ページ設定］画面を開きます。
本書 28 ページ「ページ設定」

2 ［設定］メニューから［カスタム用紙サイズ］を選択します。

3 ［新規］をクリックします。

- 登録されている用紙サイズを複製するときは、リストから複製したいサイズ名をクリックして選択し、［複製］をクリックします。必要に応じて設定を変更してから［保存］をクリックします。
- 登録されている用紙サイズを削除するときは、リストから削除したいサイズ名をクリックして選択し、［削除］をクリックします。
- 登録している用紙サイズを変更するときは、リストから変更したい用紙サイズ名を選択し、設定を変更して［保存］をクリックします。

4 ［用紙サイズ名］、［用紙サイズ］、［プリンタの余白］を設定し、［OK］をクリックします。

ここで登録した用紙サイズが［ページ設定］画面の［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。

- 設定を保存した際に、入力した値がOSの計算により変わることがあります。
- 設定の単位をインチにするには、［システム環境設定］から［言語環境］を開き、［数］タブをクリックして［計測単位］を［ヤード・ポンド法］に設定します。

5 ［OK］をクリックして［ページ設定］画面を閉じます。

以上で終了です。

Mac OS X v10.4.x ～ v10.5.x の場合

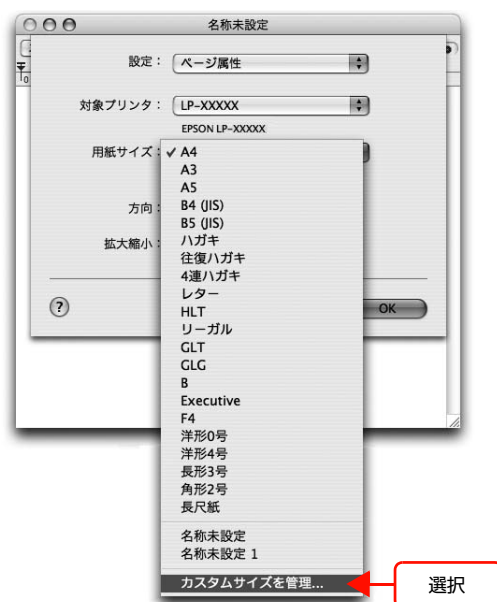
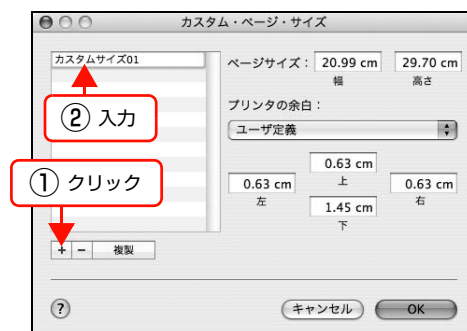
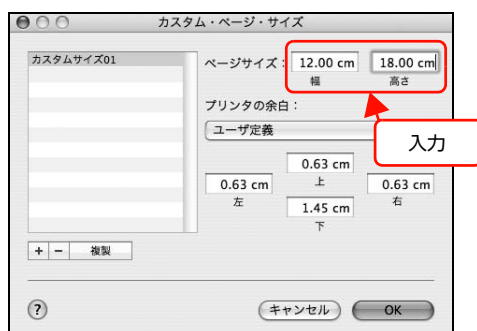
［用紙サイズ］リストに用意されていない用紙サイズを［カスタムサイズ］として登録できます。

カスタムサイズの登録は Mac OS X の機能ですので、特定のプリンタドライバに依存することなく、すべてのプリンタドライバで利用できます。

1 プリンタドライバの［ページ設定］画面を開きます。

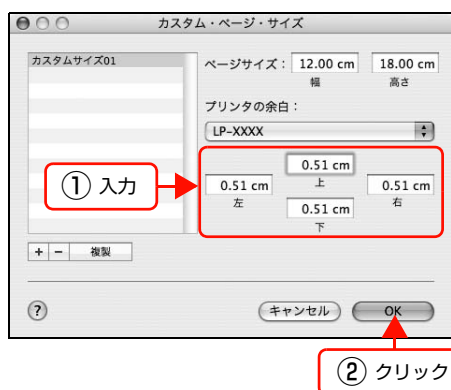
Mac OS X v10.5.x の場合、アプリケーションによっては［プリント］画面から［用紙サイズ］が選択できます。

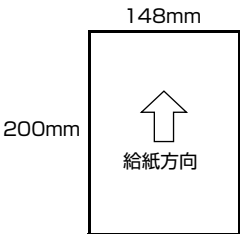
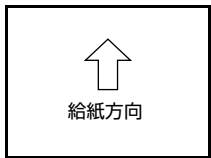
本書 28 ページ「ページ設定」

2 ［用紙サイズ］メニューから［カスタムサイズを管理］を選択します。

3 ［+］をクリックしてリストに表示された［名称未設定］をダブルクリックし、カスタム用紙名を登録します。

4 ［ページサイズ］に用紙サイズを入力します。

設定の単位をインチにするには、［システム環境設定］から［言語環境］を開き、［数式］タブをクリックして［計測単位］を［U.S.］に設定します。

5 ［プリンタの余白］のプルダウンメニューから、プリンタ名を選択します。

6 ［プリンタの余白］に数値を入力し、［OK］をクリックして登録します。

ここで登録した用紙サイズが［ページ設定］画面の［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。

- 登録されている用紙サイズを複製するときは、リストから複製したいサイズ名をクリックして選択し、［複製］をクリックします。必要に応じて設定を変更してから［OK］をクリックします。
- 登録されている用紙サイズを削除するときは、リストから削除したいサイズ名をクリックして選択し、［−］をクリックします。
- 登録している用紙サイズを変更するときは、リストから変更したい用紙サイズ名を選択し、設定を変更して［OK］をクリックします。

7 ［OK］をクリックして［ページ設定］画面を閉じます。

以上で終了です。

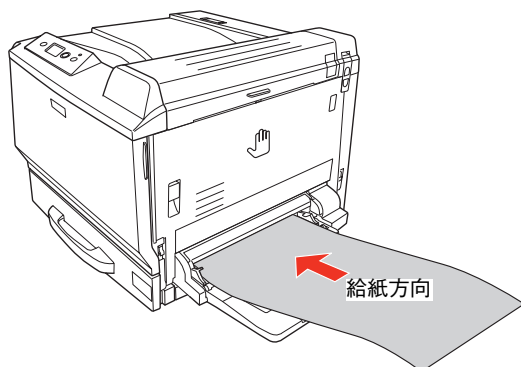
定形紙以外の用紙 / 長尺用紙の印刷手順

1 **印刷する用紙のサイズを［ユーザー定義サイズ］/［カスタム用紙サイズ］としてあらかじめプリンタドライバの［用紙サイズ］に登録します。**

☞ 本書 44 ページ「用紙サイズの登録」

2 **MP トレイに用紙をセットします。**

セット方法は、下表と図を参照してください。

セット枚数	不定形紙 • 紙厚 64 ～ 90g/m^2： 100枚*または総厚 12.5mmまで • 紙厚 91 ～ 256g/m^2： 10 枚 * または総厚 12.5mm まで
	長尺用紙 1 枚（オプションの長尺用紙セットガイドを使用すると 10 枚までセット可能）
印刷面	印刷する面を下にしてセット
セット方向	登録した用紙の向き （例） 「用紙幅 148mm × 用紙長 200mm」の場合 148mm 200mm 給紙方向 （例） 「用紙幅200mm × 用紙長 148mm」の場合 200mm 148mm 給紙方向

参考

長尺用紙など MP トレイの長さよりも長い用紙に印刷する場合は、用紙が下に垂れないよう、なるべく水平な状態でセットしてください。

3 **下表を参照してプリンタドライバの設定をし、印刷を実行します。**

OS	設定画面	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	1 で登録した用紙または長尺紙
		給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	セットした用紙の種類
Mac OS X	ページ設定	用紙サイズ	1 で登録した用紙または長尺紙
	印刷設定	給紙装置	MP トレイ
		用紙種類	セットした用紙の種類

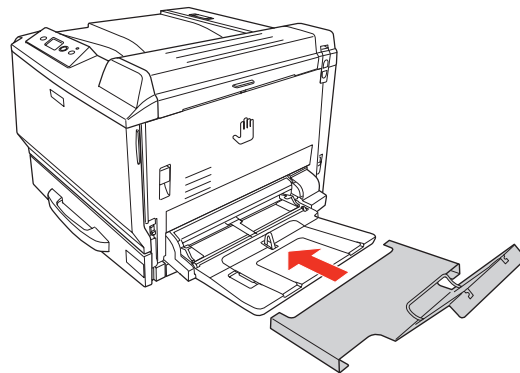
☞ Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

以上で終了です。

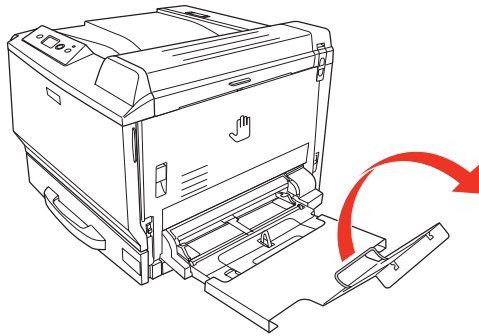
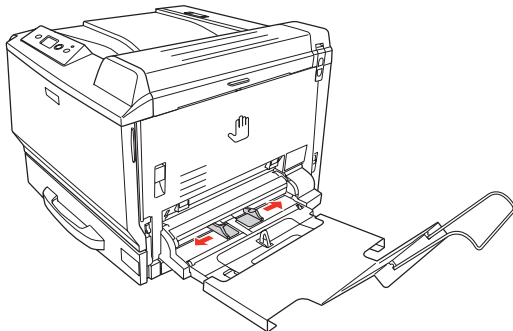
長尺用紙セットガイドの使い方

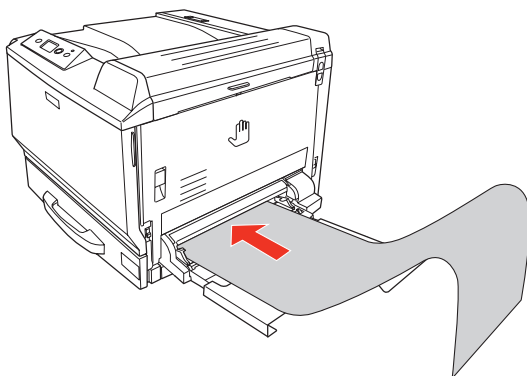
オプションの長尺用紙セットガイドを使用すると、用紙幅 210 ～ 297mm、用紙長さ 458 ～ 1200mm、用紙厚 127 ～ 160g/m^2 の用紙を 10 枚までセットできます。

1 **長尺用紙セットガイドを、MP トレイに差し込みます。**

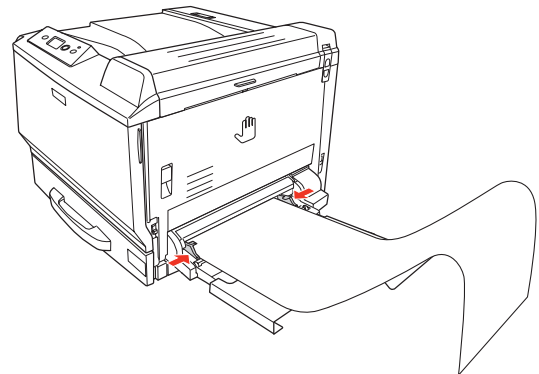
突き当たるまでしっかりと差し込みます。

参考

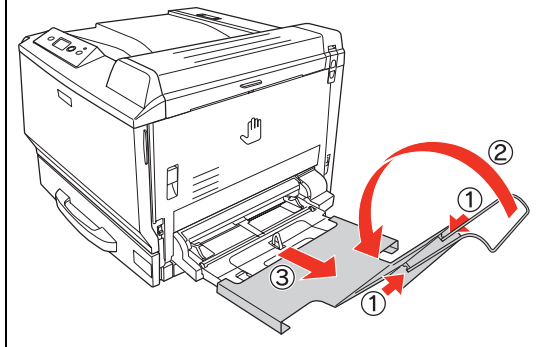
長尺用紙セットガイドをセットした際に、がたつきがないことを確認してください。がたつきがあると、印刷中に用紙が左右にずれることがあります。

2 ガイド（針金部分）を起こします。

3 MP トレイの用紙ガイドをつまんで広げます。

4 印刷する面を下にして用紙をセットします。

用紙の幅をそろえ、先端が給紙口の奥に突き当たるようにしてまっすぐにセットします。用紙の後ろは、先端がずれないように垂らします。

! 重要

用紙をセットする際は、用紙の端をつまむなどして、印刷面に手が触れないようにしてください。印刷面に手が触れると、印刷するデータによっては、印刷結果に指紋などの汚れが目立つことがあります。

5 MP トレイの用紙ガイドをつまんで、用紙サイズに合わせます。

! 重要

- 紙詰りを防ぐために、排出された用紙は 1 枚ずつ受け取ってください。
- 用紙ガイドは、印刷中に用紙が左右に触れないようにしっかりと合わせてください。
- 長尺用紙セットガイドを使い終わったら、ガイド（針金部分）を元に戻して取り外します。
  ①針金部分の根元の近くを内側に絞ります。
  ②針金を倒します。
  ③ MP トレイから取り外します。

以上で終了です。

便利な印刷機能

本製品のプリンタドライバで設定できる、便利な機能をご紹介します。
Windows の設定画面を例に説明します。

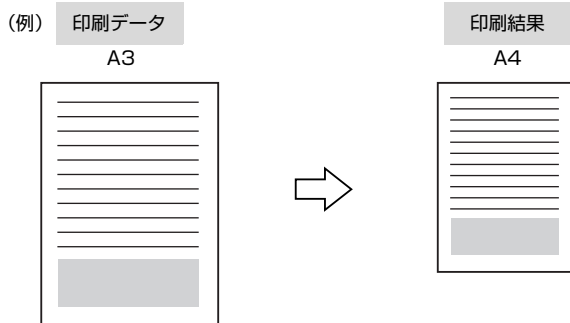
本書 50 ページ「拡大 / 縮小」
本書 51 ページ「複数ページを 1 ページに割り付け」
本書 53 ページ「両面印刷」
本書 53 ページ「製本印刷」
本書 57 ページ「原本とコピーの区別（透かし印刷）」
本書 58 ページ「背景に文字や画像を印刷（スタンプマーク）」
本書 62 ページ「ヘッダー / フッター印刷」
本書 63 ページ「印刷ジョブにパスワードを設定」

拡大 / 縮小

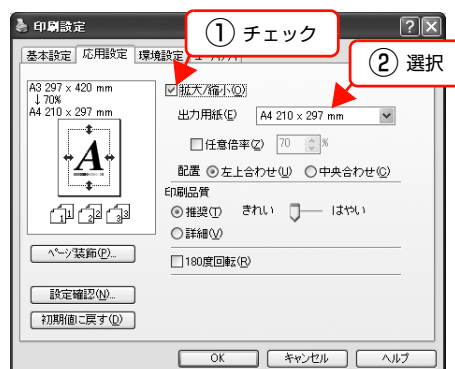
プリンタドライバの［拡大 / 縮小］機能を使用すると、アプリケーションソフトで作成したデータのサイズと異なるサイズで印刷できます。印刷したい用紙のサイズを指定するだけで、用紙の大きさに合わせて自動的に拡大 / 縮小します。また、拡大 / 縮小率を任意に設定することもできます。

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

以下に設定例を紹介します。

1 プリンタドライバの［基本設定］画面で、［用紙サイズ］が［A3］になっていることを確認します。

2 ［応用設定］画面で、［拡大 / 縮小］をチェックして［出力用紙］から［A4］を選択します。

- ［配置］は、縦横比の違うサイズに拡大 / 縮小する際に設定してください。A3 から A4 など、縦横比が同じ場合は、どちらを選択しても印刷結果は同じです。
- ［任意倍率］をチェックすると、任意の倍率が指定できます。チェックしなければ、用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小されます。

3 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

以上で終了です。

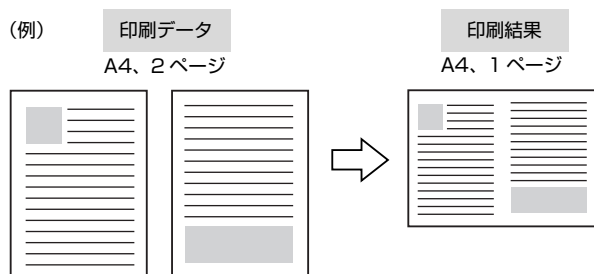
複数ページを１ページに割り付け

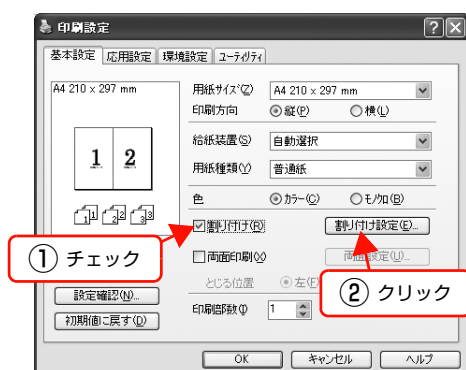
プリンタドライバの［割り付け印刷］機能を使用すると、２ページまたは４ページを１ページに割り付けて印刷できます。

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

☞ Windows：本書４ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

２ページ割り付け

２ページのデータを１ページに割り付けます。印刷データのページサイズと同じサイズの用紙に印刷されます。

以下に設定例を紹介します。

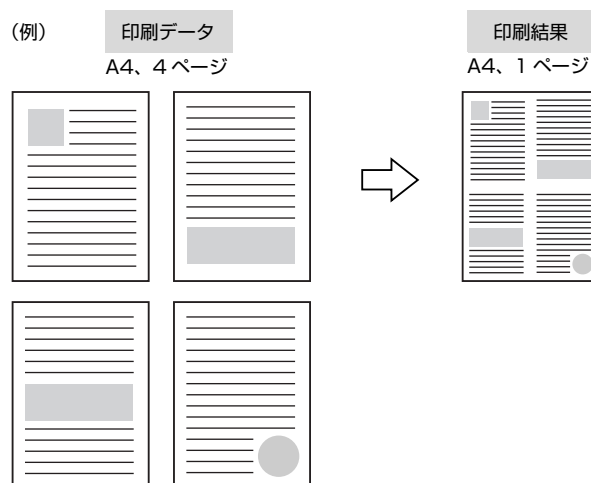
1 **プリンタドライバの［基本設定］画面で［割り付け］をチェックし、［割り付け設定］をクリックします。**

2 **［割り付け設定］画面の［割り付けページ数］で、［2ページ分］を選択します。**

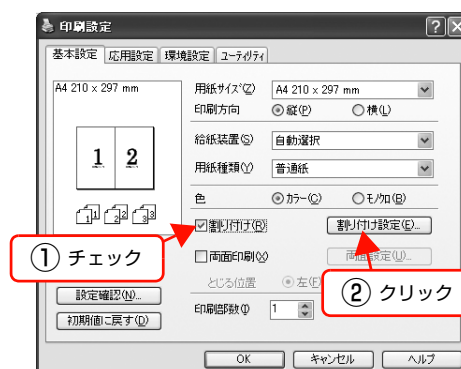
必要に応じて［割り付け順序］や［枠を印刷］も設定します。

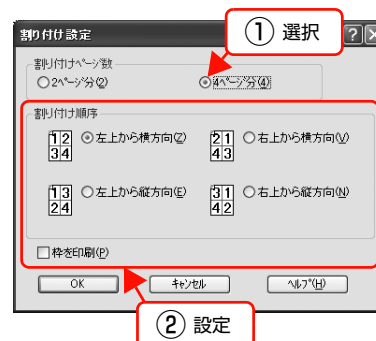
3 **［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

以上で終了です。

４ページ割り付け

４ページのデータを１ページに割り付けます。印刷データのページサイズと同じサイズの用紙に印刷されます。

以下に設定例を紹介します。

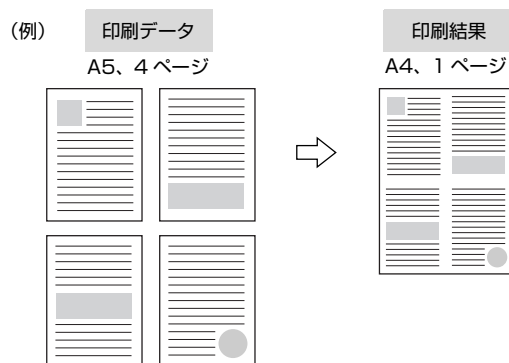
1 **プリンタドライバの［基本設定］画面で［割り付け］をチェックし、［割り付け設定］をクリックします。**

2 **［割り付け設定］画面の［割り付けページ数］で、［4ページ分］を選択します。**

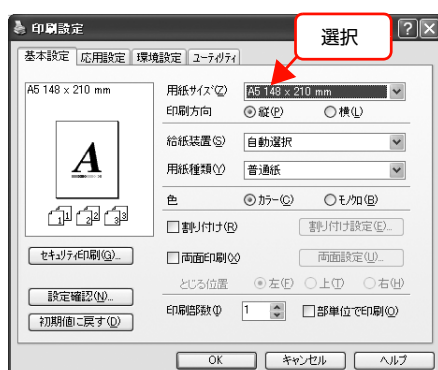
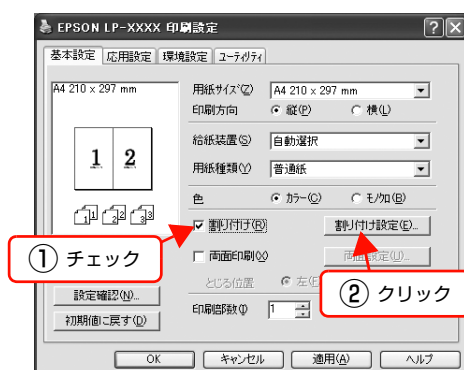
必要に応じて［割り付け順序］や［枠を印刷］も設定します。

3 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

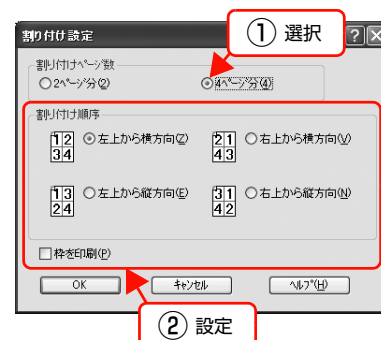
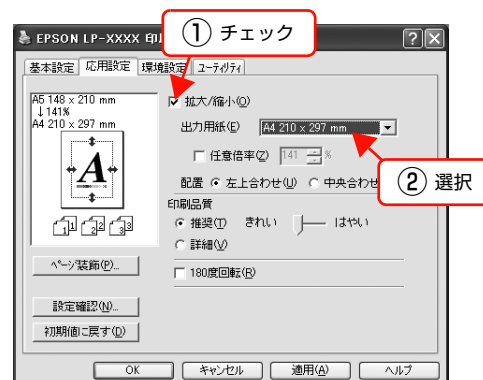
以上で終了です。

出力用紙サイズを指定

［拡大 / 縮小］機能を併用すると、印刷する用紙サイズを自由に設定できます。

以下に設定例を紹介します。

1 プリンタドライバの［基本設定］画面で、［用紙サイズ］から［A5］を選択します。

ここでは、印刷データの用紙サイズを設定します。

2 プリンタドライバの［基本設定］画面で［割り付け］をチェックし、［割り付け設定］をクリックします。

3 ［割り付け設定］画面の［割り付けページ数］で、［4ページ分］を選択します。

必要に応じて［割り付け順序］や［枠を印刷］も設定します。

4 ［応用設定］画面で［拡大 / 縮小］をチェックし、［出力用紙］から［A4］を選択します。

5 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

以上で終了です。

両面印刷

オプションの両面印刷ユニットを装着すると、プリンタドライバの［両面印刷］機能から、用紙の両面に印刷することができます。両面印刷ユニットの装着方法は、以下を参照してください。

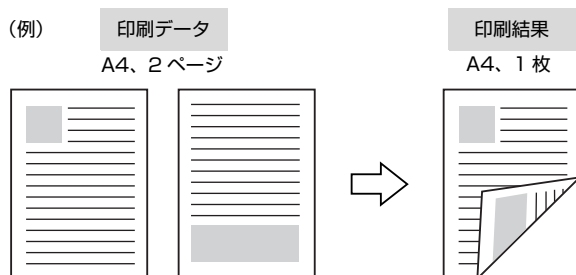
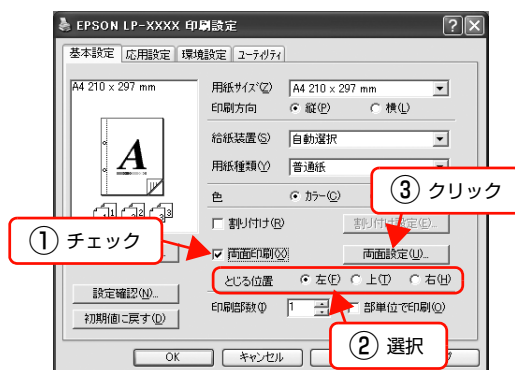
『セットアップと使い方編』（冊子）－「両面印刷ユニットの取り付け」

両面印刷ができる用紙の種類は、以下を参照してください。

『セットアップと使い方編』（冊子）－「用紙一覧と設定早見表」

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

以下に設定例を紹介します。

1 **プリンタドライバの［基本設定］画面で［両面印刷］をチェックし、［とじる位置］を選択して［両面設定］をクリックします。**

2 **［両面印刷設定］画面で必要項目を設定します。**

［製本する］の詳細は、以下を参照してください。

本書 53 ページ「製本印刷」

3 **［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

以上で終了です。

製本印刷

プリンタドライバの［両面印刷］機能を使用すると、製本用にページを並べ替えた印刷ができます。両面に2ページずつ印刷されますので、二つ折りにしてとじるだけで簡単に冊子を作ることができます。

両面印刷ができる用紙の種類は、以下を参照してください。

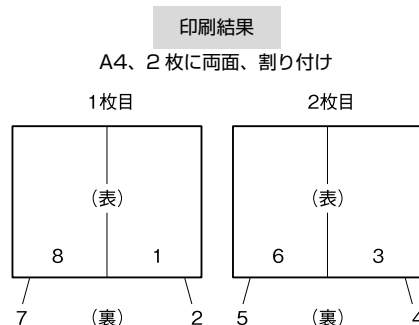
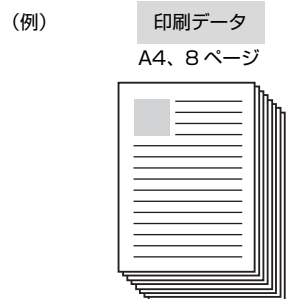
『セットアップと使い方編』（冊子）－「用紙一覧と設定早見表」

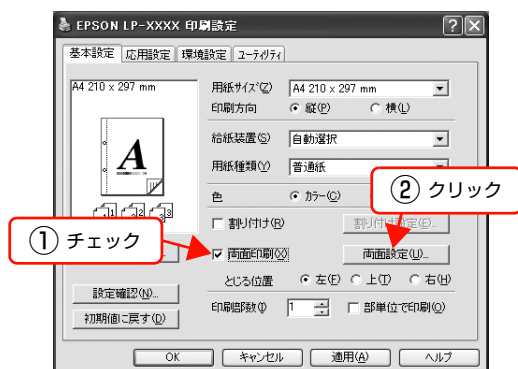
プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

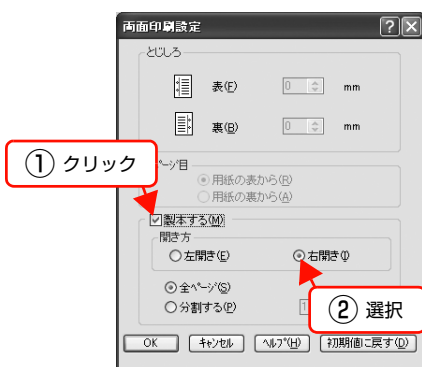
全ページまとめて二つ折り

ページ数が少なく、全ページを重ねて二つ折りにできるときは、この方法で印刷します。印刷データの用紙サイズと同じサイズの用紙に、2 ページずつ両面印刷します。

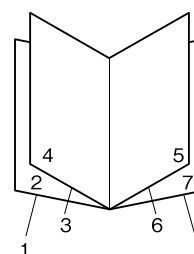
以下に設定例を紹介します。

仕上がり
A5、8 ページ、右開きの冊子

1 プリンタドライバの［基本設定］画面で［両面印刷］をチェックし、［両面設定］をクリックします。

参考
［割り付け］や［とじる位置］の設定は、2 で製本印刷の設定をすると無効になります。

2 ［両面印刷設定］画面の［製本する］をクリックし、［開き方］から［右開き］を選択します。

「部単位印刷をオンにします。」というメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

3 ［全ページ］を選択します。

4 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

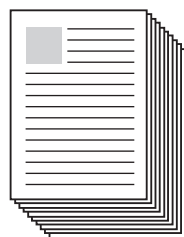
5 印刷された用紙を重ね、1 ページ目（表紙）が表になるように二つ折りにしてとじます。

以上で終了です。

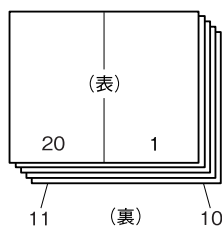
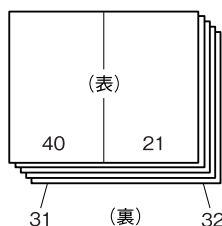
ページを分割して二つ折り

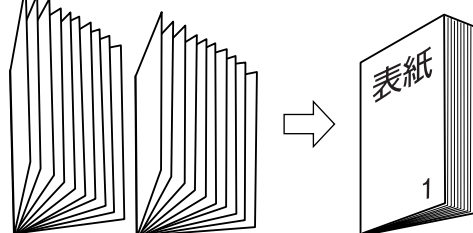
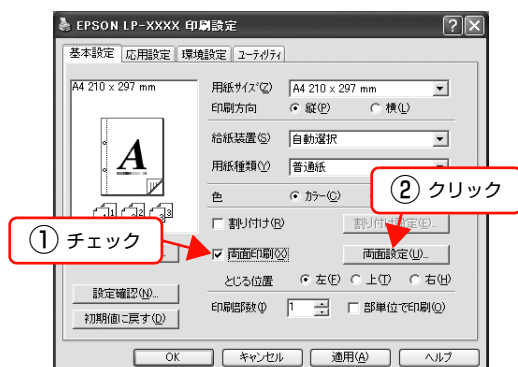
ページ数が多いときなどに、数枚ずつ分割して二つ折りにし、最後に 1 冊にまとめる方法です。印刷データの用紙サイズと同じサイズの用紙に、2 ページずつ両面印刷します。

以下に設定例を紹介します。

(例)　印刷データ

A4、40ページ

印刷結果

A4、10 枚に両面、割り付け 5 枚ずつ二つ折りにするようにページを並べ替え

仕上がり

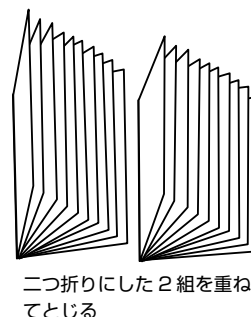
A5、40ページ、右開きの冊子

1 プリンタドライバの［基本設定］画面で［両面印刷］をチェックし、［両面設定］をクリックします。

［割り付け］や［とじる位置］の設定は、2 で製本印刷の設定をすると無効になります。

2 ［両面印刷設定］画面の［製本する］をクリックし、［開き方］から［右開き］を選択します。

「部単位印刷をオンにします。」というメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

3 ［分割する］を選択し、［5 枚毎］に設定します。

4 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

5 印刷された用紙を5枚1組にして重ね、それぞれを二つ折りにしてからとじます。

二つ折りにした 2 組を重ねてとじる

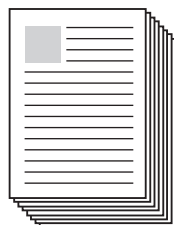
以上で終了です。

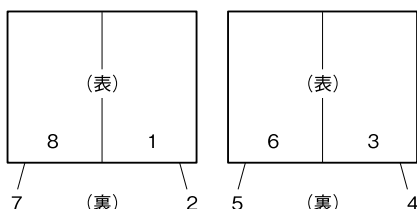
出力用紙サイズを指定

「拡大／縮小」機能を併用して、出力用紙サイズを設定できます。

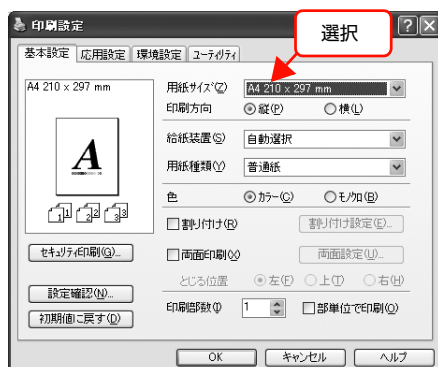
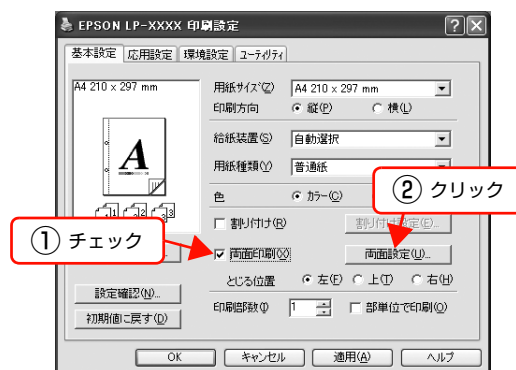
（例）

印刷データ

A4、8ページ

印刷結果

A3、2枚に両面、割り付け

仕上がり

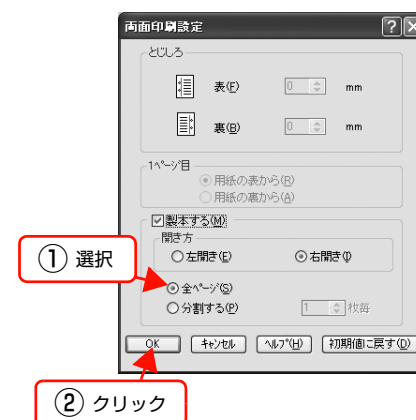
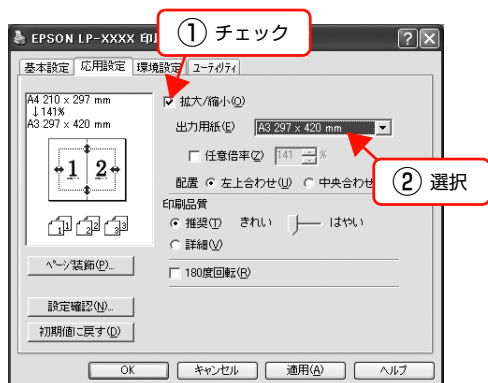
A4、8ページ、右開きの冊子

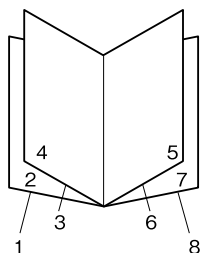
1 プリンタドライバの［基本設定］画面で、［用紙サイズ］から［A4］を選択します。

2 プリンタドライバの［基本設定］画面で［両面印刷］をチェックし、［両面設定］をクリックします。

参考

［割り付け］や［とじる位置］の設定は、3 で製本印刷の設定をすると無効になります。

3 ［両面印刷設定］画面の［製本する］をクリックし、［開き方］から［右開き］を選択します。

「部単位印刷をオンにします。」というメッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

4 ［全ページ］を選択し、［OK］をクリックして画面を閉じます。

5 ［応用設定］画面で［拡大 / 縮小］をチェックし、［出力用紙］から［A3］を選択します。

6 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

7 印刷された用紙を重ね、1 ページ目（表紙）が表になるように二つ折りにしてとじます。

以上で終了です。

原本とコピーの区別（透かし印刷）

プリンタドライバの［透かし印刷］機能を使うと、印刷文書の背景に透かし文字が印刷できます。透かし文字が印刷された原本をコピーすると、埋め込まれている文字が浮き上がったように印刷され、原本との区別がつくようになります。不正コピーの抑制などに有効です。

プリンタから
印刷した原本

コピー

！重 要

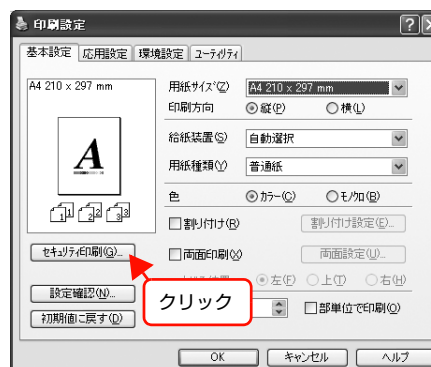
透かし印刷は、プリンタから出力した印刷物（原本）の不正コピーを抑制する機能であり、情報漏えいの防止自体を保証することはできません。
以下のような条件によって、透かし文字が濃過ぎたり、印刷物の全面に透かし印刷されなかったり、コピーしたときに文字が浮き上がらないことがあります。

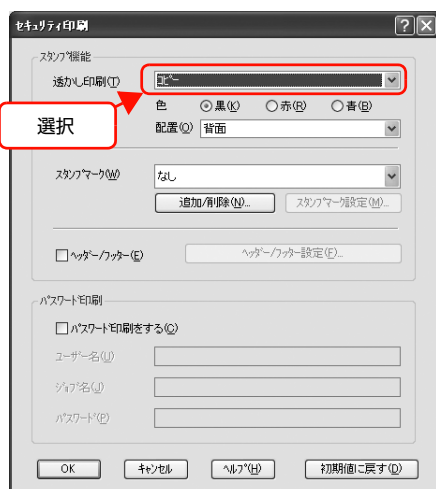
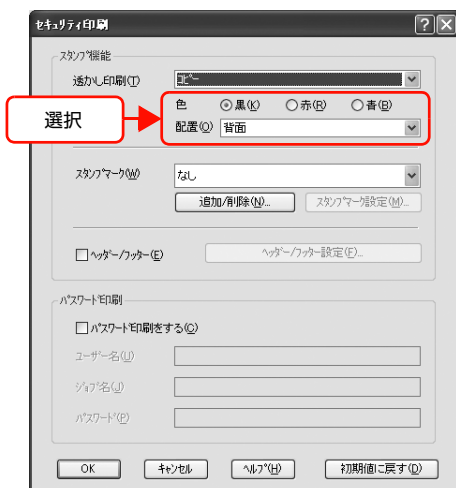
- コピー機、ファクス機、コピーに使用する入力機器（デジタルカメラやスキャナなど）と出力機器（プリンタなど）の機種や設定、組み合わせ
- 本製品のプリンタドライバの設定、消耗品（トナーなど）の状態や出力する用紙種類

設定方法は以下の通りです。

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

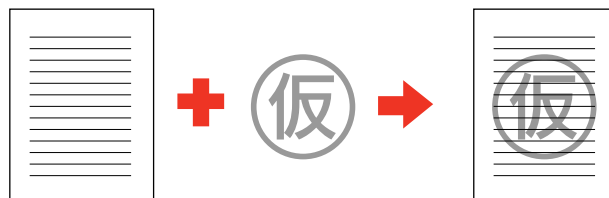
Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

1 プリンタドライバの［基本設定］画面の［セキュリティ印刷］をクリックします。

2 **［セキュリティ印刷］画面の［透かし印刷］で、［コピー］または［複写］を選択します。**

「コピー」または「複写」の文字が埋め込まれます。

3 **［色］と［配置］を選択します。**

4 **［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。**

以上で終了です。

背景に文字や画像を印刷(スタンプマーク)

プリンタドライバの［スタンプマーク］機能を使うと、印刷文書の背景に「㊙」、「重要」、「㊞」などのスタンプマークを重ねて印刷できます。手作業でスタンプを押すなどの手間が省けて便利です。

スタンプマークの種類は、プリンタドライバにあらかじめ登録されているもののほか、任意のテキストまたはビットマップ画像（BMP）が登録できます。

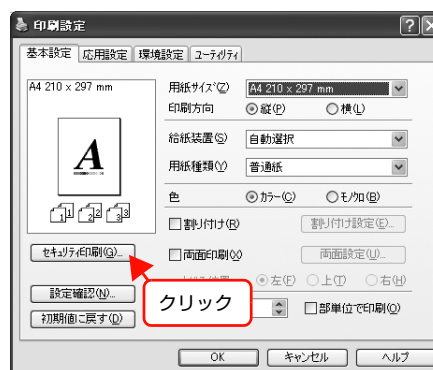
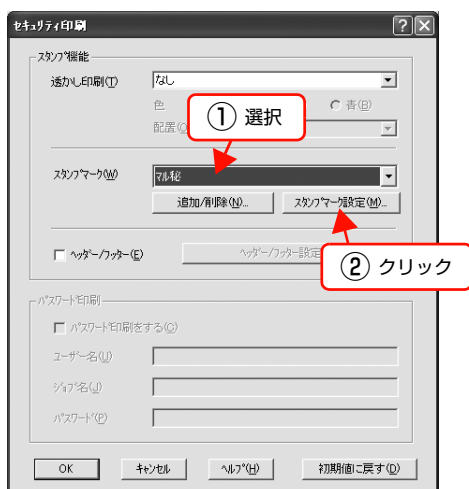
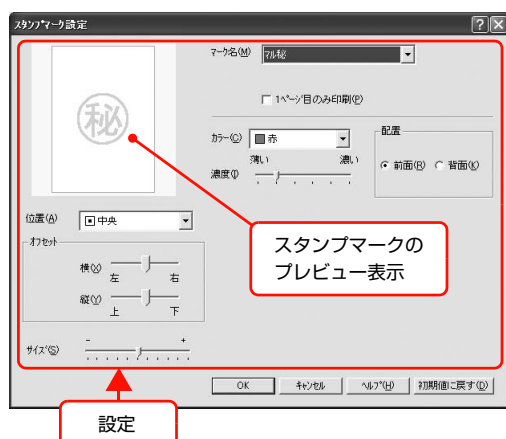
☞ 本書 59 ページ「テキストマークの登録」
☞ 本書 60 ページ「ビットマップマークの登録」

スタンプマークの設定

設定方法は以下の通りです。

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

☞ Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

1 **プリンタドライバの［基本設定］画面で、［セキュリティ印刷］をクリックします。**

2 ［セキュリティ印刷］画面の［スタンプマーク］でスタンプマークを選択し、[スタンプマーク設定］をクリックします。

3 ［スタンプマーク設定］画面でスタンプマークのサイズや配置などを設定します。

4 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

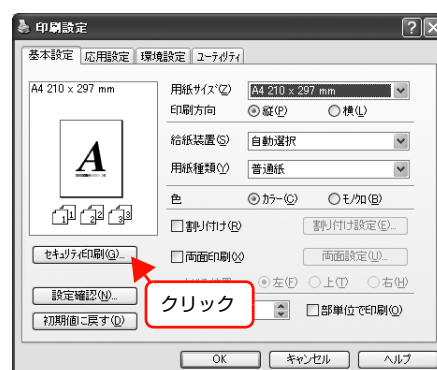
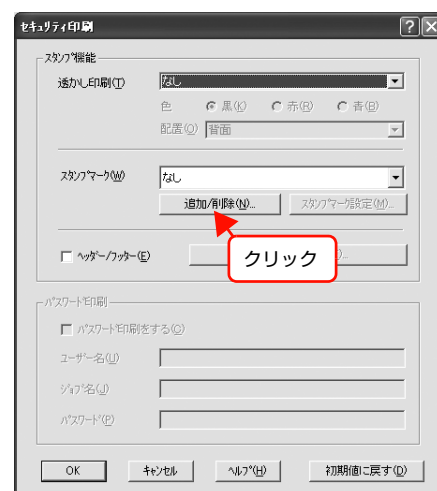
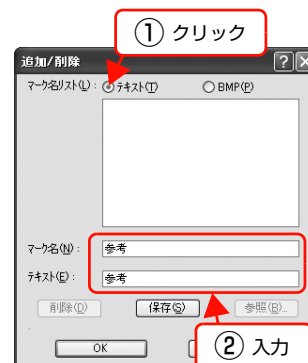
以上で終了です。

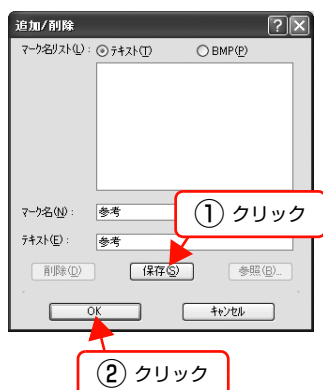
テキストマークの登録

任意のテキストをスタンプマークとして登録する方法を説明します。

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

1 プリンタドライバの［基本設定］画面で［セキュリティ印刷］をクリックします。

2 ［セキュリティ印刷］画面で［追加 / 削除］をクリックします。

3 ［テキスト］をクリックして、［マーク名］に任意の登録名を、［テキスト］に登録したい文字を入力します。

4 **［保存］をクリックしてから、［OK］をクリックして画面を閉じます。**

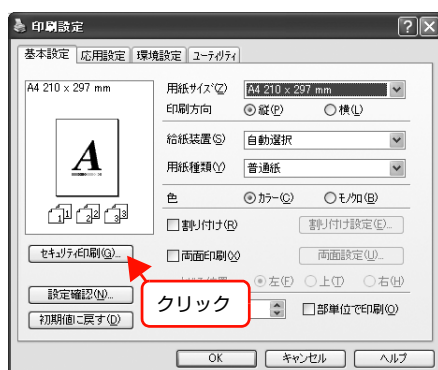
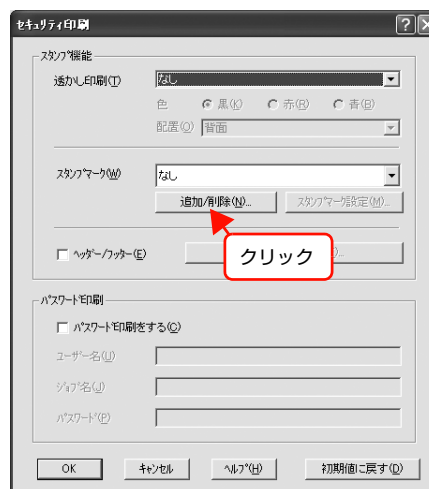
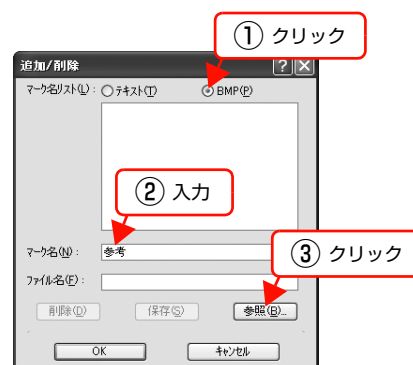
登録したテキストマークは、［セキュリティ印刷］画面のスタンプマークのリストに登録されます。

以上で終了です。

ビットマップマークの登録

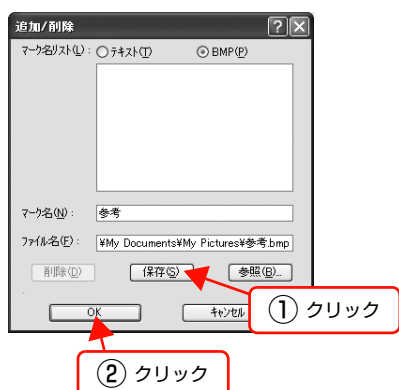
任意のビットマップ画像（BMP）をスタンプマークとして登録する方法を説明します。あらかじめ、スタンプマークとして使用したい BMP 形式の画像を用意してください。

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

☞ Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

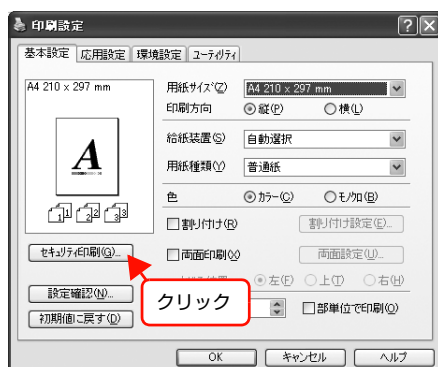
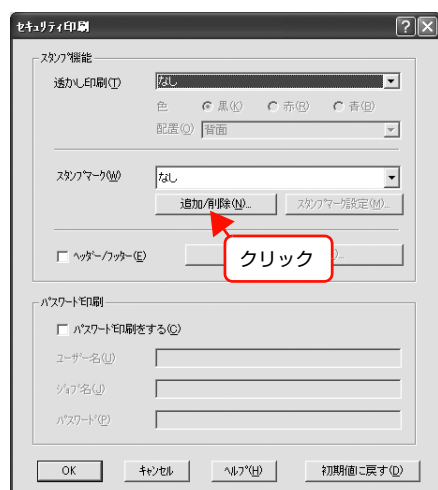
1 **プリンタドライバの［基本設定］画面で［セキュリティ印刷］をクリックします。**

2 **［セキュリティ印刷］画面で［追加 / 削除］をクリックします。**

3 **［BMP］をクリックして、［マーク名］に任意の登録名を入力してから［参照］をクリックします。**

4 **登録する BMP ファイルを選択し、［開く］をクリックします。**

5 **［保存］をクリックしてから、［OK］をクリックして画面を閉じます。**

登録したテキストマークは、［セキュリティ印刷］画面のスタンプマークのリストに登録されます。

以上で終了です。

マークの削除

登録したテキストマークとビットマップマークの削除方法を説明します。

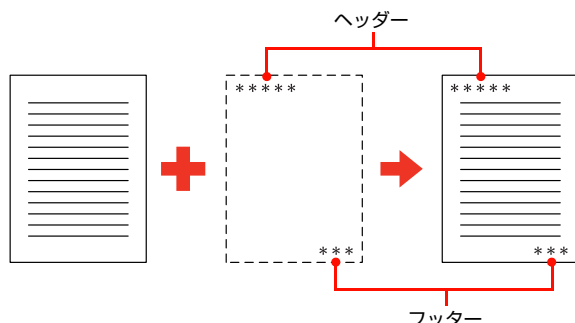
1 **プリンタドライバの［基本設定］画面で［セキュリティ印刷］をクリックします。**

2 **［セキュリティ印刷］画面で［追加 / 削除］をクリックします。**

3 **［マーク名リスト］から削除したいマーク名を選択して、［削除］をクリックします。**

「削除してもよろしいですか？」というメッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。

4 **［OK］をクリックして画面を閉じます。**

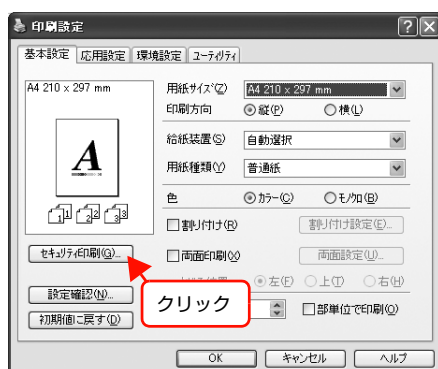
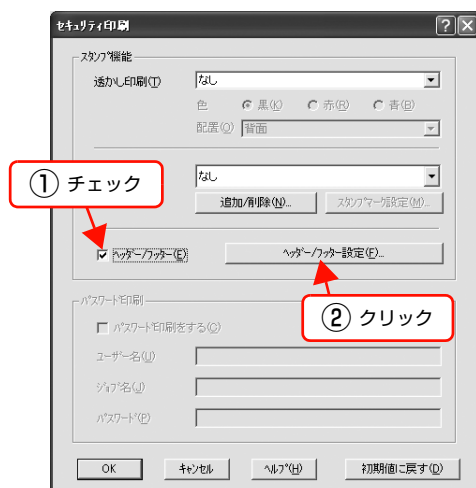
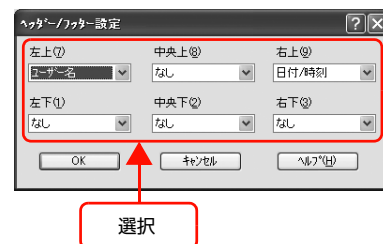
以上で終了です。

ヘッダー/フッター印刷

プリンタドライバの［ヘッダー / フッター］機能を使うと、印刷文書にヘッダーまたはフッターとして、ユーザー名、コンピュータ名、印刷日時、ページなどが印刷できます。

設定方法は以下の通りです。

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

Windows : 本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
Mac OS X : 本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

1 プリンタドライバの［基本設定］画面で、［セキュリティ印刷］をクリックします。

2 ［セキュリティ印刷］画面で［ヘッダー / フッター］をチェックし、［ヘッダー / フッター設定］をクリックします。

3 ［ヘッダー / フッター］画面で印刷する項目を選択します。

4 ［OK］をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。

［セキュリティ印刷］画面と［基本設定］画面も、［OK］をクリックして一旦閉じてください。

以上で終了です。

印刷ジョブにパスワードを設定

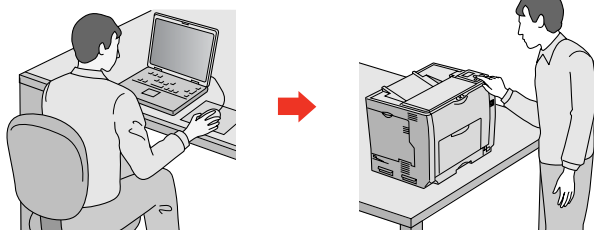
パスワード印刷を行う際は、メモリの増設が必要です。

☞『セットアップと使い方編』(冊子) -「メモリ /ROM/ コンパクトフラッシュ」

印刷ジョブにパスワードを設定すると、プリンタドライバの［パスワード印刷］が使用できます。印刷を実行すると印刷ジョブは一旦プリンタのメモリ（RAM ディスク *）またはコンパクトフラッシュに保存され、操作パネルでパスワードを入力すると出力されます。不特定多数でプリンタを共同使用している場合でも、他人の目に触れることなく文書を印刷することができます。印刷が終了するとパスワード印刷ジョブはメモリから削除されます。

* プリンタに増設しているメモリの一部、またはすべてをパスワード印刷ジョブを保存するために利用します。

パスワードを設定して印刷実行

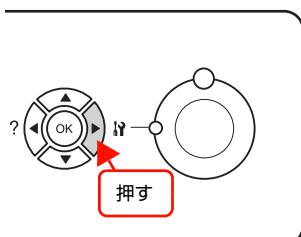
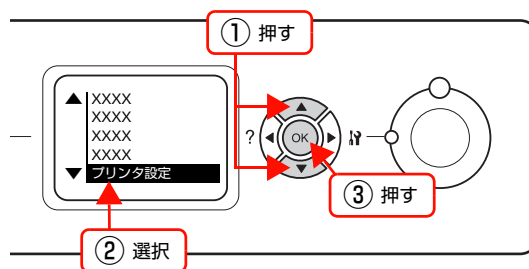
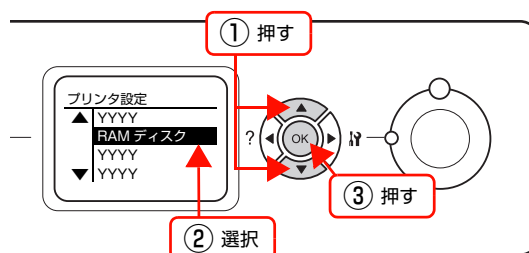
パスワードを入力してその場で印刷

！重要

以下の状態にあるデータは保護されません。

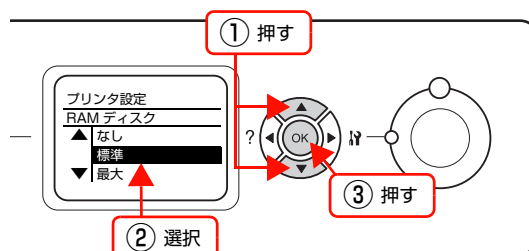
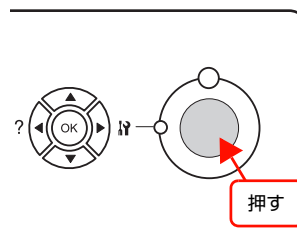
- 通信経路上にあるデータ
- プリンタの RAM ディスクまたはコンパクトフラッシュに一時的に保存されているデータ
- 印刷されないパスワード印刷ジョブは、本製品の電源再投入時やリセットオールでメモリまたはコンパクトフラッシュから削除されます。

RAM ディスクの設定

パスワード印刷をするには、プリンタ側にパスワード印刷ジョブを保存するための RAM ディスクの設定が必要です。操作パネルで RAM ディスクの設定をしてください。

1 操作パネルの【▶】ボタンを押して、メニューを表示します。

2 【▲】/【▼】ボタンを押して［プリンタ設定］メニューを選択し、【OK】ボタンを押します。

3 【▲】/【▼】ボタンを押して［RAM ディスク］を選択し、【OK】ボタンを押します。

4 【▲】/【▼】ボタンを押して［標準］または［最大］を選択し、【OK】を押します。

設定値の説明は以下を参照してください。

☞ 本書 76 ページ「［プリンタ設定］メニュー」

5 【印刷可】ボタンを押して終了します。

6 プリンタの電源を入れ直すか、操作パネルの［リセット メニュー］から［リセットオール］を実行します。

設定内容が有効になります。

続いてプリンタドライバの設定をします。

Windows の場合

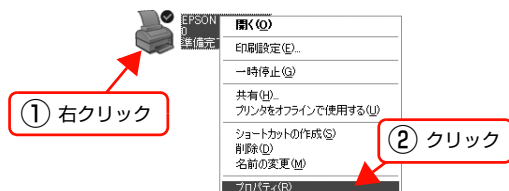
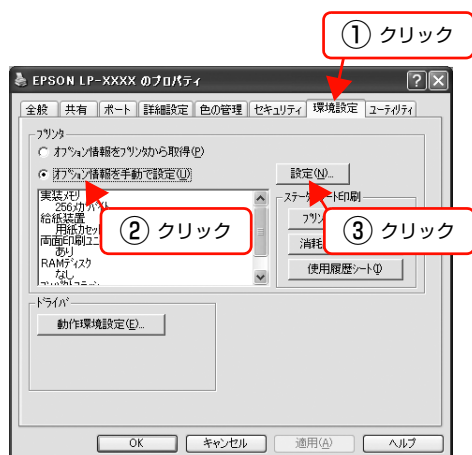
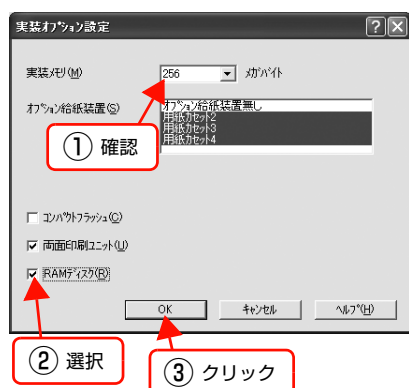
63 ページの 6 に続いて以下の作業を行ってください。

7 Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

Windows Vista：
［スタート］―［コントロールパネル］―［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003：
［スタート］―［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows 2000：
［スタート］―［設定］―［プリンタ］をクリックします。

8 本製品のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

9 ［環境設定］画面で［オプション情報を手動で設定］をクリックし、［設定］をクリックします。

10 ［実装メモリ］を確認して、［RAM ディスク］にチェックをし［OK］をクリックします。

以上で終了です。

Mac OS X v10.3 ～ v10.4.x の場合

63 ページの 6 に続いて以下の作業を行ってください。

7 ［プリンタ設定ユーティリティ］で本製品を追加し直し、EPSON ステータスモニタを起動します。

プリンタを新規に登録する場合は、［プリンタ設定ユーティリティ］で本製品を追加するだけで情報が更新されます。EPSON ステータスモニタを起動する必要はありません。

以上で終了です。

Mac OS X v10.5.x の場合

63 ページの 6 に続いて以下の作業を行ってください。

7 ［システム環境設定］/［プリンタとファクス］で本製品を追加し直し、EPSON ステータスモニタを起動します。

プリンタを新規に登録する場合は、［システム環境設定］/［プリンタとファクス］で本製品を追加するだけで情報が更新されます。EPSONN ステータスモニタを起動する必要はありません。

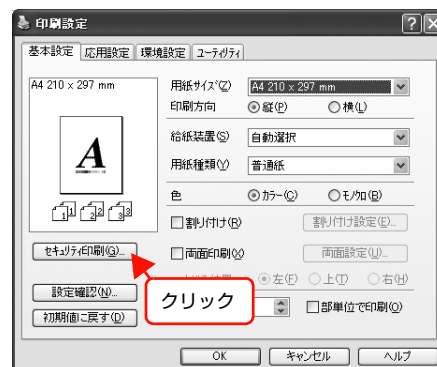
以上で終了です。

パスワードの設定

プリンタドライバで、印刷ジョブにパスワードを設定する方法を説明します。

プリンタドライバの使い方の詳細は、以下を参照してください。

☞ Windows：本書 4 ページ「プリンタドライバの使い方」
☞ Mac OS X：本書 28 ページ「プリンタドライバの使い方」

1 プリンタドライバの［基本設定］画面で［セキュリティ印刷］をクリックします。

2　[セキュリティ印刷] 画面の [パスワード印刷をする] をチェックし、任意の [ユーザー名]、[ジョブ名]、[パスワード] を入力します。
[ユーザー名]、[ジョブ名]、[パスワード] は、パスワード印刷のジョブ識別情報になります。必ず入力してください。

- ユーザー名：半角英数 14 文字（全角 7 文字）以内
- ジョブ名：半角英数 14 文字（全角 7 文字）以内
- パスワード：半角数字（0 〜 9）4 桁

参考
未入力で印刷すると、自動的に [ユーザー名]（Windows のログインユーザー名）と [パスワード]（1234）が設定されることがあります。
ただし、

- お使いの環境によっては Windows のログインユーザー名ではないユーザー名になることがあります。
- 半角英数 14 文字(全角 7 文字)を超えるユーザー名は切り捨てて表示されます。
- 情報が取得できなかったときは [ユーザー名] が [EPSONUser] に設定されます。

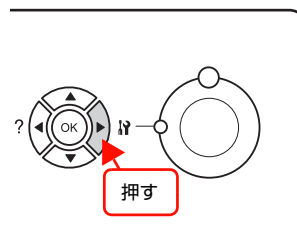
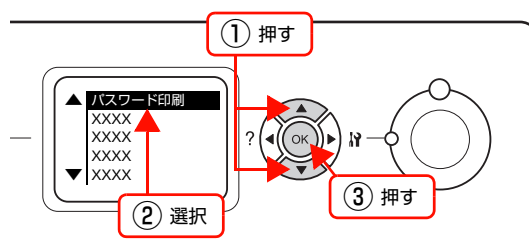
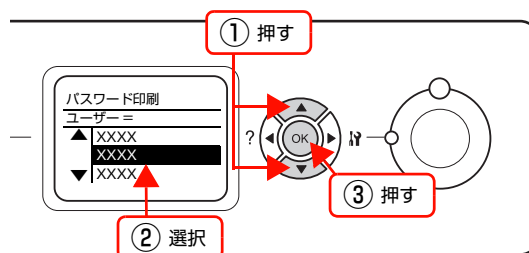
3　[OK] をクリックして画面を閉じ、印刷を実行します。
印刷を実行すると、プリンタの RAM ディスクにデータが保存されます。印刷はされません。
印刷方法は以下を参照してください。
☞ 本書 65 ページ「パスワード印刷ジョブの印刷」

以上で終了です。

パスワード印刷ジョブの印刷

プリンタドライバでパスワードを設定した印刷ジョブを、印刷する方法を説明します。

1　操作パネルに [印刷できます] または [節電中] と表示されていることを確認します。

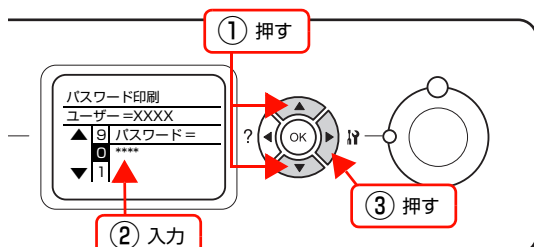
2　操作パネルの【▶】ボタンを押して、メニューを表示します。

3　【▲】/【▼】ボタンを押して [パスワード印刷] を選択し、【OK】ボタンを押します。
パスワード印刷ジョブが保存されていないときは、[パスワード印刷] は表示されません。

4　ユーザー名を選択します。
【▲】/【▼】ボタンを押してプリンタドライバで設定したユーザー名を選択し、【OK】ボタンを押します。

5 **パスワードを入力します。**

プリンタドライバで設定したパスワードを入力してください。

【▲】/【▼】ボタンを押して１桁目の数字を選択し、【▶】ボタンを押します。

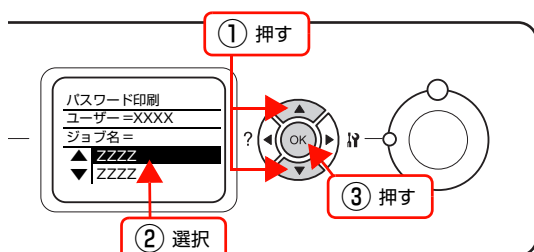
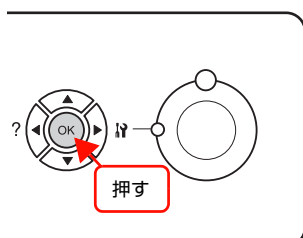
２～４桁目も同様に入力してください。

【▶】ボタンを押します。

パスワードが一致すると次のステップに進みます。

参考

- 【◀】ボタンを押すと、確定した桁へ戻ることができます。
- 確定した桁は表示が［*］に変わります。

6 **ジョブ名を選択します。**

- 【▲】/【▼】ボタンを押して、プリンタドライバで設定したジョブ名を選択し、【OK】ボタンを押します。
- ［全ジョブ］を選択すると、ユーザー名とパスワードが一致するすべてのジョブを、保存した順に印刷します。

7 **【OK】ボタンを押して印刷を実行します。**

以上で終了です。

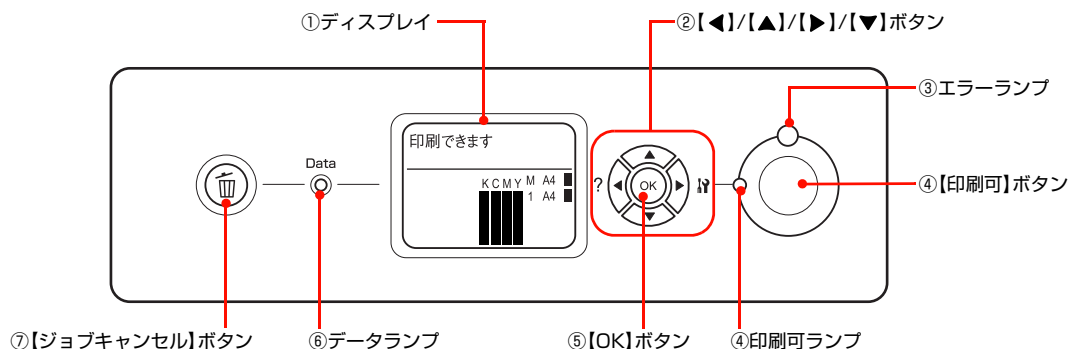
パスワード印刷ジョブの削除

プリンタのメモリ（RAM ディスク）に保存されたパスワード印刷ジョブは、以下のときに削除されます。

- 印刷したとき（ジョブごと）
- 操作パネルで［データ消去］を実行したとき（ジョブごと）
- 印刷しないで本製品の電源を切ったとき（すべてのジョブ）
- 操作パネルで［リセットオール］を実行したとき（すべてのジョブ）

操作パネルの使い方

操作パネルの各部の名称と役割、操作手順、設定項目の内容を説明します。

操作パネルの各部の名称

①ディスプレイ

プリンタの状態や、機能の設定値を表示します。KCMY トナー残量（目安）をディスプレイ上に表示し、その右側に装置ごとの用紙残量を表示します。また、エラーが発生したときには、対処方法を表示します。

②【◀】/【▲】/【▶】/【▼】ボタン

- プリンタの設定を変更するときなどに押します。詳細は、以下のページを参照してください。
  ☞ 本書 68 ページ「操作手順の概要」
  ☞ 本書 70 ページ「設定項目の一覧」
- ディスプレイの左側に［◀でヘルプを見る］と表示されることがあります。【◀】ボタンを押すとヘルプ（対処方法）が表示されます。ヘルプ画面が複数ページあるときは、【▲】/【▼】ボタンを押して、前 / 次のヘルプ画面を表示させ、説明に従って対処してください。ヘルプ表示中に【◀】ボタンまたは【ジョブキャンセル】ボタンを押すか、エラーまたはワーニングが解除されるとヘルプの表示を終了します。

③エラーランプ

エラーが発生したときに点滅または点灯します。

④【印刷可】ボタン / ランプ

ランプは、印刷できる状態のときに点灯します。ボタンは、プリンタの状態によって処理が異なります。

ランプの状態	プリンタの状態	【印刷可】ボタンの機能
印刷可ランプ点灯	印刷可状態	印刷可 / 印刷不可（オフライン）状態を切り替えます。
印刷可ランプ消灯、データランプ点灯	印刷不可状態	約 2 秒以上押すと、受信している印刷データの最初のページのみ印刷して排紙します。
エラーランプ点滅	自動復帰できるエラーが発生	エラーを解除して印刷可状態へ自動的に復帰します。
エラーランプ点灯	自動復帰できないエラーが発生	適切な処置を行ってエラー状態を解消すると、自動的に印刷可能状態に復帰します。【印刷可】ボタンを押す必要はありません。

⑤【OK】ボタン

設定値を確定したり、機能を実行するときなどに押します。

⑥データランプ

印刷データが残っているときや処理中に点灯または点滅します。

⑦【ジョブキャンセル】ボタン

押し方	処理
1 回押す	処理中の印刷データ（ジョブ単位）をキャンセルします。
約2秒以上押す	処理中の印刷データをすべて削除します。

操作手順の概要

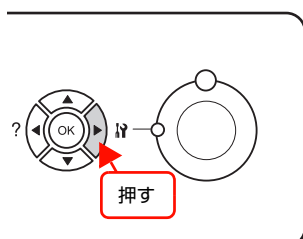
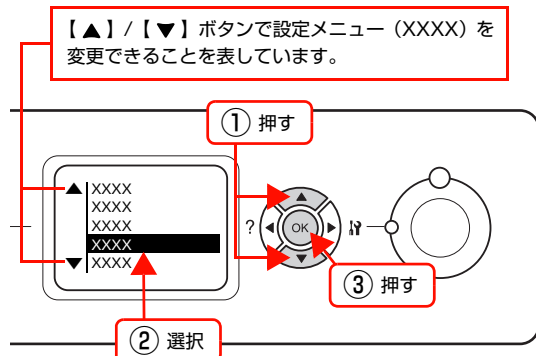
操作パネルでプリンタの設定をする手順を説明します。

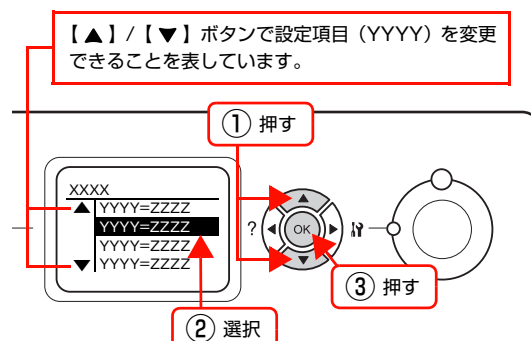
操作パネルで設定できる項目の一覧と設定値の詳細は以下を参照してください。

☞ 本書 70 ページ「設定項目の一覧」

1 **ディスプレイに［印刷できます］または［節電中］と表示されていることを確認します。**

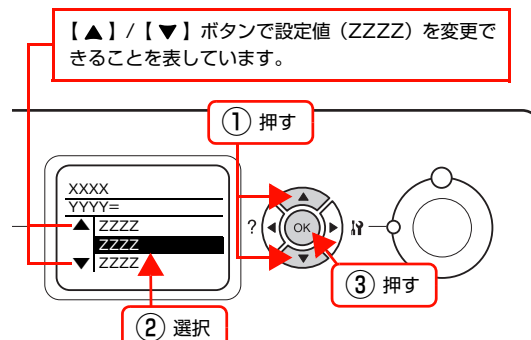
2 **操作パネルの【▶】ボタンを押して、メニューを表示します。**

設定モードに入ると、操作パネルに［プリンタ情報］などのメニューが表示されます。

3 **【▲】/【▼】ボタンを押してメニューから設定する項目を選択し、【OK】ボタンを押します。**

4 **【▲】/【▼】ボタンを押して設定する項目を選択し、【OK】ボタンを押します。**

- 設定項目と設定値が表示されているもの（YYYY＝ZZZZ）は、設定値の選択肢を表示します。5 に進みます。
- 設定項目のみが表示されているもの（YYYY）は、表示されている機能を実行して最初の画面に戻ります。
- 設定値（ZZZZ）を表示するだけのもの（消耗品情報、印刷枚数、カセットの用紙サイズなど）は、確認後に【印刷可】ボタンを押して終了します。

5 **【▲】/【▼】ボタンを押して設定値を選択し、【OK】ボタンを押します。**

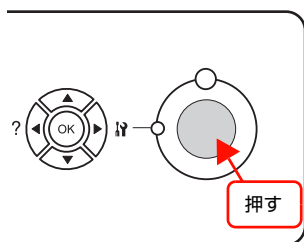
設定値が有効になります。

一部の設定項目は、プリンタの電源を入れ直すと有効になります。詳細は以下を参照してください。

☞ 本書 70 ページ「設定項目の一覧」

6 **続けて別の項目を設定する場合は、【◀】ボタンを押してメニューに戻り、3 ～ 5 を繰り返します。**

設定を終了する場合は、7 に進みます。

7 **【印刷可】ボタンを押して終了します。**

設定の途中でも［印刷できます］または［節電中］の表示に戻ります。

以上で終了です。

設定の途中で操作を中止したいときは、【印刷可】ボタンを押すと［印刷できます］または［節電中］の表示に戻ります。

設定項目の一覧

操作パネルで設定できる項目は以下の通りです。

設定項目の一覧は、以下にも掲載されています。

『セットアップと使い方編』（冊子）―「操作パネル設定項目一覧」

で示した設定項目はプリンタドライバでも設定可能です。プリンタドライバの設定が優先されます。

［プリンタ情報］メニュー

設定項目	説明		
プリンタ情報シート印刷	現在のプリンタ状態や設定値の一覧を印刷します。		（【OK】ボタンで実行）
消耗品情報シート印刷	消耗品の使用状況や残量などを印刷します。		
使用履歴シート印刷	プリンタの使用履歴一覧を印刷します。		
ネットワーク情報印刷	ネットワークインターフェイスに関する情報を印刷します。		
I/F カード情報印刷	オプションインターフェイスカードに関する情報を印刷します。オプションのインターフェイスカードを装着したときだけ表示されます。		
USB 外部機器情報印刷	接続したオプションの無線プリントアダプタに関する情報を印刷します。オプションの無線プリントアダプタが接続され、［USB I/F 設定］メニューの［USB I/F］を［使う］に設定したときだけ表示されます。		
ROM モジュール A 情報	ROMモジュールソケットに装着されているROMモジュールに、ROM モジュール情報が存在するときだけ表示します。		
シアン（C）トナー残量	シアン（C）トナーの残量を表示します。	7段階で表示します。 多 E＊＊＊＊＊＊F E＊＊＊＊＊ F E＊＊＊＊ F E＊＊＊ F E＊＊ F E＊ F 少 E F	（表示内容を確認後【印刷可】ボタンで終了）
マゼンタ（M）トナー残量	マゼンタ（M）トナーの残量を表示します。		
イエロー（Y）トナー残量	イエロー（Y）トナーの残量を表示します。		
ブラック（K）トナー残量	ブラック（K）トナーの残量を表示します。		
シアン（C）感光体ライフ	シアン（C）トナー感光体の寿命を表示します。		
マゼンタ（M）感光体ライフ	マゼンタ（M）トナー感光体の寿命を表示します。		
イエロー（Y）感光体ライフ	イエロー（Y）トナー感光体の寿命を表示します。		
ブラック（K）感光体ライフ	ブラック（K）トナー感光体の寿命を表示します。		
転写ユニットライフ	転写ユニットの寿命を表示します。		
定着ユニットライフ	定着ユニットの寿命を表示します。		
給紙ローラ MP ライフ	給紙ローラの寿命を表示します。 給紙ローラ C2 ～ C4 は、オプションの増設 1 段カセットユニットを装着したときのみ表示されます。		
給紙ローラ C1 ライフ			
給紙ローラ C2 ライフ			
給紙ローラ C3 ライフ			
給紙ローラ C4 ライフ			
延べ印刷枚数	プリンタを購入してから現在までに印刷した枚数を表示します。		
カラー印刷枚数	プリンタを購入してから現在までにカラー印刷した枚数を表示します。		
B/W 印刷枚数	プリンタを購入してから現在までにモノクロ印刷した枚数を表示します。		

[システム情報] メニュー

設定項目	説明	
メインバージョン	本製品のファームウェア（機器に内蔵されているソフトウェア）のバージョンを表示します。	（表示内容を確認後【印刷可】ボタンで終了）
MCU バージョン		
シリアル No	本製品の製造番号を表示します。	
メモリ	本製品に搭載しているメモリの容量を表示します。	
MAC アドレス	本製品のネットワークインターフェイスのMACアドレスを表示します。	

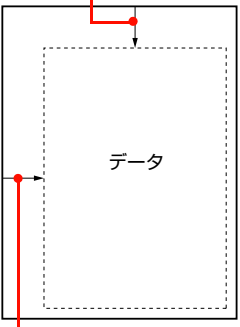
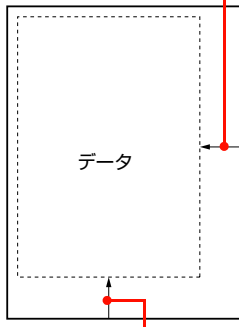
[パスワード印刷] メニュー

パスワード印刷を行うメニューです。プリンタに装着したオプションのメモリ（RAM）に、パスワード印刷ジョブが保存されていると表示されます。

本書 65 ページ「パスワード印刷ジョブの印刷」

設定項目	設定値	説明
ユーザー	プリンタドライバで設定したユーザー名	印刷するジョブを作成したユーザー名を選択します。
パスワード	XXXX	プリンタドライバで設定したパスワード（0 ～ 9 の数字 4 桁）を入力します。
ジョブ名	プリンタドライバで設定したジョブ名	全ジョブまたはジョブ名を選択します。
印刷	−	印刷を開始します。
データ消去	−	【OK】ボタンでデータ消去を実行します。

[給紙装置設定]メニュー

設定項目	設定値	説明
MP トレイサイズ	A4（初期値）	用紙サイズを設定します。
	A3	
	A5	
	B4	
	B5	
	はがき	
	往復はがき	
	4 面連刷はがき	
	LT（Letter）	
	HLT（Half Letter）	
	LGL（Legal）	
	GLT（Government Letter）	
	GLG（Government Legal）	
	B（Ledger）	
	EXE（Executive）	
	F4	
	洋形 0 号	
	洋形 4 号	
	洋形 6 号	
	長形 3 号	
	角形 2 号	
	A3F	
カセット 1 サイズ	A4、A3、A5、B4、B5、A3F	標準用紙カセット（カセット 1）またはオプションの増設 1 段カセットユニット（カセット 2 ～ 4）にセットした用紙サイズを表示します。操作パネルでの変更はできません。カセット 2 ～ 4 は、オプションの増設 1 段カセットユニットを装着したときのみ表示されます。
カセット 2 サイズ カセット 3 サイズ カセット 4 サイズ	A4、A3、B4、B5、 LT（Letter）、LGL（Legal）、 B（Ledger）、F4	
MP トレイタイプ	普通紙（初期値）	MP トレイにセットした用紙タイプを設定します。
	上質紙	
	印刷済み	
	レターヘッド	
	再生紙	
	色つき	
	OHP シート	
	ラベル	
カセット 1 タイプ カセット 2 タイプ カセット 3 タイプ カセット 4 タイプ	普通紙（初期値）	標準用紙カセット（カセット 1）またはオプションの増設 1 段カセットユニット（カセット 2 ～ 4）にセットした用紙のタイプを設定します。カセット 2 ～ 4 は、オプションの増設 1 段カセットユニットを装着したときのみ表示されます。
	上質紙	
	印刷済み	
	レターヘッド	
	再生紙	
	色つき	

[プリンタモード]メニュー

設定項目	設定値	説明
パラレル USB ネットワーク I/F カード *1	自動（初期値）	受信したデータに合わせて、自動的にプリンタモードを設定します。通常はこの設定で使用してください。
	ESC/PS	ESC/P スーパーモードになります。DOS アプリケーションソフトを使用する場合は、コンピュータから送られてきたコマンド（コントロールコード）が ESC/P であるか、PCPR201H であるかを自動判別します。ほとんどの DOS アプリケーションソフトでは、ESC/Page モードへの移行がサポートされていますので、この設定で使用できます。
	ESC/P	ESC/P（VP-1000）エミュレーションモードになります。海外版 DOS アプリケーションソフトを使用する場合や、国内版 DOS アプリケーションソフトで、画面とは違う文字が印刷される場合などに設定します。
	ESC/Page	ESC/Page モードになります。通常は設定する必要がありません。

*1 オプションのインターフェイスカードを装着したときだけ表示されます。

[印刷書式設定]メニュー

設定項目	設定値	説明
ページサイズ	自動（初期値）	印刷する文書の用紙のサイズを設定します。
	A4	
	A3	
	A5	
	B4	
	B5	
	はがき	
	往復はがき	
	4 面連刷はがき	
	LT（Letter）	
	HLT（Half Letter）	
	LGL（Legal）	
	GLT（Government Letter）	
	GLG（Government Legal）	
	B（Ledger）	
	EXE（Executive）	
	F4	
	洋形 0 号	
	洋形 4 号	
	洋形 6 号	
	長形 3 号	
	角形 2 号	
	A3F	
用紙方向	縦（初期値）	用紙方向を設定します。
	横	
解像度	はやい	300dpi で印刷します。
	きれい（初期値）	600dpi で印刷します。 印刷するデータの容量が大きいと、メモリ不足で印刷できないことがあります。このような場合は、[はやい]（300dpi）で印刷してください。[きれい]（600dpi）で印刷するには、プリンタのメモリを増設する必要があります。
RIT	On（初期値）	斜線や曲線などのギザギザをなめらかにする輪郭補正機能（Resolution Improvement Technology）を使用して印刷します。
	Off	輪郭を補正しません。
トナーセーブ	しない（初期値）	トナーを節約しません。
	する	輪郭部分のみを濃く印刷しトナーの消費を約 50% 節約します。試し印刷など、印刷品質にこだわらないときにご利用ください。
縮小	Off（初期値）	印刷データを原寸（100%）で印刷します。
	80%	印刷データを 80%に縮小して印刷します。
イメージ補正	1（初期値）	標準の方式でイメージデータを補正します。通常はこの設定を使用してください。
	2	[ESC/PS] または [ESC/P] モードで、罫線が正しく印刷されないときに設定します。 [ESC/Page] モードで、本製品に対応していないドライバを使用していて、複雑な図の印刷に問題があるときに設定します。

設定項目	設定値	説明
上オフセット	-30.0 ～ 30.0mm （初期値 0mm）	オフセット値を 0.5mm 単位で設定します。［上オフセット B］、［左オフセット B］は用紙裏面のオフセット値を設定します。 例 1）上オフセット 10.0mm データ 左オフセット 10.0mm 例 2）左オフセット -10.0mm データ 上オフセット -10.0mm アプリケーションで設定した余白とずれることがあります。 印刷保証領域いっぱいに作成した印刷データに対してオフセット値を変更すると、用紙端のデータが印刷されません。 ☞『セットアップと使い方編』（冊子）－「印刷できる領域」
左オフセット	-30.0 ～ 30.0mm （初期値 0mm）	
上オフセット B	-30.0 ～ 30.0mm （初期値 0mm）	
左オフセット B	-30.0 ～ 30.0mm （初期値 0mm）	

[プリンタ設定] メニュー

設定項目	設定値	説明
表示言語	日本語（初期値）	操作パネルの表示を日本語にします。
	English	操作パネルの表示を英語にします。
節電移行時間	5 分	節電状態に入るまでの時間を分単位で設定します。最後の印刷が終了してから、設定した時間が経過すると節電状態になり、消費電力を節約することができます。節電中に印刷するデータを受け取ると、ウォーミングアップを行ってから印刷を開始します。
	15 分	
	30 分（初期値）	
	60 分	
	120 分	
	180 分	
	240 分	
復帰短縮予熱モード	Off（初期値）	予熱状態から復帰する時間を短縮させるかどうかを設定します。予熱状態からは節電状態へ移行しないため、短時間で印刷可能状態になります。
	On	
I/F タイムアウト	20 ～ 600（初期値 60）	インターフェイスを自動切り替えで使用しているときの、タイムアウト時間を秒単位で設定します。タイムアウト時間とは、あるインターフェイスからのデータの受信が途切れたのち、別のインターフェイスに切り替わるまでの時間のことです。ただし、設定されているタイムアウト時間中も別のインターフェイスがデータを受信し、受信バッファにデータを蓄えています。タイムアウト時間経過後は強制的にインターフェイスが切り替わるため、印刷中にデータの受信が途切れてしまったページは、その時点で排紙されます。
給紙口	自動（初期値）	［プリンタ設定］メニューの［紙種］が［普通］の場合の給紙方法を選択します。［紙種］が［厚紙］や［特厚紙］、［OHP シート］の場合は、常に MP トレイから給紙します。［自動］に設定しておくと、印刷時に指定したサイズの用紙がセットしてある給紙装置を自動的に検出して給紙します。カセット2～ 3 は、オプションの増設 1 段カセットユニットを装着したときだけ表示されます。
	MP トレイ	
	カセット1	
	カセット2	
	カセット3	
	カセット４	
MP トレイ優先	しない（初期値）	プリンタドライバの［給紙装置］の設定が［自動選択］、かつ MP トレイと用紙カセットに同サイズの用紙がセットされているときに、MP トレイからの給紙を優先するかどうかを設定します。
	する	
コピー枚数	1 ～ 999（初期値 1）	印刷するデータが何ページもある場合、印刷する枚数を設定します。ここで設定した枚数を印刷した後、次ページのデータを印刷します。
両面印刷	Off（初期値）	両面印刷するかどうかを設定します。
	On	
綴じ方向	ロングエッジ（初期値）	両面印刷の際に、用紙を綴じる位置を選択します。綴じしろは、「印刷書式設定」メニューの各オフセットで設定します。
	ショートエッジ	
紙種	普通 （初期値）	普通紙、再生紙などを使用するときに選択します。
	厚紙	紙厚が 91 ～ 157g/m^2 の厚紙やハガキなどの特殊紙を使用するときに選択します。なお、用紙サイズをはがきにした場合は、自動的に厚紙対応モードに切り替わります（表示は変わりません）。
	特厚紙	紙厚が 158 ～ 216g/m^2 の特厚紙を使用するときに選択します。なお、オプションの両面印刷ユニット装着時は特厚紙の使用はできませんので、選択しないでください。
	超特厚紙	紙厚が 217 ～ 256g/m^2 の超特厚紙を使用するときに選択します。なお、オプションの両面印刷ユニット装着時は超特厚紙の使用はできませんので、選択しないでください。
	OHP シート	専用 OHP シートを使用するときに選択します。
	コート紙	専用コート紙を使用するときに選択します。
紙面	表（初期値）	DOS アプリケーションソフトでの印刷時、表面に印刷するときに選択します。
	裏	DOS アプリケーションソフトでの印刷時、一度印刷した用紙の裏面に印刷するときに選択します。

設定項目	設定値	説明
白紙節約	する（初期値）	白紙ページを印刷するか、しないかを設定します。白紙ページを印刷しないと、用紙を節約できます。
	しない	
自動排紙	する（初期値）	印刷データによっては、プリンタのデータランプが点滅した状態で停止して印刷されない場合があります。［する］に設定すると、プリンタ内に残ったデータを［I/F タイムアウト］で設定した時間後に自動的に印刷して排紙します。
	しない	プリンタ内にデータが残っていても、自動排紙しません。
用紙サイズフリー	Off（初期値）	［指定と違うサイズの用紙に印刷しました］のワーニングと［用紙を交換してください xxxxx yyyy］のエラーを表示するかどうかを設定します。
	On	
自動エラー解除	しない（初期値）	［オーバーラーンエラー］、［用紙を交換してください xxxxx yyyyy］、［メモリ不足で印刷できません］、［指定された用紙は両面印刷できません］、［メモリ不足で両面印刷できませんでした］のエラーが発生すると、プリンタの動作を一時停止します。【印刷可】ボタンまたは【ジョブキャンセル】ボタンを押すと、印刷を再開します。
	する	上記のエラーが発生すると、メッセージを約 5 秒間表示した後、エラーを自動的に解除して動作を継続します。
ページエラー回避	Off（初期値）	複雑なデータ（文字数、図形などが非常に多いデータ）を印刷する場合、印刷動作に対し画像データの作成処理が追い付かないためにページエラーが発生することがあります。このとき、送られてきた画像データに相当するメモリやバッファを確保し、あらかじめ描画してから印刷動作を開始するようにして、ページエラーを回避することができます。ただし、印刷時間が長くなることがありますので、通常は［Off］に設定してください。
	On	
LCD コントラスト	0 ～ 15（初期値 7）	操作パネルに表示される文字の濃度を設定します。数字が小さいほど薄く、大きいほど濃く表示されます。
RAM ディスク	なし（初期値）	パスワード印刷機能は使用できません。
	標準	パスワード印刷時、増設メモリ容量の 50%を RAM ディスクとして使用します。
	最大	パスワード印刷時、増設メモリ容量の 100%を RAM ディスクとして使用します。

[プリンタリセット]メニュー

設定項目	説明	
ワーニングクリア	操作パネルに表示されている、消耗品など交換部品に関するもの以外のメッセージを消します。	（【OK】ボタンで実行）
全ワーニングクリア	操作パネルに表示されているすべてのワーニングメッセージを消します。	
リセット	操作パネルに「リセットシテクダサイ」と表示されたときに行ってください。現在稼働中のインターフェイスに対して、メモリに保存された印刷データを破棄します。	
リセットオール	電源を入れた直後の状態までプリンタを初期化するときに行ってください。すべてのインターフェイスに対してメモリに保存された印刷データを破棄します。また、印刷されていないパスワード印刷ジョブもメモリ（RAM ディスク）から削除されます。	
設定初期化	インターフェイスの設定を除くすべての設定値を初期化します（工場出荷時の設定に戻します）。	

[時計設定]メニュー

設定項目	設定値	説明
時差設定	-13:59 ～ +13:59 （初期値：9:00）	初期値に設定されているため変更する必要はありませんが、外部（EpsonNet Config 等）から時差が変更された場合は、修正のため設定してください。
日付時刻設定	2000/01/01 00:00 ～ 2099/12/31/ 23:59	日付や日時を設定します。 初回電源投入時や、長期間（約 10 日）未使用後の電源投入時にはこの画面が表示されます。
日付表示フォーマット	DD/MM/YY	日付の表示順を設定します。
	MM/DD/YY	
	YY/MM/DD（初期値）	

[パラレル I/F 設定]メニュー

パラレルインターフェイスに対する設定項目です。変更した設定を有効にするには、設定後約 5 秒（設定した内容をプリンタに保存する間）待ってからリセットオールするか電源を入れ直してください。

設定項目	設定値	説明
パラレル I/F	使う（初期値）	パラレルインターフェイスを使用するかどうか（インターフェイス自動選択の対象に含めるかどうか）を選択します。
	使わない	
ACK 幅	短い（初期値）	ACK 信号のパルス幅を約 1μS に設定します。
	標準	ACK 信号のパルス幅を約 10μS に設定します。
双方向	ECP（初期値）	ECP モードで双方向通信（IEEE 1284 準拠）します。 コンピュータのパラレルインターフェイスやアプリケーションソフトが ECP モードに対応している必要があります。
	Off	双方向通信を行いません。
	ニブル	ニブルモードで双方向通信（IEEE 1284 準拠）します。コンピュータやアプリケーションソフトで特に指定がない場合はこの設定を使用してください。
受信バッファ	標準（初期値）	搭載メモリを印刷描画用データ受信用にバランス良く配分します。
	最大	搭載メモリを、データ受信を重視して配分します。
	最小	搭載メモリを、印刷描画を重視して配分します。

[USB I/F 設定] メニュー

USB インターフェイスおよび USB インターフェイスに装着したオプションの無線プリントアダプタに対する設定項目です。変更した設定を有効にするには、設定後約 5 秒（設定した内容をプリンタに保存する間）待ってからリセットオールするか電源を入れ直してください。

設定項目	設定値	説明
USB I/F	使う（初期値）	USB インターフェイスを使用するかどうか（インターフェイス自動選択の対象に含めるかどうか）を選択します。
	使わない	
USB SPEED	HS（初期値）	すべての USB 接続機器に対応しています。通常は、この設定で使用します。
	FS	［HS］で正しく動作しないときに、この設定を使用します。
IP アドレス設定 *1	パネル	操作パネルで設定した IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの値を使用します。 操作パネルから IP アドレスを設定する方法は、以下を参考にしてください。 本書 87 ページ「オプションの無線プリントアダプタ」
	自動	ネットワーク上にある DHCP サーバから IP アドレスを自動取得します。
	PING	ネットワークから ARP コマンド /PING コマンドで設定した IP アドレスの値を使用します
IP*1	000.000.000.001 ～ 255.255.255.254*3	TCP/IP の IP アドレスを設定します。
SM*1	000.000.000.000 ～ 255.255.255.255	TCP/IP の Subnet Mask を設定します。
GW*1		TCP/IP の Gateway アドレスを設定します。
NetWare*1 *2	On	無線プリントアダプタを装着した本製品がNetWareを使用できるかどうかを選択します。
	Off	
AppleTalk*1	On	無線プリントアダプタを装着した本製品が AppleTalk ネットワークで使用できるかどうかを選択します。
	Off	
MS Network*1	On	無線プリントアダプタを装着した本製品が MS Network を使用できるかどうかを選択します。
	Off	
Bonjour*1	On	無線プリントアダプタを装着した本製品が Bonjour を使用できるかどうかを選択します。
	Off	
USB 外部機器初期化 *1	－	無線プリントアダプタの設定を初期化します。 【OK】ボタンで初期化を実行します。
受信バッファ	標準（初期値）	搭載メモリを印刷描画用データ受信用にバランス良く配分します。
	最大	搭載メモリを、データ受信を重視して配分します。
	最小	搭載メモリを、印刷描画を重視して配分します。

*1 オプションの無線プリントアダプタが装着されているときに表示されます。初期値は、無線プリントアダプタが保持しており、［USB 外部機器初期化］を実行すると初期値に戻ります。

*2 USB 外部機器が NetWare をサポートしている場合のみ表示されます。

*3 000.000.000.000、127.000.000.001、255.255.255.255、224.000.000.000 ～ 239.255.255.255 の数値はスキップします。

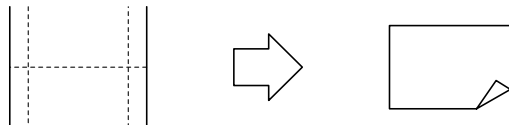
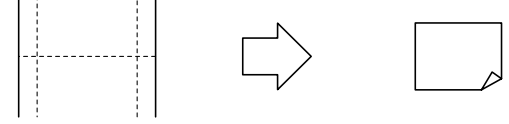
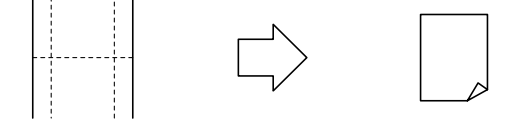
[ネットワーク設定] メニュー

本製品の標準ネットワークインターフェイスに対する設定項目です。変更した設定を有効にするには、設定後約 5 秒（設定した内容をプリンタに保存する間）待ってからリセットオールするか電源を入れ直してください。

設定項目	設定値	説明
ネットワーク I/F	使う（初期値）	標準のネットワークインターフェイスを使用するかどうか（インターフェイス自動選択の対象に含めるかどうか）を選択します。
	使わない	
IP アドレス設定	パネル（初期値）	操作パネルで設定した IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの値を使用します。 操作パネルから IP アドレスを設定する方法は、以下を参考にしてください。 本書 85 ページ「標準のネットワークインターフェイス」
	自動	ネットワーク上にある DHCP サーバから IP アドレスを自動取得します。
	PING	ネットワークから ARP コマンド /PING コマンドで設定した IP アドレスの値を使用します。
IP	000.000.000.001 ～ 255.255.255.254* （初期値 192.168.192.168）	TCP/IP の IP アドレスを設定します。
SM	000.000.000.000 ～ 255.255.255.255 （初期値 255.255.255.0）	TCP/IP の Subnet Mask を設定します。
GW	000.000.000.000 ～ 255.255.255.255 （初期値 255.255.255.255）	TCP/IP の Gateway アドレスを設定します。
AppleTalk	On（初期値）	標準のネットワークインターフェイスが AppleTalk ネットワークで使用できるかどうかを選択します。
	Off	
MS Network	On	標準のネットワークインターフェイスが MS Network を使用できるかどうかを選択します。
	Off（初期値）	
WSD	On	標準のネットワークインターフェイスがWSDを使用できるかどうかを選択します。
	Off（初期値）	
LLTD	On	標準のネットワークインターフェイスが LLTD を使用できるかどうかを選択します。
	Off（初期値）	
Bonjour	On	標準のネットワークインターフェイスが Bonjour を使用できるかどうかを選択します。
	Off（初期値）	
Link Speed	自動（初期値）	データ転送速度 / 通信方式を自動判別します。
	100 Full	100BASE-TX 全二重のデータ転送速度 / 通信方式に設定します。
	100 Half	100BASE-TX 半二重のデータ転送速度 / 通信方式に設定します。
	10 Full	10BASE-T 全二重のデータ転送速度 / 通信方式に設定します。
	10 Half	10BASE-T 半二重のデータ転送速度 / 通信方式に設定します。
受信バッファ	標準（初期値）	搭載メモリを印刷描画用データ受信用にバランス良く配分します。
	最大	搭載メモリを、データ受信を重視して配分します。
	最小	搭載メモリを、印刷描画を重視して配分します。

* 000.000.000.000、127.000.000.001、255.255.255.255、224.000.000.000 ～ 239.255.255.255 の数値はスキップします。

[I/F カード設定] メニュー

本製品に装着したオプションのインターフェイスカードに対する設定項目です。変更した設定を有効にするには、設定後約 5 秒（設定した内容をプリンタに保存する間）待ってからリセットオールするか電源を入れ直してください。

設定項目	設定値	説明
I/F カード	使う（初期値）	オプションのインターフェイスカードを使用するかどうか（インターフェイス自動選択の対象に含めるかどうか）を選択します。
	使わない	
IP アドレス設定	パネル	操作パネルで設定した IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの値を使用します。 操作パネルから IP アドレスを設定する方法は、以下を参考にしてください。 本書 86 ページ「オプションのネットワーク I/F カード」
	自動	ネットワーク上にある DHCP サーバから IP アドレスを自動取得します。
	PING	ネットワークから ARP コマンド /PING コマンドで設定した IP アドレスの値を使用します。 ARP コマンド /PING コマンドからの IP アドレスを設定する方法は、オプションのネットワークインターフェイスカードの取扱説明書を参照してください。
IP	000.000.000.001 ～ 255.255.255.254*2	TCP/IP の IP アドレスを設定します。
SM	000.000.000.000 ～ 255.255.255.255	TCP/IP の Subnet Mask を設定します。
GW		TCP/IP の Gateway アドレスを設定します。
NetWare	On	オプションのネットワークインターフェイスがNetWareネットワークで使用できるかを選択します。
	Off	
AppleTalk	On	インターフェイスカードを装着した本製品が AppleTalk ネットワークで使用できるかどうかを選択します。
	Off	
MS Network	On	インターフェイスカードを装着した本製品が MS Network を使用できるかどうかを選択します。
	Off	
Bonjour*1	On	インターフェイスカードを装着した本製品が Bonjour を使用できるかどうかを選択します。
	Off	
I/F カード初期化	ー	インターフェイスカードの設定を初期化します。 【OK】ボタンで初期化を実行します。
受信バッファ	標準（初期値）	搭載メモリを印刷描画用のデータ受信用にバランス良く配分します。
	最大	搭載メモリを、データ受信を重視した配分にします。
	最小	搭載メモリを、印刷描画を重視した配分にします。

*1 Bonjour をサポートしたインターフェイスカードのみ表示されます。

*2 000.000.000.000、127.000.000.001、255.255.255.255、224.000.000.000 ～ 239.255.255.255 の数値はスキップします。

[ESC/PS 環境設定] メニュー

ESC/PS または ESC/P モードに対する設定項目です。[プリンタモード] で [ESC/PS] または [ESC/P] を設定しているときに有効になります。

設定項目	設定値	説明
連続紙	OFF（初期値）	連続紙用の印刷データを縮小せずに印刷します。
	F15 → B4 横	381 × 279.4mm（15 × 11 インチ）の連続紙用のデータを B4 横長の用紙に縮小して印刷します。
	F15 → A4 横	381 × 279.4mm（15 × 11 インチ）の連続紙用のデータを A4 横長の用紙に縮小して印刷します。
	F10 → A4 縦	254 × 279.4mm（10 × 11 インチ）の連続紙用のデータを A4 縦長の用紙に縮小して印刷します。
文字コード	カタカナ（初期値）	ESC/P 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 英数カナ文字コードを、カタカナコードまたは拡張グラフィックスコードに切り替えます。
	グラフィック	
給紙位置	8.5mm（初期値）	ESC/P 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 用紙の印刷開始位置を設定します。
	22mm	
各国文字	日本（初期値）	ESC/PS モードで PC-PR201H 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 英数カナ文字コード表の一部の記号をどの国に対応するかを選択します。
	アメリカ	
	イギリス	
	ドイツ	
	スウェーデン	
ゼロ	0（初期値）	英数カナ文字コードのゼロの書体を選択します。
	Ø	
用紙位置	左（初期値）	ESC/PS モードで PC-PR201H 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 横方向の印字範囲（136 桁）の幅の中で、用紙をどの位置に合わせるかを選択します。中央を選択した場合は、さらにオフセット量（-5mm または +5mm）を選択できます。アプリケーションソフトのプリンタ設定で PC-PR201H、シートフィーダを使用にしたときは、[中央] を選択してください。なお、アプリケーションソフトの左右マージン設定によっては、左右の一部が印刷されない場合があります。このときは、アプリケーションソフトで左右マージンを大きく設定してください。
	中央	
	中央 -5	
	中央 +5	
右マージン	用紙幅（初期値）	ESC/PS モードまたは ESC/P モードで有効です。 右マージンを選択します。用紙幅（使用する用紙の印刷可能領域）いっぱいに印刷するか、用紙サイズに関係なく 136 桁（13.6 インチ）にします。136 桁に満たない用紙に印刷するときは、用紙の印刷可能領域を超える部分を切り捨てます。
	136 桁	
漢字書体	明朝（初期値）	漢字に使用する書体を選択します。
	ゴシック	

[ESC/Page 環境設定] メニュー

ESC/Page モードに対する設定項目です。[プリンタモード] で [ESC/PS] または [ESC/P] を設定しているときに有効になります。

設定項目	設定値	説明
復帰改行	する（初期値）	印刷データが右マージン位置を超えたときに、自動的に改行して次の行の先頭から印刷を続けるかを選択します。
	しない	
改ページ	する（初期値）	印刷データが改行のため下マージン位置を超えたときに、自動的に改ページして次のページに印刷するかを選択します。
	しない	
CR	CR のみ（初期値）	CR（復帰）動作のみを行います。
	CR + LF	CR（復帰）と同時に LF（改行）動作も行います。
LF	CR + LF（初期値）	LF（改行）と同時に CR（復帰）動作も行います。
	LF のみ	LF（改行）動作のみを行います。
FF	CR + FF（初期値）	FF（改ページ）と同時に CR（復帰）動作も行います。
	FF のみ	FF（改ページ）動作のみを行います。
エラーコード	Off（初期値）	文字コード表にない文字を無視します。
	On	文字コード表にない文字をスペースに置き換えます。
フォントタイプ	1（初期値）	「幅」対「高さ」が 1 対 2 の文字サイズが指定されたとき、15 ポイント未満は半角フォントを優先し、15 ポイント以上は全角文字を優先して印刷します。
	2	「幅」対「高さ」が 1 対 2 の文字サイズが指定されたとき、全角フォントを優先して印刷します。
	3	「幅」対「高さ」が 1 対 2 の文字サイズが指定されたとき、半角フォントを優先して印刷します。
フォーム実行 *	Off（初期値）	フォームオーバーレイ印刷を実行するかどうかを選択します。ここで [On] に設定すると、ESC/P モードでも実行できます。
	On	
フォーム番号 *	1 ～ 512（初期値 1）	オプションのフォームオーバーレイROMモジュールに登録したフォームオーバーレイ番号を選択します。

＊ フォームデータが書き込まれたオプションのフォームオーバーレイ ROM モジュールが本製品に装着されているときだけ表示されます。フォームデータの作成または使用方法、フォームオーバーレイ ROM モジュールへの登録方法の詳細は、オプションの「フォームオーバーレイユーティリティ（EPSON Form!4）」に添付の取扱説明書を参照してください。

[パスワード設定]メニュー

操作パネルの設定変更を制限するためのパスワードを設定する項目です。

設定項目	設定値	説明
パスワード設定	旧パスワード=xxxxxxxxxx	[制限範囲]に対するパスワードを、半角英数（大文字・小文字の区別あり）を20桁以内で設定します。 ☞ 本書88ページ「パスワードの設定」
	新パスワード=xxxxxxxxxx	
	新パスワード確認=xxxxxxxxxx	
制限範囲	制限しない（初期値）	本機能は無効になります。
	I/F項目のみ	[パラレルI/F設定]、[USB I/F設定]、[ネットワーク設定]、[I/Fカード設定]メニューの各設定項目の変更をパスワードで制限します。
	選択項目のみ	設定値を変更できる項目の設定変更をパスワードで制限します。設定値の確認と、[プリンタ情報]や[プリンタリセット]など設定値のない機能の実行は制限されません。
	全項目	操作パネルの全項目の操作をパスワードで制限します。

- 確定した桁は表示が＊に変わります。
- パスワードの入力を途中で間違えたら、【◀】ボタンを押すと末尾の文字が削除されるので、やり直してください。
- [パスワード設定]で使用するパスワードは、EpsonNet Configで設定するパスワードと共通になります。
- パスワードを忘れてしまったときは、エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。ご相談先は『セットアップと使い方編』（冊子）裏表紙を参照してください。

[お気に入り]メニュー

設定項目	説明
プリンタリセット	パネル操作中でないとき、【OK】ボタンを押すと[お気に入り]メニューの一覧を表示します。よく使うメニューを登録しておくと便利です。
MP トレイサイズ	
システム情報	

[お気に入り]メニューの設定方法

以下の方法で、[お気に入り]メニューの登録を変更できます。

① 登録したいメニューまたは設定項目を表示してから、【OK】ボタンを約2秒以上押します。
[お気に入りを追加します]と表示されます。

② 【▲】/【▼】ボタンを押して登録先を選択してから、【OK】ボタンを押します。
選択した項目に上書き登録されます。
[パスワード設定]メニューの[制限範囲]に設定したメニューまたは項目を登録しようとすると、パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力すると登録されます。

[お気に入り]メニューに登録できるメニューおよび設定項目は以下の通りです。

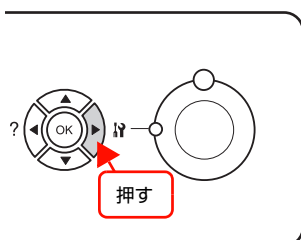
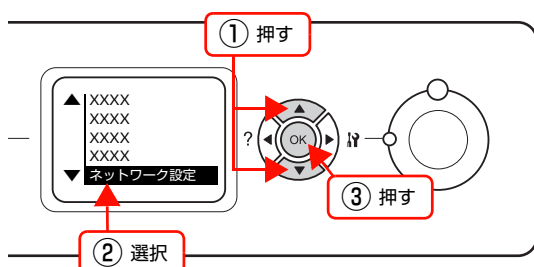
メニュー	設定項目
プリンタ情報	全項目
システム情報	全項目
パスワード印刷	メニューのみ
給紙装置設定	全項目
プリンタモード	全項目
印刷書式設定	全項目
プリンタ設定	印刷部数以外の項目
プリンタリセット	全項目
ESC/PS環境設定	全項目
ESC/Page環境設定	全項目

IP アドレスの設定

操作パネルで IP アドレスを設定する方法を説明します。インターフェイスによって設定方法が異なります。

標準のネットワークインターフェイス

本製品の標準ネットワークインターフェイスの設定は以下の手順に従ってください。

1. **操作パネルの【▶】ボタンを押して、メニューを表示します。**

2. **【▲】/【▼】ボタンを押して［ネットワーク設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

3. **［ネットワーク I/F ＝ ZZZZ］を選択して【OK】を押します。**

4. **【▲】/【▼】ボタンを押して［使う］を選択し、【OK】ボタンを押します。**
   ［ネットワーク I/F ＝使う］と表示されたことを確認します。

5. **【▲】/【▼】ボタンを押して［IP アドレス設定 ＝ ZZZZ］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

6. **【▲】/【▼】ボタンを押して［パネル］を選択し、【OK】ボタンを押します。**
   ［IP アドレス設定＝パネル］と表示されたことを確認します。

7. **各アドレスを設定します。**
   ［IP］・・・IP アドレス
   ［SM］・・・サブネットマスク
   ［GW］・・・ゲートウェイアドレス
   ①【▲】/【▼】ボタンを押して［IP］/［SM］/［GW］を選択し、【OK】ボタンを押します。
   ②【▲】/【▼】ボタンを押して数値を選択し、【OK】ボタンを押して右に移動します。
   ③ ②を繰り返し、右端の数値まで設定したら、最後に【OK】を押します。

> **！重要**
> IP アドレスの設定時、以下の制限事項を確認してください。
> 000.000.000.000、127.000.000.001、255.255.255.255、224.000.000.000 ～ 239.255.255.255 の数値はスキップします。

8. **すべての設定が終了したら、【印刷可】ボタンを押します。**
   ［印刷できます］と表示されますが、ネットワークインターフェイスの初期化が終了するまで約 5 秒お待ちください。

> **！重要**
> 設定直後は、ネットワークインターフェイスの初期化が行われるため、プリンタの電源を切ったり、［リセット］または［リセットオール］を実行しないでください。また、初期化中に［ネットワーク情報印刷］を実行しても設定内容は反映されません。

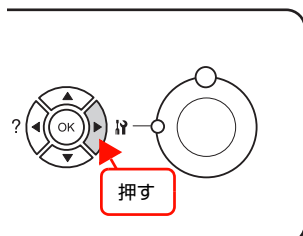
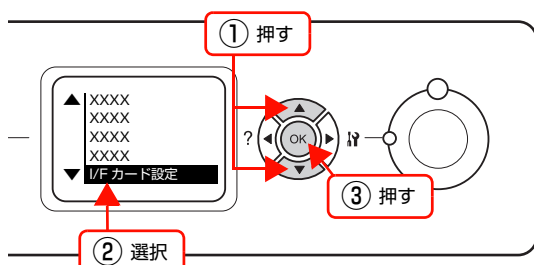
9. **プリンタの電源を入れ直すか、操作パネルの［リセット メニュー］から［リセットオール］を実行します。**
   設定内容が有効になります。

> **参考**
> IPアドレスが正しく登録されたか確認するには、ネットワークインターフェイスの初期化が終了してから、［プリンタ情報］メニューの［ネットワーク情報印刷］を実行してください。
> ☞ 本書 70 ページ「［プリンタ情報］メニュー」

以上で終了です。

オプションのネットワーク I/F カード

オプションのネットワークインターフェイスカードの設定は以下の手順に従ってください。

1 **操作パネルの【▶】ボタンを押して、メニューを表示します。**

2 **【▲】/【▼】ボタンを押して［I/F カード設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

3 **［I/F カード= ZZZZ］を選択して【OK】を押します。**

4 **【▲】/【▼】ボタンを押して［使う］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

［I/F カード=使う］と表示されたことを確認します。

5 **【▲】/【▼】ボタンを押して［IP アドレス設定＝ ZZZZ］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

6 **【▲】/【▼】ボタンを押して［パネル］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

［IP アドレス設定=パネル］と表示されたことを確認します。

7 **各アドレスを設定します。**

［IP］・・・IP アドレス
［SM］・・・サブネットマスク
［GW］・・・ゲートウェイアドレス

① 【▲】/【▼】ボタンを押して［IP］/［SM］/［GW］を選択し、【OK】ボタンを押します。
② 【▲】/【▼】ボタンを押して数値を選択し、【OK】ボタンを押して右に移動します。
③ ②を繰り返し、右端の数値まで設定したら、最後に【OK】を押します。

> **！重要**
> IP アドレスの設定時、以下の制限事項を確認してください。
> 000.000.000.000、127.000.000.001、255.255.255.255、224.000.000.000 ～ 239.255.255.255 の数値はスキップします。

8 **すべての設定が終了したら、【印刷可】ボタンを押します。**

［印刷できます］と表示されますが、ネットワークインターフェイスの初期化が終了するまで約 5 秒お待ちください。

> **！重要**
> 設定直後は、オプションのネットワークインターフェイスカードの初期化が行われるため、プリンタの電源を切ったり、［リセット］または［リセットオール］を実行しないでください。また、初期化中に［I/F カード情報印刷］を実行しても設定内容は反映されません。

9 **プリンタの電源を入れ直すか、操作パネルの［プリンタリセット］メニューから［リセットオール］を実行します。**

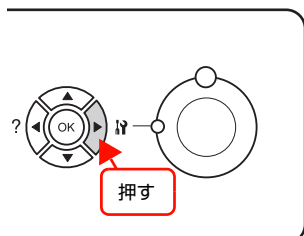
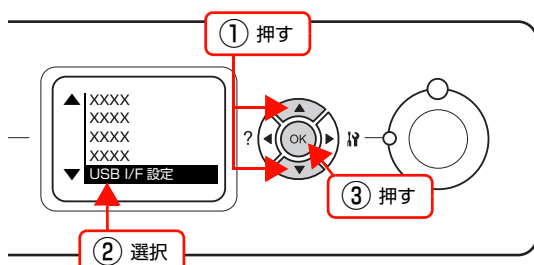
設定内容が有効になります。

> **参考**
> IP アドレスが正しく登録されたか確認するには、［プリンタ情報］メニューの［I/F カード情報印刷］を実行してください。
> 本書 70 ページ「［プリンタ情報］メニュー」

以上で終了です。

オプションの無線プリントアダプタ

オプションの無線プリントアダプタの設定は以下の手順に従ってください。

1 **操作パネルの【▶】ボタンを押して、メニューを表示します。**

2 **【▲】/【▼】ボタンを押して［USB I/F 設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

3 **［USB I/F ＝ ZZZZ］を選択して【OK】を押します。**

4 **【▲】/【▼】を押して［使う］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

［USB I/F ＝使う］と表示されたことを確認します。

5 **【▲】/【▼】を押して［IPアドレス設定＝ZZZZ］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

6 **【▲】/【▼】を押して［パネル］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

［IP アドレス設定＝パネル］と表示されたことを確認します。

7 **各アドレスを設定します。**

［IP］・・・IP アドレス
［SM］・・・サブネットマスク
［GW］・・・ゲートウェイアドレス

① 【▲】/【▼】ボタンを押して［IP］/［SM］/［GW］を選択し、【OK】ボタンを押します。
② 【▲】/【▼】ボタンを押して数値を選択し、【OK】ボタンを押して右に移動します。
③ ②を繰り返し、右端の数値まで設定したら、最後に【OK】を押します。

> **！重要**
> IP アドレスの設定時、以下の制限事項を確認してください。
> 000.000.000.000、127.000.000.001、255.255.255.255、224.000.000.000 ～ 239.255.255.255 の数値はスキップします。

8 **すべての設定が終了したら、【印刷可】ボタンを押します。**

［印刷できます］と表示されますが、無線プリントアダプタの初期化が終了するまで約 5 秒お待ちください。

> **！重要**
> 設定直後は、無線プリントアダプタの初期化が行われるため、プリンタの電源を切ったり、［リセット］または［リセットオール］を実行しないでください。また、初期化中に［USB 外部機器情報印刷］を実行しても設定内容は反映されません。

9 **プリンタの電源を入れ直すか、操作パネルの［プリンタ設定］メニューから［リセットオール］を実行します。**

設定内容が有効になります。

> **参考**
> IP アドレスが正しく登録されたか確認するには、［プリンタ情報］メニューの［USB 外部機器情報印刷］を実行してください。
> ☞ 本書 70 ページ「［プリンタ情報］メニュー」

以上で終了です。

パスワードの設定

操作パネルの設定変更を制限するためのパスワードを設定する方法を説明します。

☞ 本書 84 ページ「[パスワード設定] メニュー」

パスワードの新規設定

1 **操作パネルの【▶】ボタンを押して、メニューを表示します。**

2 **【▲】/【▼】ボタンを押して [パスワード設定] を選択し、【OK】ボタンを押します。**

3 **[パスワード設定] を選択し、【OK】ボタンを押します。**

4 **[旧パスワード =] と表示されたら【OK】ボタンを押します。**

5 **[新パスワード =] と表示されたら、新しく設定するパスワードを 20 桁以内で入力します。**

① 【▲】/【▼】ボタンを押して半角英数字を選択し【▶】ボタンで確定して次の桁に移動します。
確定された文字は [＊] と表示されます。
【◀】ボタンで最終桁の文字が削除されます。

② 最終桁の入力が終わったら、【OK】ボタンを押します。
ただし、最終桁の 20 桁目を入力したときのみ、【▶】ボタンを押します。

6 **[新パスワード確認 =] と表示されたら、5 と同様の手順でもう一度パスワードを入力します。**

7 **「パスワードを設定しました」と表示されたら、【印刷可】ボタンを押して終了します。**

以上で終了です。

パスワードの変更

1 **操作パネルの【▶】ボタンを押して、メニューを表示します。**

2 **【▲】/【▼】ボタンを押して [パスワード設定] を選択し、【OK】ボタンを押します。**

3 **[パスワード設定] を選択し、【OK】ボタンを押します。**

4 **[旧パスワード =] と表示されたら、現在のパスワードを入力します。**

文字の入力方法は以下を参照してください。

☞ 本書 88 ページ「パスワードの新規設定」

5 **[新パスワード =] と表示されたら、新しいパスワードを 20 桁以内で入力します。**

6 **[新パスワード確認 =] と表示されたら、もう一度新しいパスワードを入力します。**

7 **「パスワードを変更しました」と表示されたら、【印刷可】ボタンを押して終了します。**

以上で終了です。

設定範囲内の項目の設定変更

[パスワード設定] メニューの [制限範囲]、または [制限範囲] で設定した項目を変更しようとすると、[パスワード=] と表示されます。

パスワードを入力すると、設定変更が可能になります。

設定が完了したら【印刷可】ボタンを押して終了します。

操作の途中でも【印刷可】または【ジョブキャンセル】ボタンを押すと、設定を終了できます。

DOS 環境での印刷

本製品を DOS アプリケーションソフトで使用する場合、プリンタドライバをインストールする必要はありません。
DOS 環境ではモノクロ印刷しかできません。

プリンタ機種名の選択

DOS アプリケーションソフトの場合、お使いのアプリケーションソフト上でプリンタの機種名を選択することにより、そのプリンタが使用可能になります。設定項目の名称や設定方法は、お使いのアプリケーションソフトにより異なりますが、多くの場合［プリンタ名の選択・設定］、［プリンタ設定］などで機種名を選択するようになっています。詳しくはお使いのアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

不適切なプリンタ機種名を選択した場合や、他のプリンタドライバで代用する場合は、本製品の機能を 100%利用できない場合があります。また、プリンタの初期設定（購入時の設定のまま）で正しく印刷されない場合、操作パネルの設定を変更することによって対応することが可能です。

国内版アプリケーションソフトを使用する場合

1 DOS アプリケーションソフトを起動します。

2 DOS アプリケーションソフトを操作して、プリンタの機種名を設定する画面を表示します。

お使いの DOS アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

3 お使いのプリンタの機種名を選択します。

お使いのプリンタの機種名がない場合は、次の優先順位で機種名を選択します。

ESC/Page プリンタが選択できる場合	
1	LP-9200/9200S/9200SX
2	LP-8400/8300/8300S/8200
3	LP-9000
4	LP-1800/1700/1700S
5	LP-1600
6	LP-8500/8000/8000S/8000SE/8000SX
7	ESC/Page
8	LP-1500/1500S/2000/3000
9	LP-7000/7000G

ESC/Page プリンタが選択できない場合	
1	ESC/P-24-J84*1*2
2	VP-1000/4800/3000*1*2
3	ESC/P-24-J83*1*2
4	VP-135K/130K*1*2
5	上記プリンタが見つからない場合は、PC-PR201H などのプリンタを選択します。*1*3

思うように印刷できない場合は、操作パネルの設定モードで以下の設定を行ってください。設定方法の詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 67 ページ「操作パネルの使い方」

*1 1 行目の印刷位置が上すぎる場合は、［給紙位置］を［22mm］に設定してください。
半角の記号がカタカナになる場合は、［文字コード］を［グラフィックス］に設定してください。

*2 画面とは違う文字を印刷するなど正しく印刷されないときは、［プリンタモード］を［ESC/P］に設定してください。

*3 PC-PR201H を選択した場合、［プリンタモード］を［ESC/PS］に設定しないと印刷できません。

［プリンタモード］は基本的に［自動］（初期設定）に設定して使用してください。画面とは違う文字を印刷するなど、正しく印刷されない場合のみ設定を変更してください。

海外版アプリケーションソフトを使用する場合

海外版アプリケーションソフトを使用する場合は、次の優先順位で機種名を選択します。

1	LQ-850/1050
2	LQ-510/1010
3	LQ-800/1000
4	LQ-1500

以下のように正しく印刷できない場合は、操作パネルの設定モードで設定してください。設定方法の詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 67 ページ「操作パネルの使い方」

- 画面とは違う文字を印刷するなど、正しく印刷されないときは、［プリンタモード］を［ESC/P］に設定してください。
- 半角の記号がカタカナになる場合は、操作パネルで［文字コード］を［グラフィックス］に設定してください。
- １行目の印刷位置が上すぎる場合は、［給紙位置］を［22mm］に設定してください。

アプリケーションソフトに関するお問い合わせはアプリケーションソフトの販売元または開発元にお問い合わせください。

印刷の手順

1 レイアウトを指定して、文書を作成します。

文書を作成する前に、まず作成する文書のレイアウト（用紙サイズ、向きなど）をアプリケーションソフト上で指定します。アプリケーションソフトによって手順が異なりますので、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

2 印刷の設定をします。

印刷する用紙サイズや向き、給紙装置などを、アプリケーションソフト上で設定します。アプリケーションで設定できないときは、操作パネルの設定モードで設定します。設定方法の詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 67 ページ「操作パネルの使い方」

設定する項目	設定方法
印刷前に必ず設定する項目	給紙方法、用紙サイズ、用紙方向
必要に応じて設定する項目	コピー枚数、縮小、解像度

3 印刷を実行します。

アプリケーションソフトから印刷を実行します。

索引

A

B

C

D

E

F

G

I

J

L

M

N

O

R

S

T

そ

ち

つ

て

と

に

ね

の

は

ひ

ふ

へ

ま

み

め

も

ゆ

よ

ら

り

れ

わ